

平成29年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		大阪府		市町村類型	中核市	指定団体等の指定状況		区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)	区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)								
						財政健全化等	×	歳入総額	135,764,009	134,535,116	実質収支比率	2.2	2.2										
市町村名		枚方市		地方交付税種地	1-6	財源超過	×	歳出総額	134,001,944	132,602,023	経常収支比率	94.5	94.9										
						首都	×	歳入歳出差引	1,762,065	1,933,093	(※1)	(103.4)	(102.5)										
						近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	24,873	250,052	標準財政規模	78,172,003	76,258,119										
								実質収支	1,737,192	1,683,041	財政力指数	0.81	0.80										
人口		27年国調(人)	404,152 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <th>×</th> <th>単年度収支</th> <td>54,151</td> <td>-259,892</td> <th>公債費負担比率</th> <td>13.3</td> <td>12.2</td>	産業構造 (※5)			中部	×	単年度収支	54,151	-259,892	公債費負担比率	13.3	12.2									
		22年国調(人)	407,978 <th>過疎</th> <th>×</th> <th>積立金</th> <td>969,598</td> <td>1,059,477</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>				過疎	×	積立金	969,598	1,059,477	健全化判断比率											
		増減率 (％)	-0.9 <th>山振</th> <th>×</th> <th>繰上償還金</th> <td>1,656,265</td> <td>671,904</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	×	繰上償還金	1,656,265	671,904	実質赤字比率	-	-									
住民基本台帳人口 (※7)		30.01.01(人)	403,989 <th rowspan="2">区分</th> <th>27年国調</th> <th>22年国調</th> <th>低開発</th> <th>×</th> <th>積立金取崩し額</th> <td>1,455,378</td> <td>800,000</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	27年国調	22年国調	低開発	×	積立金取崩し額	1,455,378	800,000	連結実質赤字比率	-	-									
		うち日本人(人)	399,861 <th rowspan="2">第1次</th> <td>854</td> <td>871<th>指数表選定</th><th>○</th><th>実質単年度収支</th><td>1,224,636</td><td>671,489</td><th>実質公債費比率</th><td>-0.3</td><td>-0.1</td></td>		第1次	854	871 <th>指数表選定</th> <th>○</th> <th>実質単年度収支</th> <td>1,224,636</td> <td>671,489</td> <th>実質公債費比率</th> <td>-0.3</td> <td>-0.1</td>	指数表選定	○	実質単年度収支	1,224,636	671,489	実質公債費比率	-0.3	-0.1								
		29.01.01(人)	404,963 <th rowspan="2">第2次</th> <td>0.5</td> <td>0.5<th></th><th></th><th></th><td></td><td></td><th>将来負担比率</th><td>-</td><td>-</td></td>	第2次		0.5	0.5 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th>将来負担比率</th> <td>-</td> <td>-</td>						将来負担比率	-	-								
		うち日本人(人)	400,948 <th rowspan="2">第3次</th> <td>38,102</td> <td>40,541<th></th><th></th><th>基準財政収入額</th><td>46,897,471</td><td>46,887,604</td><th rowspan="6">資金不足比率 (※4)</th><td rowspan="11"></td><td rowspan="16"></td></td>		第3次	38,102	40,541 <th></th> <th></th> <th>基準財政収入額</th> <td>46,897,471</td> <td>46,887,604</td> <th rowspan="6">資金不足比率 (※4)</th> <td rowspan="11"></td> <td rowspan="16"></td>			基準財政収入額	46,897,471	46,887,604	資金不足比率 (※4)										
		増減率 (％)	-0.2 <th rowspan="2">第3次</th> <td>24.2</td> <td>24.9<th></th><th></th><th>基準財政需要額</th><td>58,097,536</td><td>57,356,641</td></td>	第3次		24.2	24.9 <th></th> <th></th> <th>基準財政需要額</th> <td>58,097,536</td> <td>57,356,641</td>			基準財政需要額	58,097,536	57,356,641											
		うち日本人(%)	-0.3 <th rowspan="2">第3次</th> <td>118,203</td> <td>121,367<th></th><th></th><th>標準税収入額等</th><td>60,209,867</td><td>60,161,901</td></td>		第3次	118,203	121,367 <th></th> <th></th> <th>標準税収入額等</th> <td>60,209,867</td> <td>60,161,901</td>			標準税収入額等	60,209,867	60,161,901											
面積 (km ²)		65.12 <th rowspan="2">第3次</th> <td>75.2</td> <td>74.6<th></th><th></th><th>経常経費充当一般財源等</th><td>75,063,978</td><td>72,583,710</td></td>		第3次		75.2	74.6 <th></th> <th></th> <th>経常経費充当一般財源等</th> <td>75,063,978</td> <td>72,583,710</td>			経常経費充当一般財源等	75,063,978	72,583,710											
人口密度 (人/km ²)		6,206 <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>歳入一般財源等</th> <td>89,136,131</td> <td>87,674,649</td>							歳入一般財源等	89,136,131	87,674,649												
世帯数 (世帯)		167,418 <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>																					
職員の状況 (※8)																							
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等 (※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		101,719,958	101,225,076											
	市区町村長	1	8,184 <th>一般職員</th> <td>2,054</td> <td>6,381,778</td> <td>3,107</td> <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>82,728,673</td> <td>80,883,343</td> <th colspan="3"></th>		一般職員	2,054	6,381,778	3,107	うち公的資金		82,728,673	80,883,343											
	副市区町村長	3	8,900 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th colspan="2">債務負担行為額 (支出予定額)</th> <td>28,737,509</td> <td>29,058,379</td> <th colspan="3"></th>		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額 (支出予定額)		28,737,509	29,058,379											
	教育長	1	7,960 <th>うち技能労務職員</th> <td>229</td> <td>706,007</td> <td>3,083</td> <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>86,902</td> <td>36,419</td> <th colspan="3"></th>		うち技能労務職員	229	706,007	3,083	収益事業収入		86,902	36,419											
	議会議長	1	7,200 <th>教育公務員</th> <td>137</td> <td>416,346</td> <td>3,039</td> <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>715,450</td> <td>715,450</td> <th colspan="3"></th>		教育公務員	137	416,346	3,039	土地開発基金現在高		715,450	715,450											
	議会副議長	1	6,833 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>9,504,298</td> <td>9,990,078</td> <th colspan="3"></th>		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	財政調整基金	9,504,298	9,990,078											
	議会議員	30	6,288 <th>合計</th> <td>2,191</td> <td>6,798,124</td> <td>3,103<th>減債基金</th><td>4,704,325</td><td>5,350,638</td><th colspan="3"></th></td>		合計	2,191	6,798,124	3,103 <th>減債基金</th> <td>4,704,325</td> <td>5,350,638</td> <th colspan="3"></th>		減債基金	4,704,325	5,350,638											
						ラスパイレス指数	99.2			その他特定目的基金	12,947,082	11,691,350											
一般会計等の一覧																							
項番		会計名	事業会計の一覧		項番		会計名	公営企業(法適)の一覧		項番		会計名	公営企業(法非適)の一覧		項番		組合等名	地方公社・第三セクター等一覧		項番		団体名	(※3)
(1)		一般会計	(4)		国民健康保険特別会計		(8)		水道事業会計						(11)		枚方寝屋川消防組合		(20)		枚方市街地開発		
(2)		土地取得特別会計	(5)		介護保険特別会計		(9)		病院事業会計						(12)		北河内4市リサイクル施設組合		(21)		エフエムひらかた		
(3)		母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計	(6)		後期高齢者医療特別会計		(10)		下水道事業会計						(13)		淀川左岸水防事務組合		(22)		枚方市文化国際財団		
			(7)		自動車駐車場特別会計										(14)		大阪府都市競艇企業団		(23)		枚方体育協会		
															(15)		大阪府後期高齢者医療広域連合 (一般会計)		(24)		枚方市文化財研究調査会		
															(16)		大阪府後期高齢者医療広域連合 (後期高齢者医療特別会計)		(25)		枚方市土地開発公社		○
															(17)		大阪広域水道企業団 (水道事業会計)						
															(18)		大阪広域水道企業団 (工業用水道事業会計)						
															(19)		枚方京田辺環境施設組合						

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
※7：人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※8：職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。○

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	56,365,922	41.5	51,774,835	71.3	普通税	50,389,291	89.4	571,737	
地方譲与税	636,079	0.5	636,079	0.9	法定普通税	50,389,291	89.4	571,737	
利子割交付金	148,066	0.1	148,066	0.2	市町村民税	26,507,562	47.0	571,737	
配当割交付金	419,424	0.3	419,424	0.6	個人均等割	649,943	1.2	-	
株式等譲渡所得割交付金	423,974	0.3	423,974	0.6	所得割	22,217,456	39.4	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	750,296	1.3	-	
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	2,889,867	5.1	571,737	
地方消費税交付金	6,763,932	5.0	6,763,932	9.3	固定資産税	21,430,742	38.0	-	
ゴルフ場利用税交付金	81,155	0.1	81,155	0.1	うち純固定資産税	21,091,113	37.4	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	512,157	0.9	-	
自動車取得税交付金	323,879	0.2	323,879	0.4	市町村たばこ税	1,938,830	3.4	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	鉱産税	-	-	-	
地方特例交付金	285,132	0.2	285,132	0.4	特別土地保有税	-	-	-	
地方交付税	11,464,142	8.4	11,167,131	15.4	法定外普通税	-	-	-	
普通交付税	11,167,131	8.2	11,167,131	15.4	目的税	5,976,631	10.6	-	
特別交付税	297,011	0.2	-	-	法定目的税	5,976,631	10.6	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	入湯税	-	-	-	
（一般財源計）	76,911,705	56.7	72,023,607	99.2	事業所税	1,385,544	2.5	-	
交通安全対策特別交付金	54,619	0.0	54,619	0.1	都市計画税	4,591,087	8.1	-	
分担金・負担金	1,496,342	1.1	-	-	水利地益税等	-	-	-	
使用料	1,939,964	1.4	449,283	0.6	法定外目的税	-	-	-	
手数料	554,250	0.4	-	-	旧法による税	-	-	-	
国庫支出金	26,053,207	19.2	-	-	合計	56,365,922	100.0	571,737	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-					
都道府県支出金	11,324,138	8.3	-	-					
財産収入	129,373	0.1	46,968	0.1					
寄附金	291,148	0.2	-	-					
繰入金	2,302,780	1.7	-	-					
繰越金	1,933,093	1.4	-	-					
諸収入	1,248,385	0.9	44,920	0.1					
地方債	11,525,005	8.5	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	6,795,005	5.0	-	-					
歳入合計	135,764,009	100.0	72,619,397	100.0					

区分		平成29年度		平成28年度		
徴収率 (%)	現・計 年	合計	99.6	98.6	99.5	98.1
		市町村民税	99.5	98.5	99.3	98.2
		純固定資産税	99.7	98.7	99.6	97.9

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	19,486,143	実質収支	552,712
下水道	4,511,531	再差引収支	-578,066
病院	1,606,024	加入世帯数（世帯）	55,212
上水道	147,797	被保険者数（人）	88,086
工業用水道	-	被保険者	94
国民健康保険	4,251,548	1人当り	108
その他	8,969,243	保険給付費	338

歳出の状況（単位 千円・％）				
目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等
議会費	644,453	0.5	-	644,453
総務費	12,337,630	9.2	586,339	10,605,210
民生費	67,122,891	50.1	1,675,012	31,253,210
衛生費	11,380,353	8.5	1,056,249	9,532,026
労働費	469,249	0.4	50	230,298
農林水産業費	192,310	0.1	18,883	179,456
商工費	282,930	0.2	5,159	249,051
土木費	11,979,143	8.9	4,021,699	8,070,142
消防費	4,746,954	3.5	11,046	4,732,235
教育費	13,018,147	9.7	3,627,379	10,051,649
災害復旧費	10,154	0.0	-	10,154
公債費	11,817,730	8.8	-	11,816,182
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	134,001,944	100.0	11,001,816	87,374,066

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	77,122,850	57.6	44,964,060	42,924,178	54.1
人件費	21,513,788	16.1	19,626,500	19,250,218	24.2
うち職員給	14,566,181	10.9	13,025,951	-	-
扶助費	43,791,332	32.7	13,521,378	13,514,043	17.0
公債費	11,817,730	8.8	11,816,182	10,159,917	12.8
元利償還金	11,816,386	8.8	11,814,838	10,158,573	12.8
うち元金	11,030,123	8.2	11,030,123	9,373,858	11.8
うち利子	786,263	0.6	784,715	784,715	1.0
一時借入金利子	1,344	0.0	1,344	1,344	0.0
その他の経費	45,867,124	34.2	39,820,795	32,139,800	40.5
物件費	13,627,416	10.2	11,333,788	9,587,639	12.1
維持補修費	1,091,654	0.8	1,023,914	1,023,914	1.3
補助費等	15,540,186	11.6	14,694,713	12,065,266	15.2
うち一部事務組合負担金	4,759,744	3.6	4,744,742	4,573,276	5.8
繰出金	13,220,791	9.9	10,726,380	9,462,981	11.9
積立金	2,365,870	1.8	2,042,000	-	-
投資・出資金・貸付金	21,207	0.0	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	11,011,970	8.2	2,589,211	-	-
うち人件費	321,773	0.2	321,773	-	-
普通建設事業費	11,001,816	8.2	2,579,057	-	-
うち補助	5,346,489	4.0	277,752	-	-
うち単独	5,655,139	4.2	2,301,117	-	-
災害復旧事業費	10,154	0.0	10,154	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	134,001,944	100.0	87,374,066	-	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成29年度

大阪府枚方市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	135,855	134,156	1,699	1,674	2,303	101,386	
2	土地取得特別会計	501	501	-	-	93	334	
3	母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計	88	25	63	63	3	8	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	136,348	134,586	1,762	1,737		101,728	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険特別会計	50,260	49,699	562	553	4,252	-	-	-	
2	介護保険特別会計	30,994	30,440	554	554	4,730	-	-	-	
3	後期高齢者医療特別会計	5,759	5,483	275	275	962	-	-	-	
4	自動車駐車場特別会計	101	395	▲ 295	▲ 295	-	-	-	-	
5	水道事業会計	6,868	5,375	1,493	4,727	148	20,566	576	-	法適用企業
6	病院事業会計	8,582	9,550	▲ 967	1,087	1,606	10,970	5,847	-	法適用企業
7	下水道事業会計	12,408	10,619	1,788	823	4,512	65,814	26,918	-	法適用企業
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				7,726					-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	枚方寝屋川消防組合	7,860	7,788	72	71	-	4,169	2,469	
2	北河内4市リサイクル施設組合	479	464	15	15	-	434	196	
3	淀川左岸水防事務組合	275	272	3	3	99	-	-	
4	大阪府都市競艇企業団	52,276	50,097	2,179	8,835	-	-	-	
5	大阪府後期高齢者医療広域連合(一般会計)	197	168	29	29	-	-	-	
6	大阪府後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	1,132,716	1,106,468	26,248	26,248	8,638	-	-	
7	大阪広域水道企業団(水道事業会計)	41,771	34,833	6,938	18,441	-	130,769	-	
8	大阪広域水道企業団(工業用水道事業会計)	7,819	5,819	1,999	18,181	-	16,138	-	
9	枚方京田辺環境施設組合	161	151	10	10	-	-	-	
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				71,833		151,510	2,665	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	枚方市街地開発	26	112	20	-	-	-	-	-	
2	エフエムひらかた	5	171	39	-	-	-	-	-	
3	枚方市文化国際財団	▲ 7	307	300	65	-	-	-	-	
4	枚方体育協会	14	54	1	45	-	-	-	-	
5	枚方市文化財研究調査会	0	41	3	13	-	-	-	-	
6	○枚方市土地開発公社	13	175	5	-	1,500	5,650	-	1,203	
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等									

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）														
区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	分母比	区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	分母比	内訳				平成27年度	平成28年度	平成29年度	分母比
元利償還金		10,025,989	9,986,728	10,159,947	15.0	将来負担額		99,253,382	101,232,910	101,727,792	149.7	PFI事業に係るもの		-	-	-	-	-	
減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	債務負担行為に基づく支出予定額		6,843,537	6,035,416	4,999,686	7.4	いわゆる五省協定等に係るもの		732,067	721,390	710,713	1.0	-	
満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	公営企業債等繰入見込額		39,769,277	36,427,884	33,340,433	49.1	国営土地改良事業に係るもの		-	-	-	-	-	
準元利償還金		3,990,350	3,671,669	3,298,210	4.9	組合等負担等見込額		2,843,500	2,912,332	2,665,308	3.9	森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-	-	
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		238,860	244,594	393,946	0.6	退職手当負担見込額		15,793,206	15,627,012	14,852,696	21.9	地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-	-	
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）		10,679	10,679	10,679	0.0	設立法人等の負債額等負担見込額		1,814,766	1,472,974	1,202,714	1.8	依頼土地の買い戻しに係るもの		6,111,470	5,314,026	4,288,973	6.3	-	
一時借入金の子		-	42	174	0.0	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-	-	
合計		(A)	14,265,878	13,913,712	13,862,956	連結実質赤字額		-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-	-	
内訳		平成27年度	平成28年度	平成29年度	分母比	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-	-	
PFI事業に係るもの		-	-	-	-	合計		(E)	166,317,668	163,708,528	158,788,629	その他上記に準ずるもの		-	-	-	-	-	
いわゆる五省協定等に係るもの		10,679	10,679	10,679	0.0	充当可能財源等		26,490,971	29,395,856	30,342,062	44.7	下水道事業会計		32,411,426	29,491,351	26,917,811	39.6	-	
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-	充当可能特定繰入		32,474,902	32,730,287	29,815,433	43.9	病院事業会計		6,724,023	6,338,354	5,846,774	8.6	-	
地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-	基準財政需要額算入見込額		113,200,333	112,942,637	111,679,025	164.4	水道事業会計		633,828	598,179	575,848	0.8	-	
社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-	合計		(F)	172,166,206	175,068,780	171,836,520	介護保険特別会計		-	-	-	-	-	
損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-	将来負担比率((E)-(F))/((C)-(D))×100		-	-	-	-	その他の会計		-	-	-	-	-	
引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-							地方道路公社に係る将来負担額		-	-	-	-	-	
その他上記に準ずるもの		-	-	-	-							土地開発公社に係る将来負担額		1,814,766	1,472,974	1,202,714	1.8	-	
利子補給に係るもの		-	-	-	-							地方独立行政法人に係る将来負担額		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-							その他第三セクター等に係る将来負担額		-	-	-	-	-	
特定財源の額		(B)	4,235,710	4,120,947	4,257,943	健全化判断比率		平成29年度	早期健全化基準	財政再生基準									
標準財政規模		(C)	76,661,007	76,258,119	78,172,003	実質赤字比率		-	11.25	20.00									
算入公債費等の額		(D)	9,828,628	10,087,353	10,231,226	連結実質赤字比率		-	16.25	30.00									
		(C)-(D)	66,832,379	66,170,766	67,940,777	実質公債費比率		▲ 0.3	25.0	35.0									
						将来負担比率		-	350.0										
実質公債費比率		(単年度)	0.3	▲ 0.4	▲ 0.9														
((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100		(3か年平均)	0.4	▲ 0.1	▲ 0.3														

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	口	403,989	人(H30.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち	日本人	399,861	人(H30.1.1現在)	連	結	実	赤	字	比	-	%
面積	総額	65.12	km ²	実	質	公	債	費	比	-0.3	%
歳入	総額	135,764,009	千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出	総額	134,001,944	千円	市	町	村	類	型	H25	特例市	H26
実質	収支	1,737,192	千円	(	年	度	毎	)	H28	中核市	H29
標準	財政規模	78,172,003	千円								
地方債	現在高	101,719,958	千円								

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

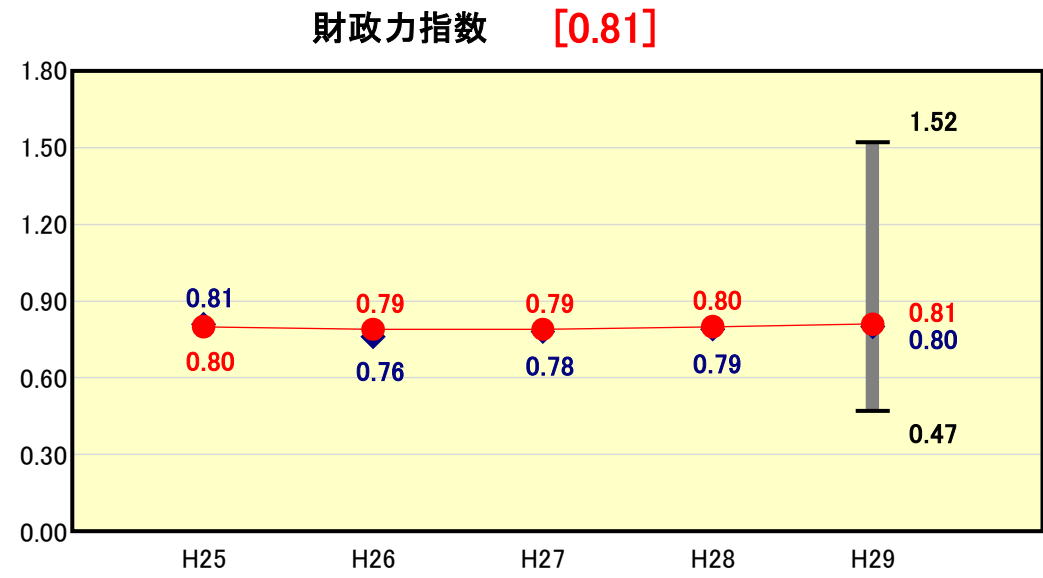
※「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。

※人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



財政力

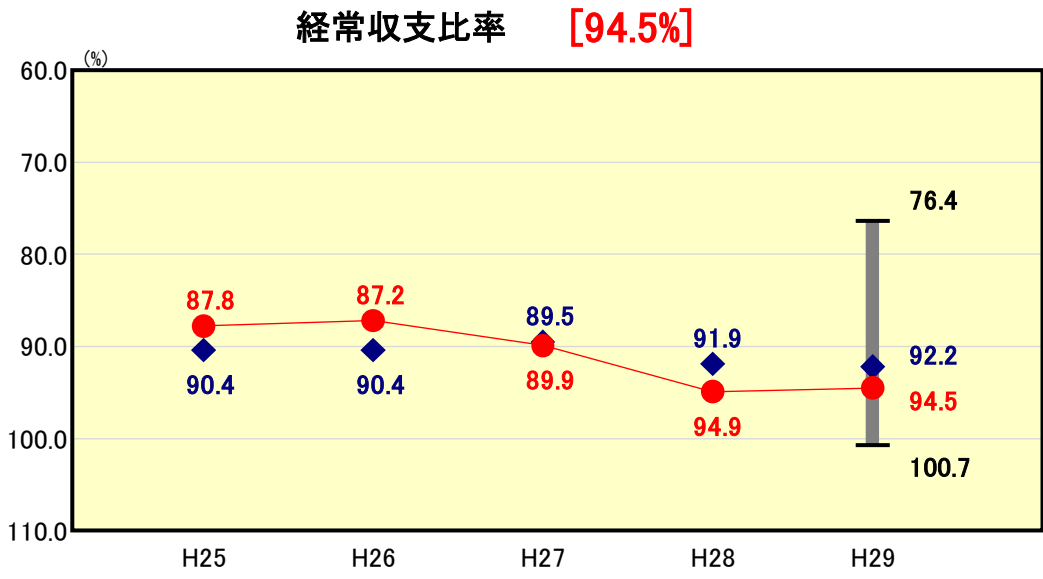


類似団体内順位 25/48 全国平均 0.51 大阪府平均 0.73

財政力指数の分析欄

財政力指数は、前年度から0.01ポイント増となっており、類似団体内平均値を0.01ポイント上回っている。
今後も人口減少や少子高齢化の進展により、市税収入の増加は見込めない状況であるが、社会保障費などの増加が予測されることから、新行政改革実施プランに掲げた自主財源の確保や受益者負担の適正化、事務事業等の見直し・最適化などに取り組むことで一定水準を維持できるよう努めていく。

財政構造の弾力性

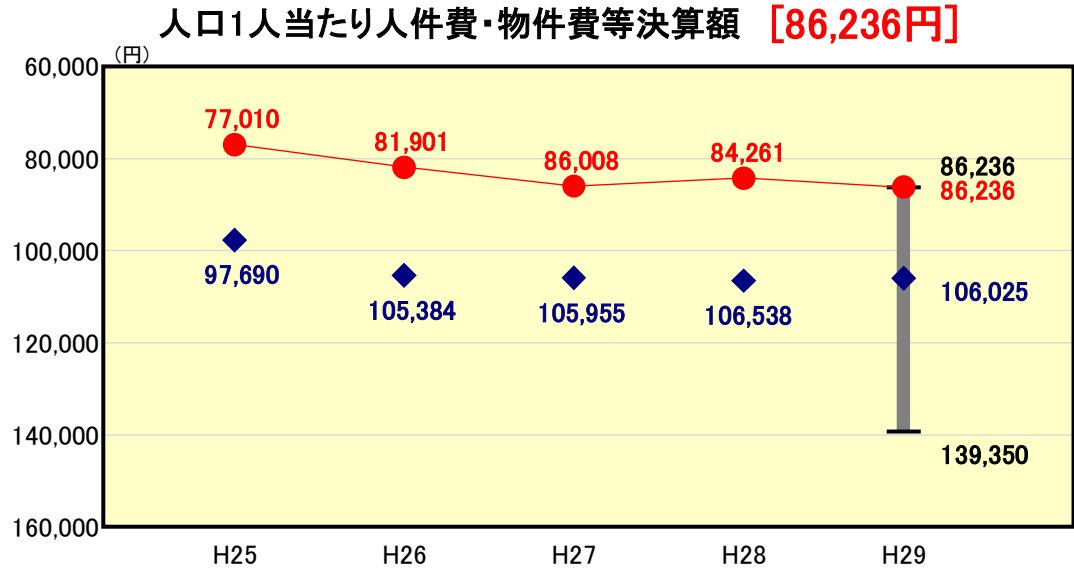


類似団体内順位 31/48 全国平均 92.8 大阪府平均 97.5

経常収支比率の分析欄

経常収支比率は、前年度比で0.4ポイント減となった。要因としては、歳出で扶助費や繰出金等が増となったことにより、経常経費充当一般財源等の総額が前年度比24億8,000万円の増となった一方、歳入で市税や普通交付税、臨時財政対策債等が増となったことにより、経常一般財源等の総額が29億4,100万円の増となったことによるものである。
今後については、歳入で経常一般財源の増加は見込めず、歳出でも扶助費などの伸びが継続する見込みであることから、新行政改革実施プランに掲げた自主財源の確保や受益者負担の適正化、事務事業等の見直し・最適化などに取り組むことで一定水準を維持できるよう努めていく。

人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 1/48 全国平均 131,654 大阪府平均 120,582

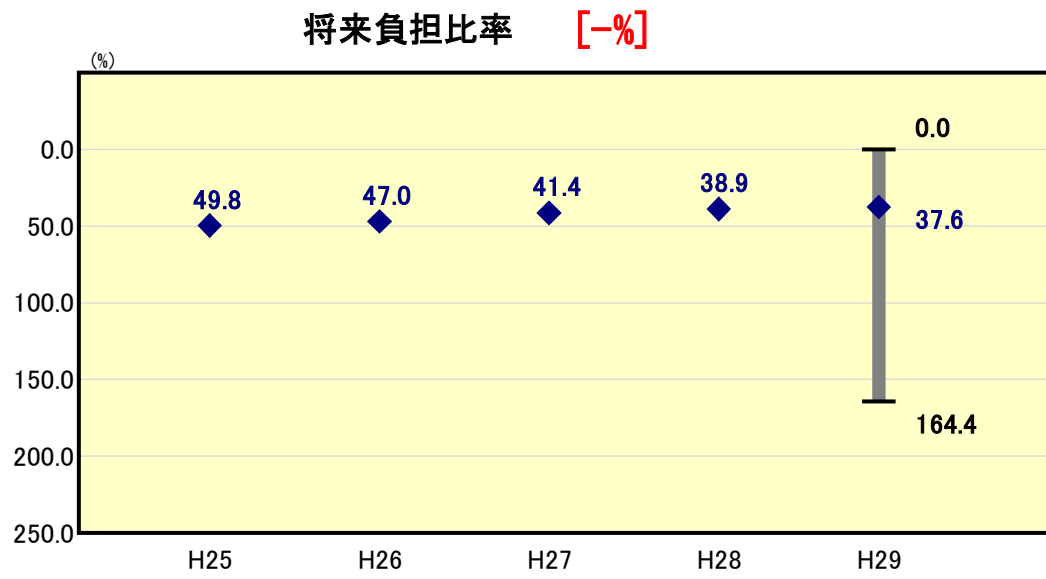
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人口1人当たり人件費・物件費等決算額は、退職者数の増加に伴う退職手当の増や一般ごみ収集業務委託料などの物件費の増により、前年度比1,975円増となったものの、類似団体内平均値より、下回る結果となっている。これは職員定数基本方針に基づき職員数及び総人件費の見直しを実施していることや、消防業務を一部事務組合において執行しているため、その決算額を補助費等に計上していることなどが挙げられる。
今後についても職員定数基本方針に基づく総人件費の適正化や新行政改革実施プランに掲げた事務事業等の見直し・最適化などに取り組んでいく。

平成29年度

大阪府枚方市

将来負担の状況

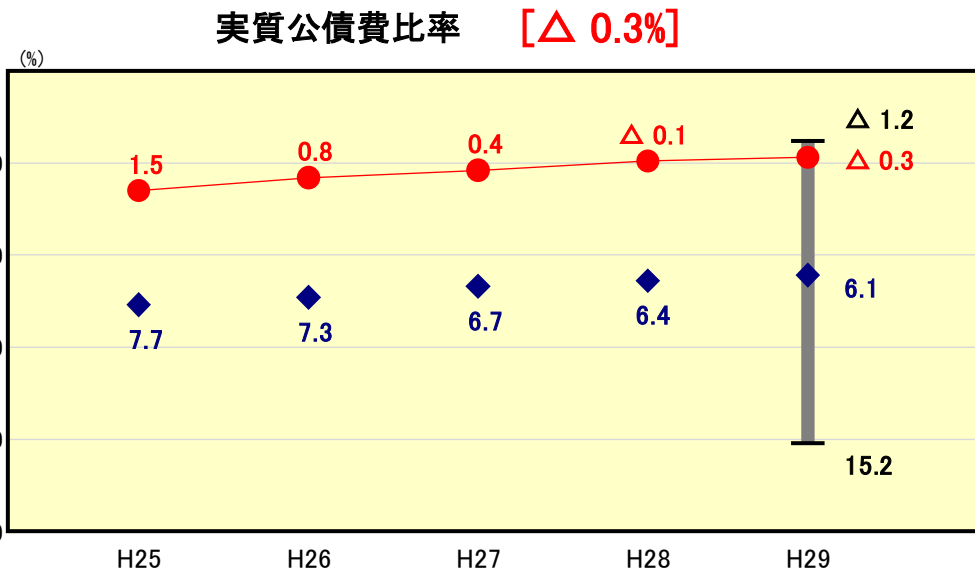


類似団体内順位 1/48 全国平均 33.7 大阪府平均 27.5

将来負担比率の分析欄

将来負担比率は、学校教育施設等整備事業債や臨時財政対策債の発行額の増等により地方債現在高が増となったものの、下水道事業会計に係る公営企業債等繰入見込額が減となり、また、土地開発公社から総合スポーツセンター駐車場拡張用地や仮称北山社会教育施設用地の買戻しを行ったことなどによる債務負担行為に基づく支出予定額の減などにより、前年度から減少している。
充当可能財源等では、都市計画事業に係る地方債現在高が経年の償還で減となったことにより充当可能特定歳入が減少したものの、将来負担比率の算定では、充当可能財源等が将来負担額を上回り「-」となっている。引き続き、地方債残高をはじめとする将来負担額の抑制に努めていく。

公債費負担の状況

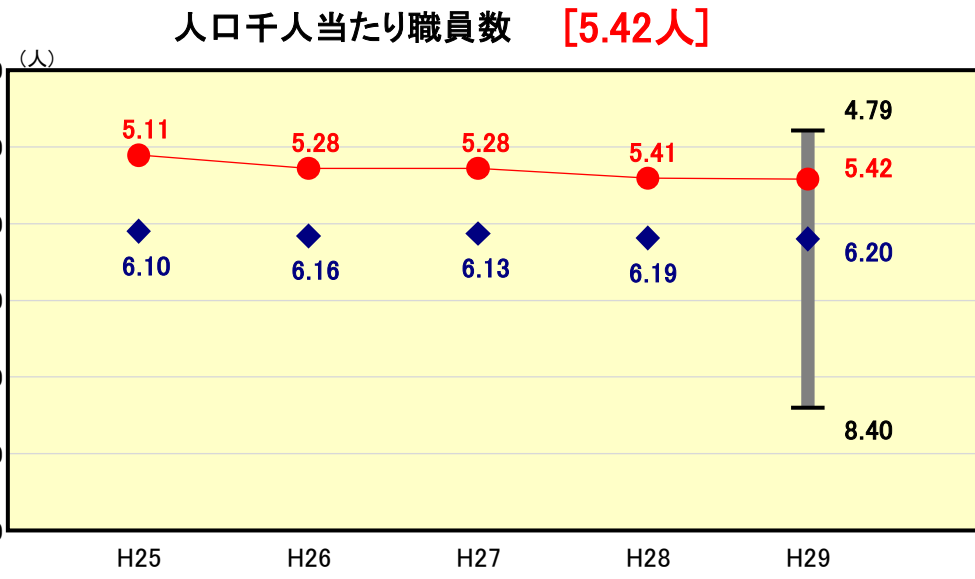


類似団体内順位 3/48 全国平均 6.4 大阪府平均 5.0

実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率は、類似団体内平均値との比較においては前年度に引き続き下回り、前年度から0.2ポイント減の▲0.3%となった。
単年度の実質公債費比率は、分子が減、分母が増となったことにより、前年度と比較し約0.5ポイントの減となっている。分子の減の要因としては、借換時期を迎える起債の償還額の増加により元利償還金は増となったものの、下水道事業会計において汚水整備に係る企業債の利子償還費の減少等により繰出金の公営企業地方債償還充当分が減となったことによる。分母の増の要因としては、臨時財政対策債の発行可能額の増加により標準財政規模が増となったことによる。
引き続き、計画的な普通建設事業に取り組むことで公債費の抑制に努めていく。

定員管理の状況

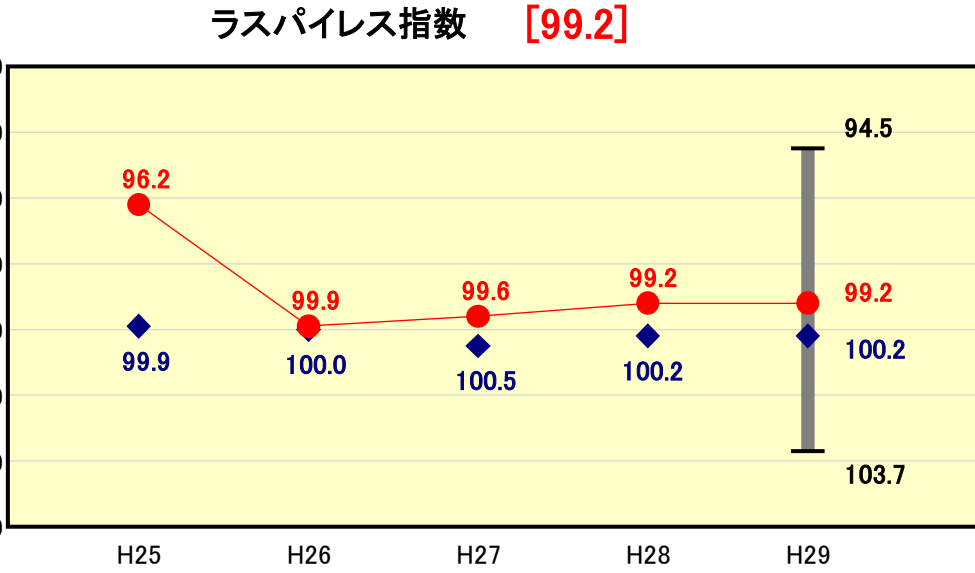


類似団体内順位 6/48 全国平均 7.91 大阪府平均 8.24

人口千人当たり職員数の分析欄

職員数については、当該資料作成時点において未公表であるため、前年度と同じ数値を引用している。
今後も枚方市職員定数基本方針に基づき、職員数と総人件費の適正化を図っていく。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 12/48 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.4

ラスパイレス指数の分析欄

平成30年4月1日現在のラスパイレス指数については、当該資料作成時点において未公表であるため、前年度と同じ数値を引用している。
給与水準については、今後も引き続き、国や他の自治体及び民間事業所等との均衡を図り、適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

大阪府枚方市

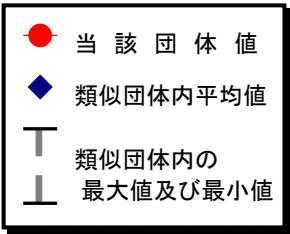
経常収支比率の分析

人	403,989	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	399,861	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	65.12	k㎡	実質公債費比率	-0.3	%
歳入総額	135,764,009	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	134,001,944	千円			
実質収支	1,737,192	千円	市町村類型	H25 特例市 H26 中核市 H27 中核市	
標準財政規模	78,172,003	千円	(年度毎)	H28 中核市 H29 中核市	
地方債現在高	101,719,958	千円			

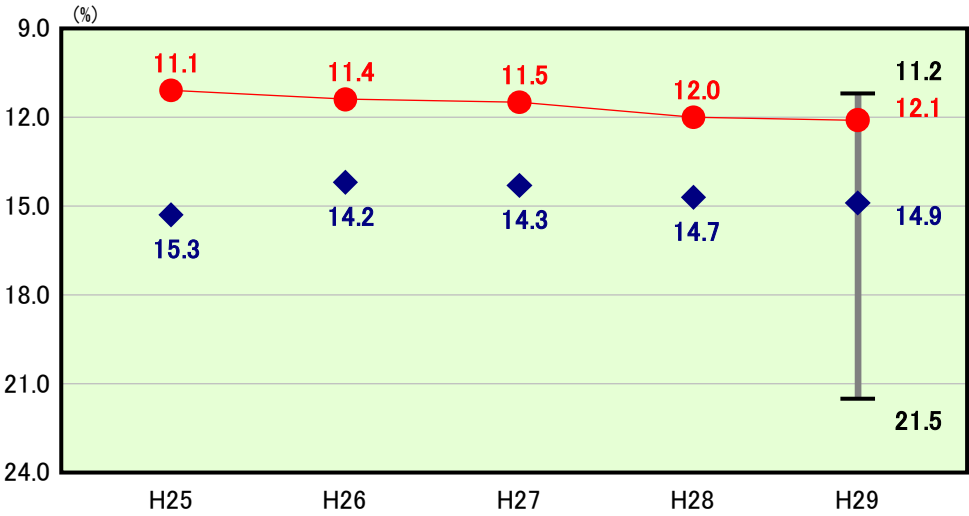
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



物件費

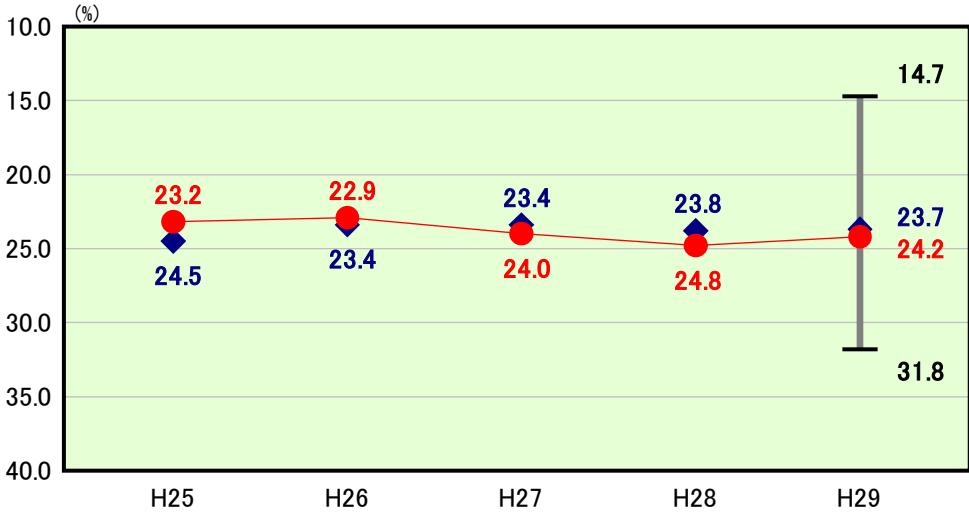


類似団体内順位 4/48 全国平均 14.5 大阪府平均 12.3

物件費の分析欄

経常収支比率における物件費の割合は、類似団体内平均値を下回っているが、前年度からは0.1ポイントの増となっている。これは、一般ごみ収集業務委託料などの増によるものである。今後も引き続き、経常的経費の抑制に努めていく。

人件費

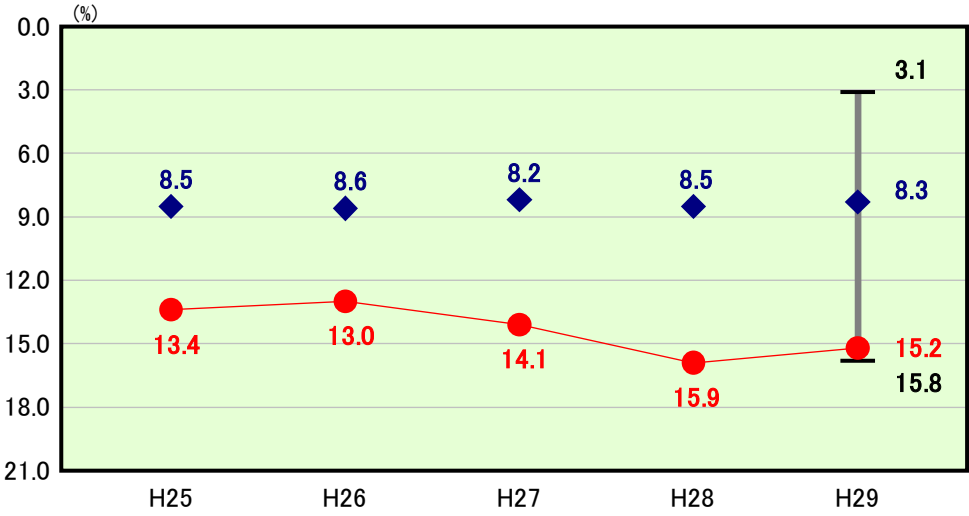


類似団体内順位 28/48 全国平均 25.6 大阪府平均 27.0

人件費の分析欄

経常収支比率における人件費の割合は、類似団体内平均値を上回り、前年度からは0.6ポイントの減となっている。これは退職者数の増などから人件費総額は増となったものの、市税や地方交付税、臨時財政対策債など経常一般財源等の増がこれを上回ったことにより、割合が減少したものである。今後も職員定数基本方針に基づく総人件費の適正化に努めていく。

補助費等



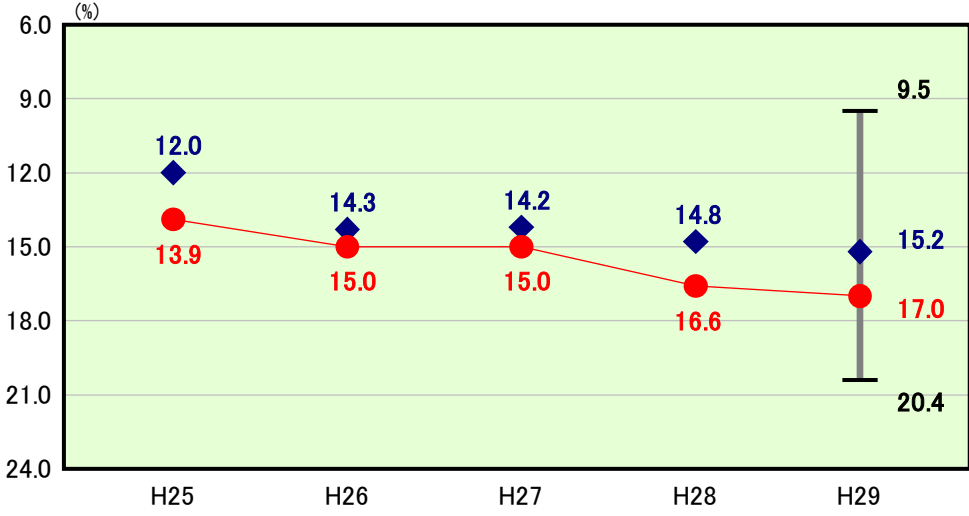
類似団体内順位 47/48 全国平均 10.1 大阪府平均 9.7

補助費等の分析欄

経常収支比率における補助費等の割合は、前年度からは0.7ポイントの減となっている。これは、枚方寝屋川消防組合への負担金が増となったものの、下水道事業会計や病院事業会計への負担金・補助金等が減少したことによるものである。しかし、病院事業会計への負担金・補助金等や消防組合へ負担金を支出していることにより、類似団体内平均値としては経年で上回った結果となっている。

今後についても引き続き新行政改革実施プランに基づき、繰出金の抑制や補助金の見直しに取り組んでいく。

扶助費

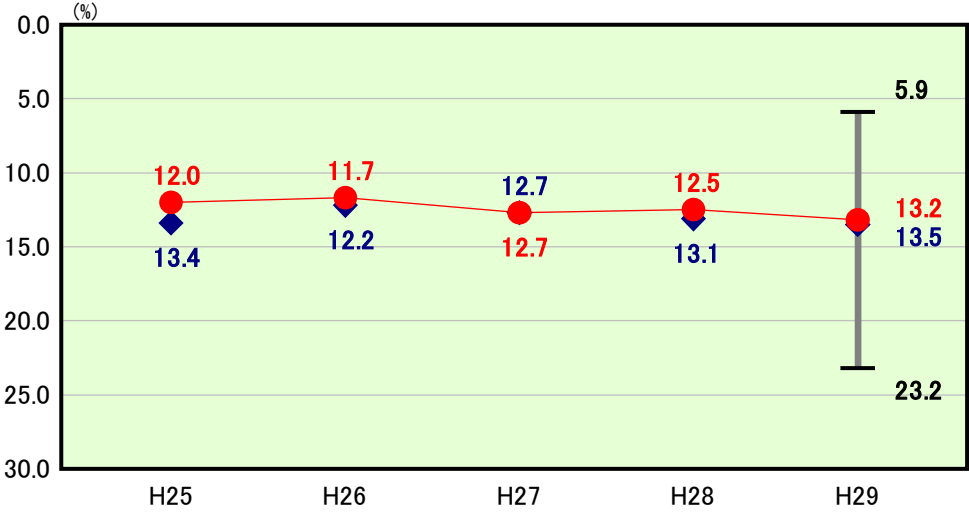


類似団体内順位 35/48 全国平均 12.4 大阪府平均 17.2

扶助費の分析欄

経常収支比率における扶助費の割合は、類似団体内平均値を上回り、前年度からも0.4ポイントの増となっている。これは子ども医療費負担金や障害者自立支援費、障害児通所支援事業経費などの増によるものである。引き続き、新行政改革実施プランに掲げた事務事業等の見直し・最適化に取り組んでいく。

その他

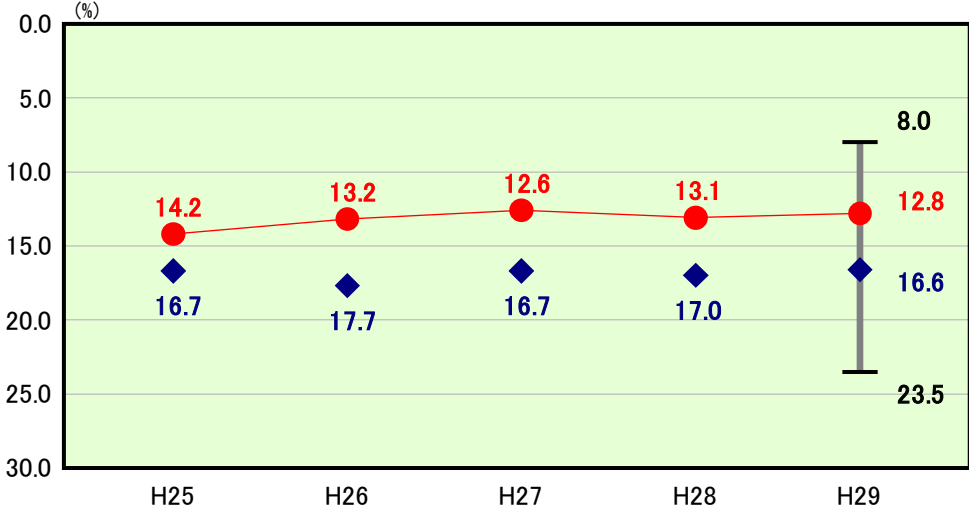


類似団体内順位 22/48 全国平均 13.3 大阪府平均 12.4

その他の分析欄

経常収支比率におけるその他の割合は、類似団体内平均値を下回ったものの、前年度からは0.7ポイントの増となった。その他の中で大きな割合を占めているのは、各特別会計への繰出金であり、前年度から比較すると後期高齢者医療特別会計などへの繰出金の増により、全体として増加となった。引き続き、基準内も含めた総額抑制を図っていく。

公債費

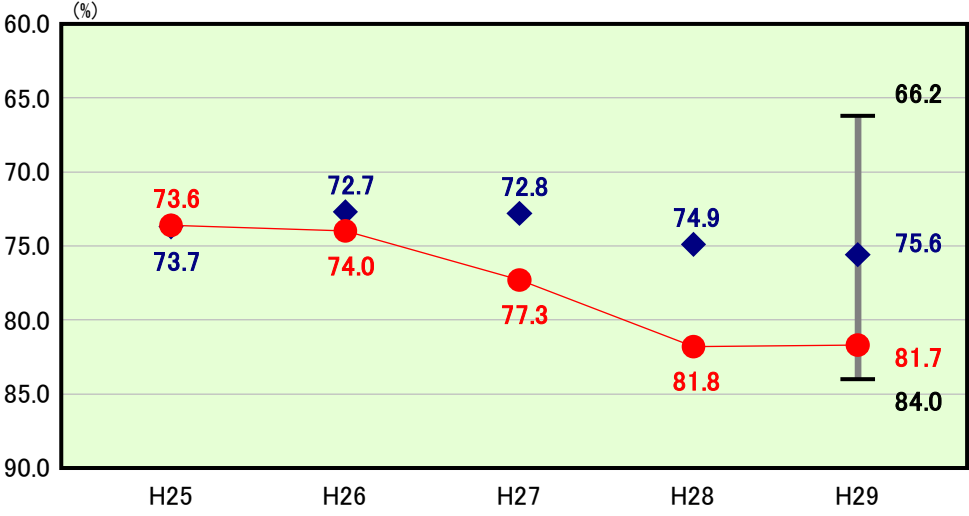


類似団体内順位 8/48 全国平均 16.9 大阪府平均 18.9

公債費の分析欄

経常収支比率における公債費の割合は、類似団体内平均値を下回り、前年度からも0.3ポイントの減となった。これは利率の高い元金の償還が順次進んでいることや、借入利率の低下によるものである。引き続き、減債基金を活用した地方債残高の抑制などにより、公債費の抑制に努めていく。

公債費以外



類似団体内順位 45/48 全国平均 75.9 大阪府平均 78.6

公債費以外の分析欄

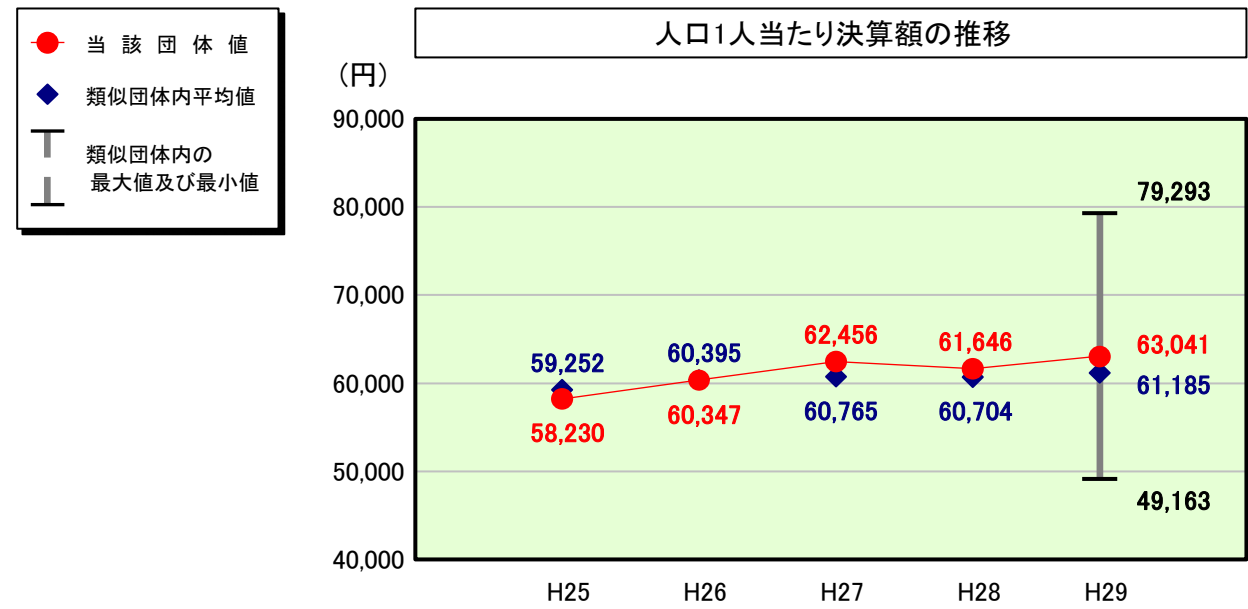
経常収支比率における公債費以外の割合は、類似団体内平均値を上回ったものの、前年度比0.1ポイントの減となった。引き続き、新行政改革実施プランに掲げた自主財源の確保と受益者負担の適正化、事務事業等の見直し・最適化などの実施に取り組んでいく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

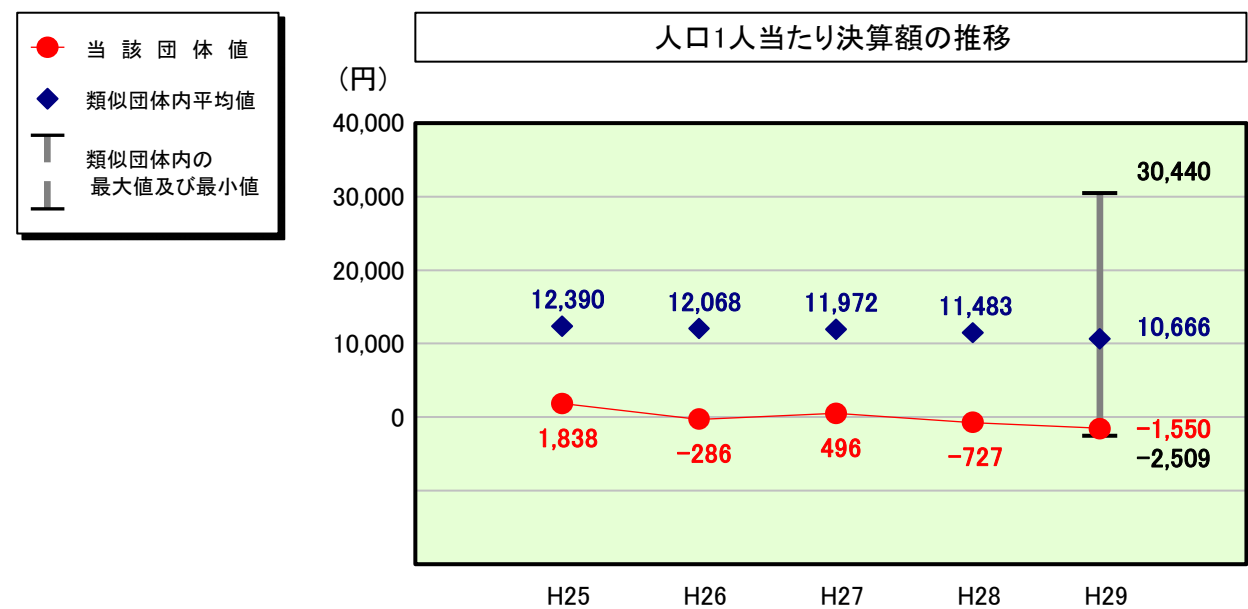
大阪府枚方市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析

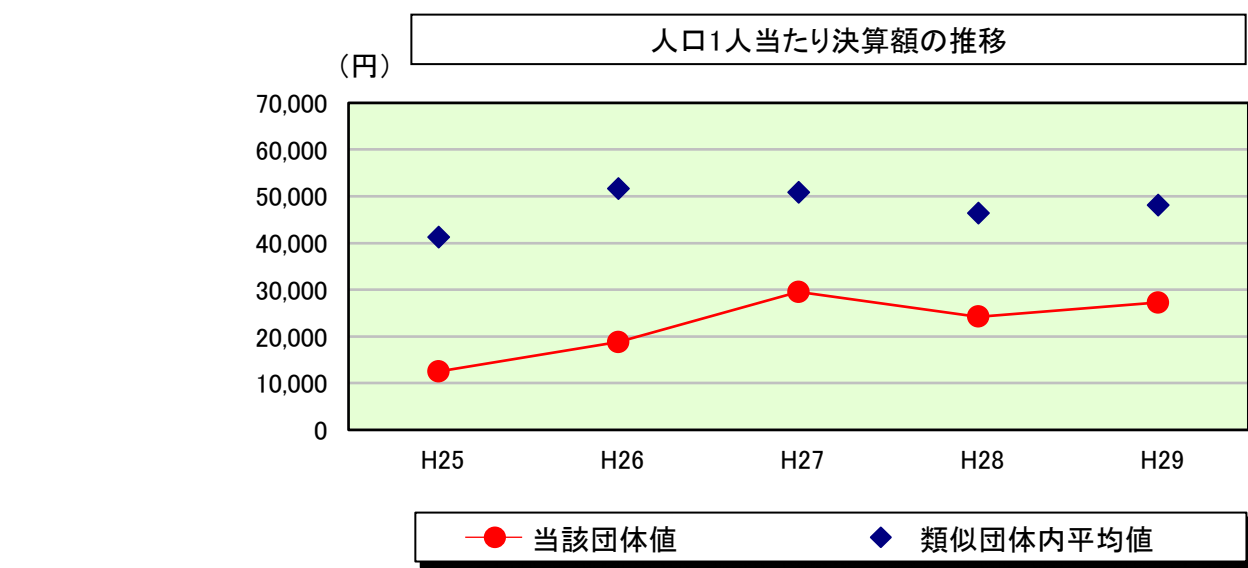


(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点（平成31年1月末時点）において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析



(参考) 普通建設事業費の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	21,513,788	53,253	57,800	▲ 7.9
賃金（物件費）	712,996	1,765	2,573	▲ 31.4
一部事務組合負担金（補助費等）	3,719,606	9,207	1,586	480.5
公営企業（法適）等に対する繰出し（補助費等）	132,796	329	532	▲ 38.2
公営企業（法適）等に対する繰出し（投資及び出資金・貸付金）	-	-	18	-
公営企業（法非適）等に対する繰出し（繰出金）	782,853	1,938	1,833	5.7
事業費支弁に係る職員の人件費（投資的経費）	321,773	796	1,281	▲ 37.9
▲退職金	▲ 1,716,037	▲ 4,248	▲ 4,437	▲ 4.3
合計	25,467,775	63,041	61,185	3.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比（差引）
人口1,000人当たり職員数（人）	5.42	6.20	▲ 0.78
ラスパイレス指数	99.2	100.2	▲ 1.0

公債費及び公債費に準ずる費用（実質公債費比率の構成要素）

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 （繰上償還額等を除く）	10,159,947	25,149	37,891	▲ 33.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	3	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの （年度割相当額）	-	-	103	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	3,298,210	8,164	9,138	▲ 10.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	393,946	975	348	180.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	10,679	26	851	▲ 96.9
一時借入金利子 （同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く）	174	0	1	▲ 100.0
▲特定財源の額	▲ 4,257,943	▲ 10,540	▲ 8,418	25.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 10,231,226	▲ 25,326	▲ 29,250	▲ 13.4
合計	▲ 626,213	▲ 1,550	10,666	▲ 114.5

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成29年度

大阪府枚方市

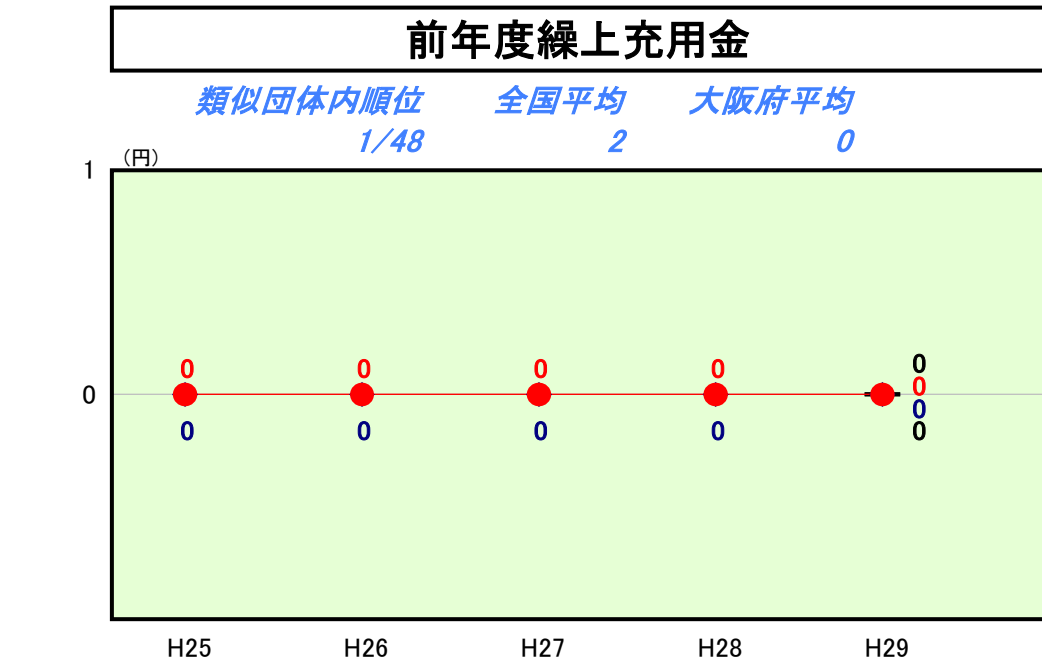
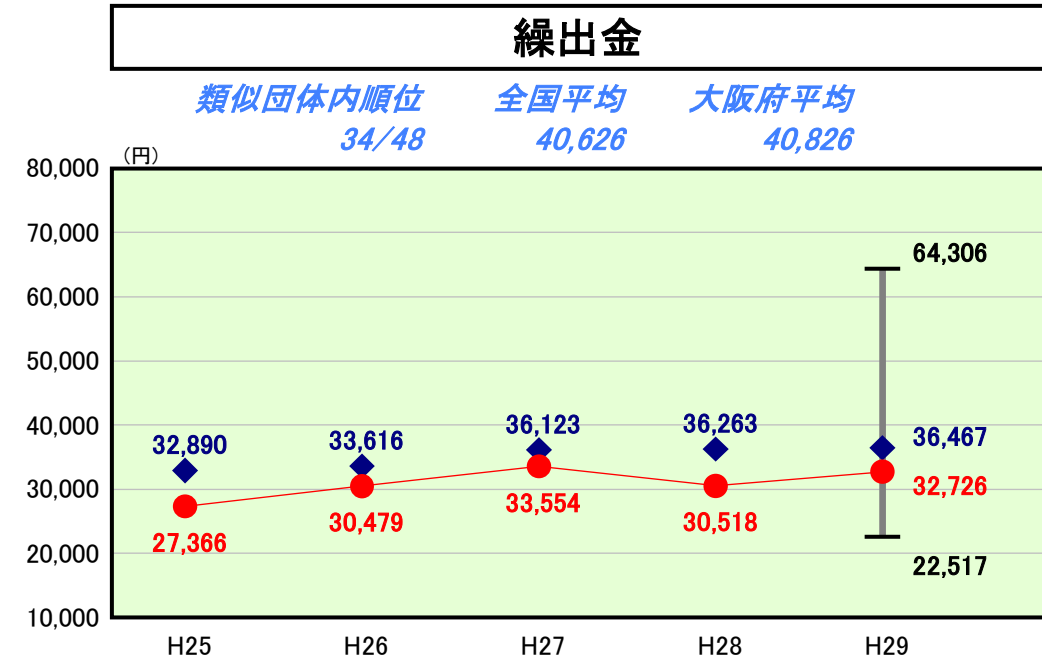
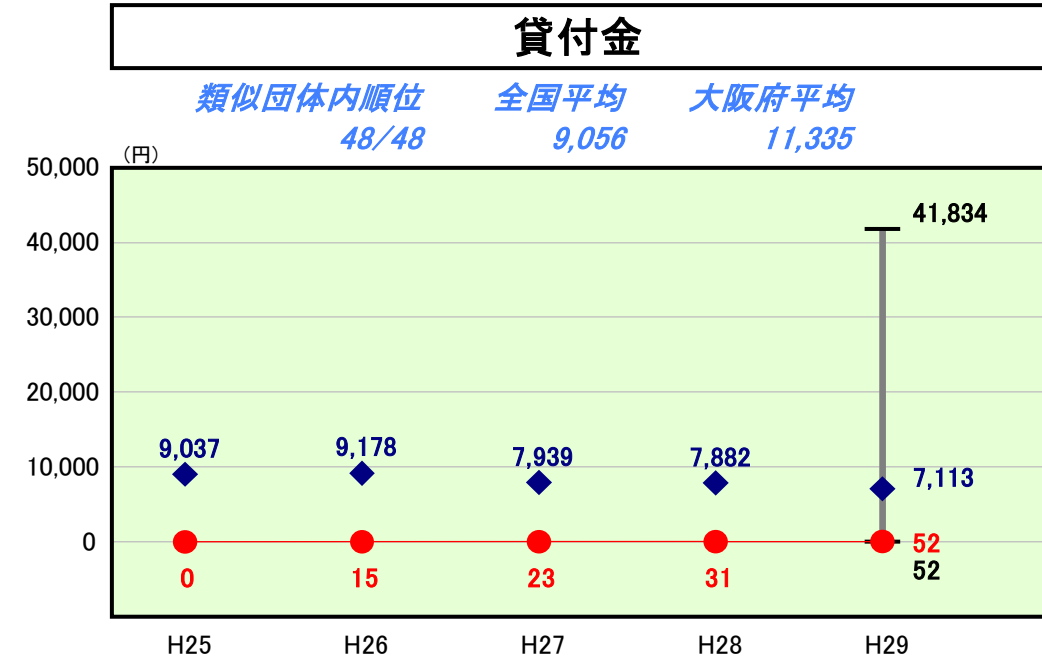
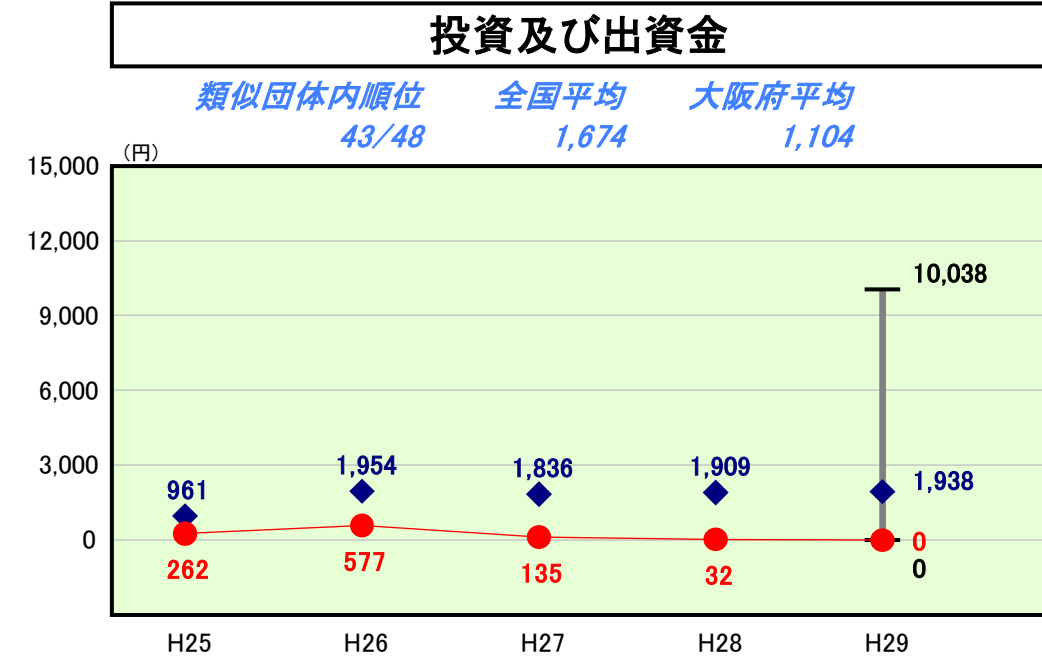
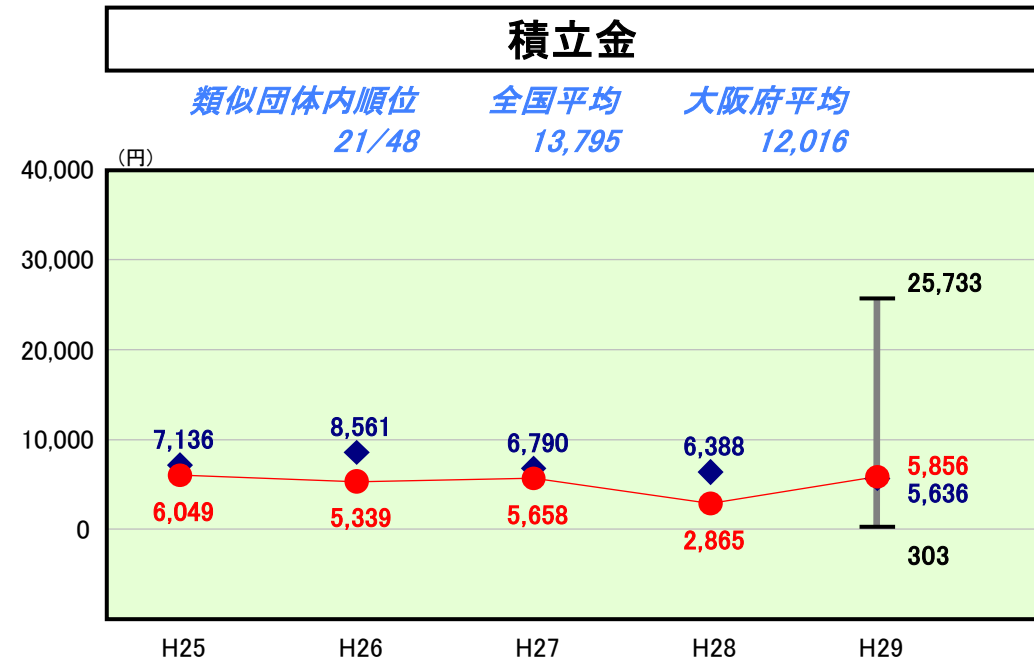
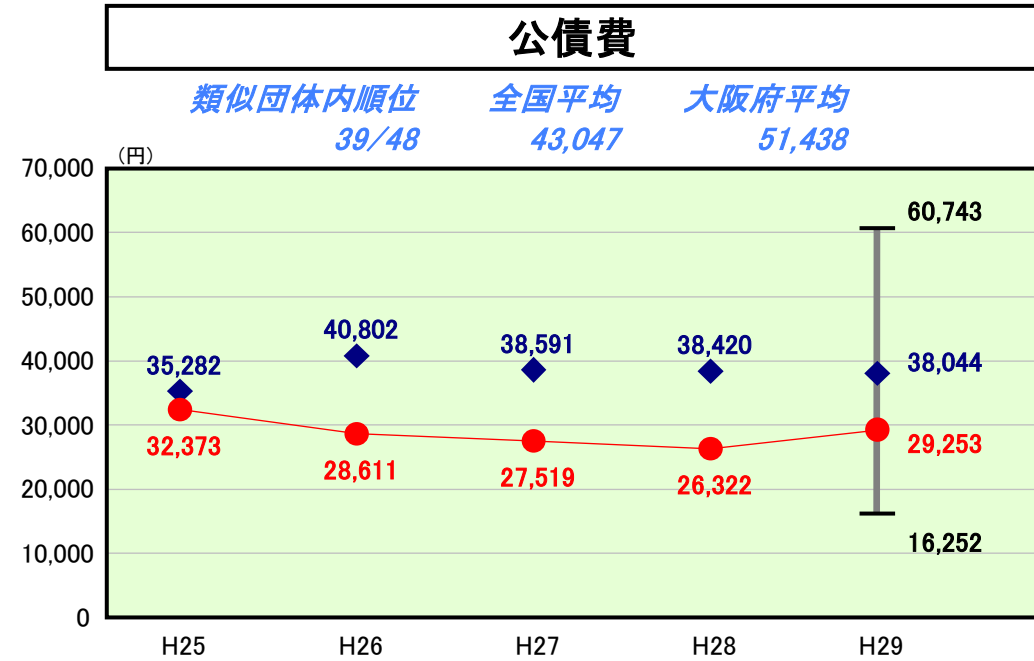
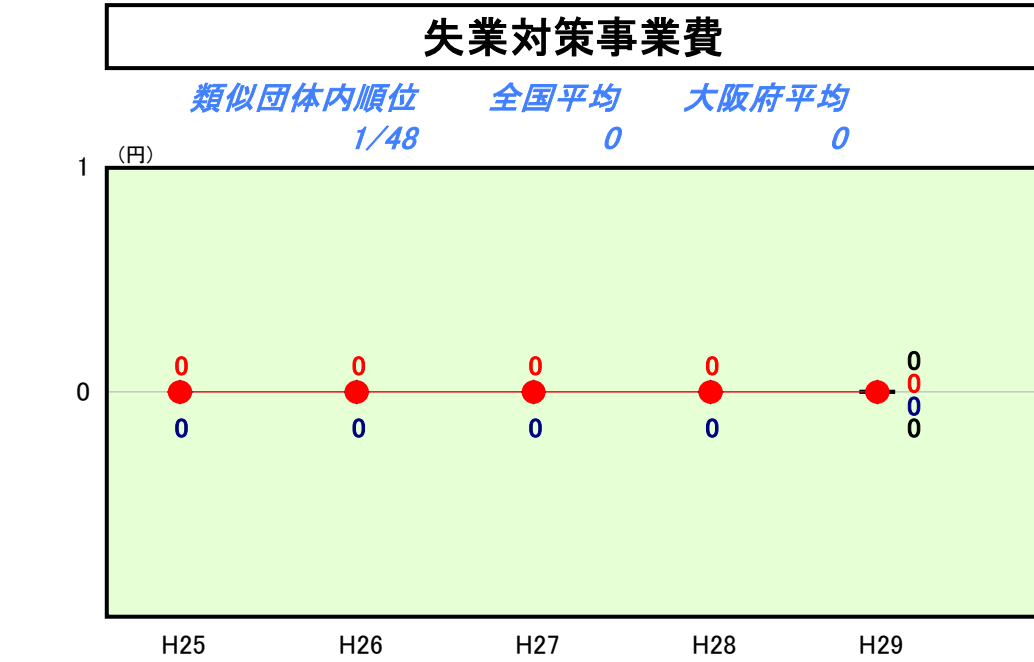
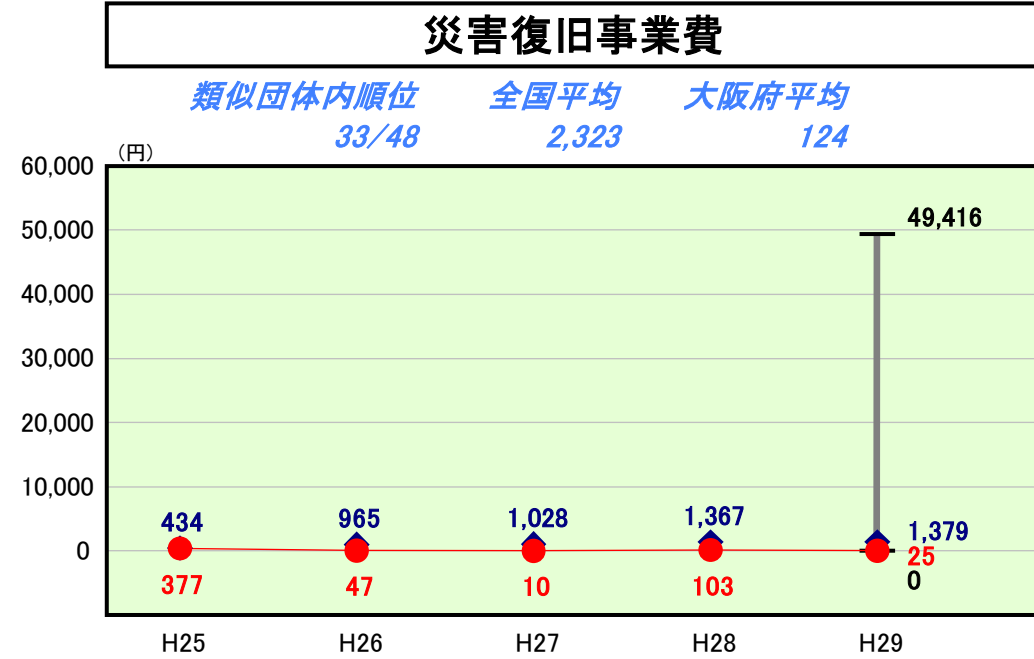
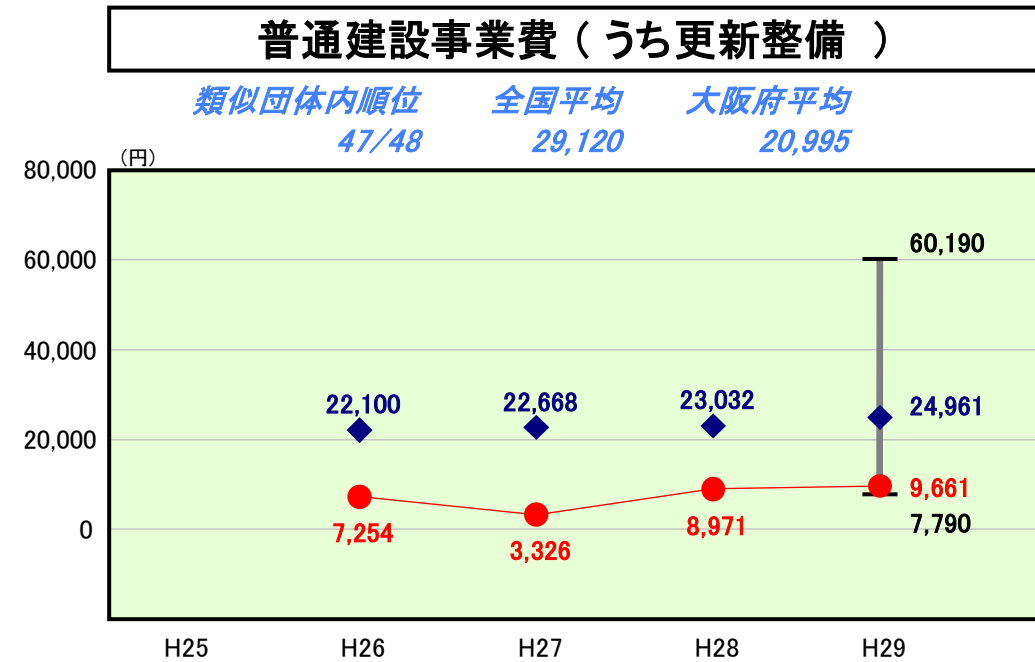
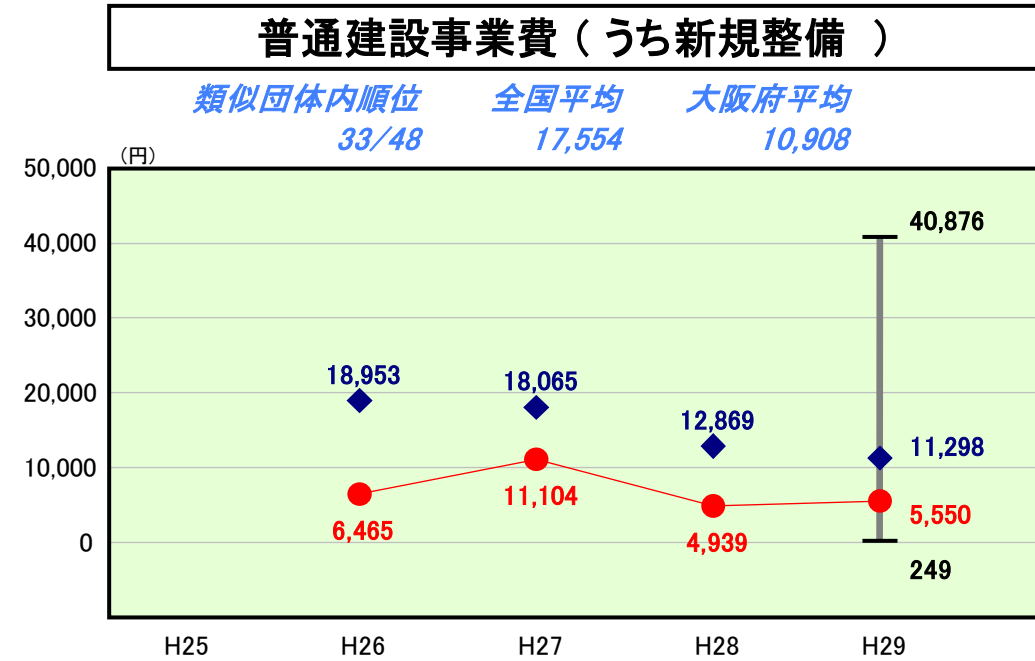
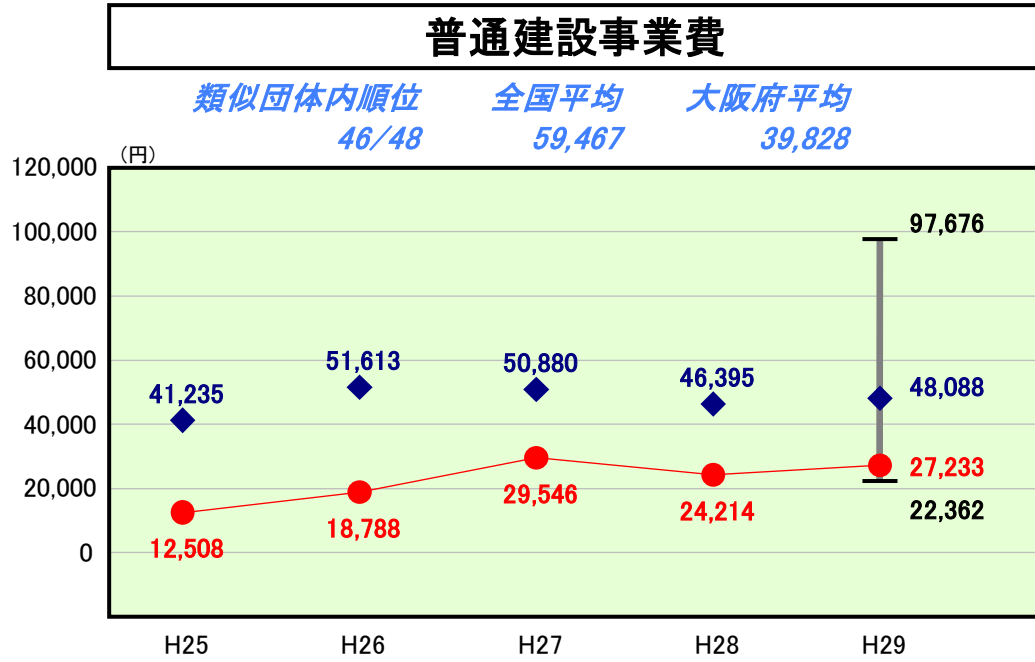
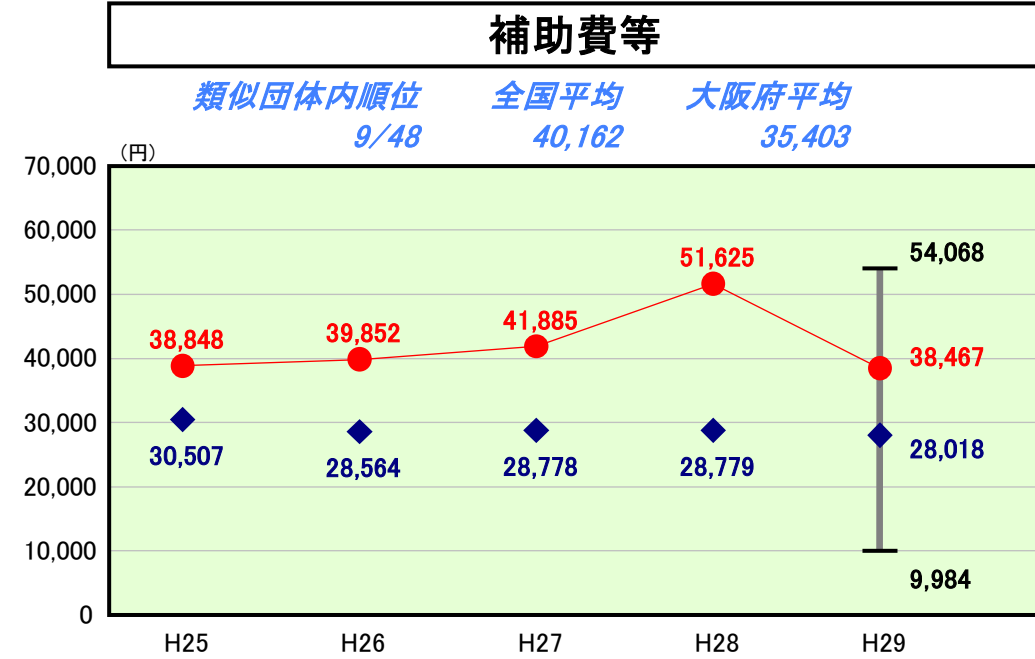
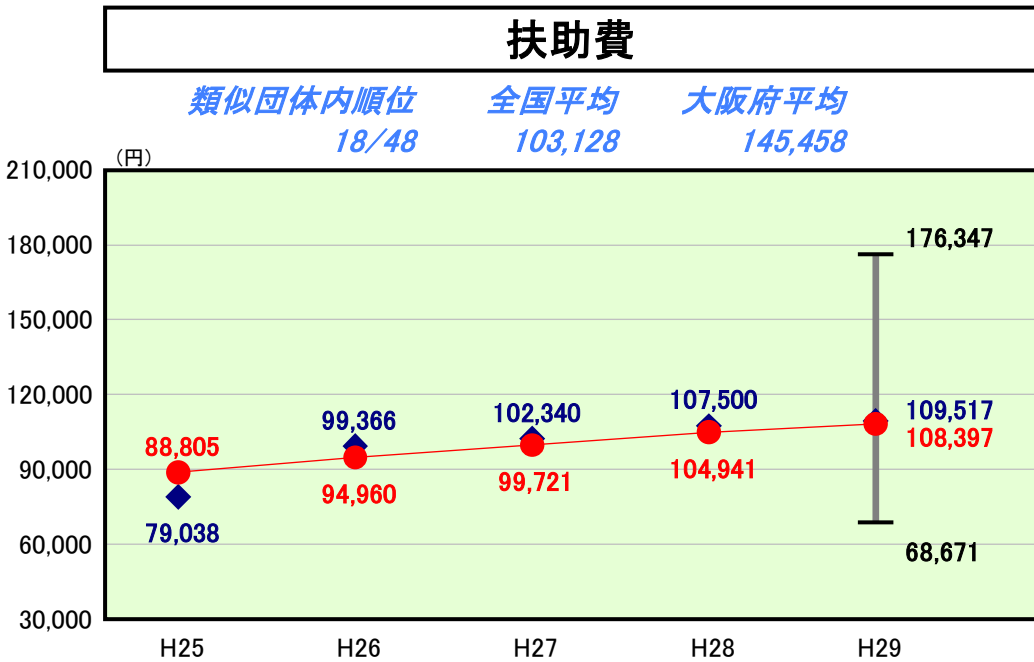
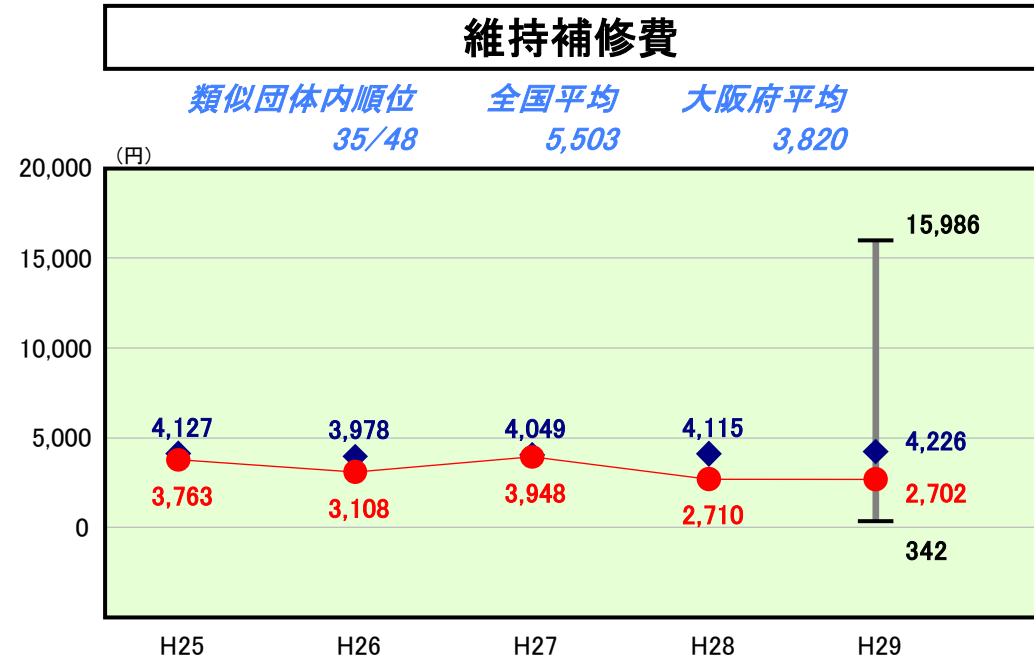
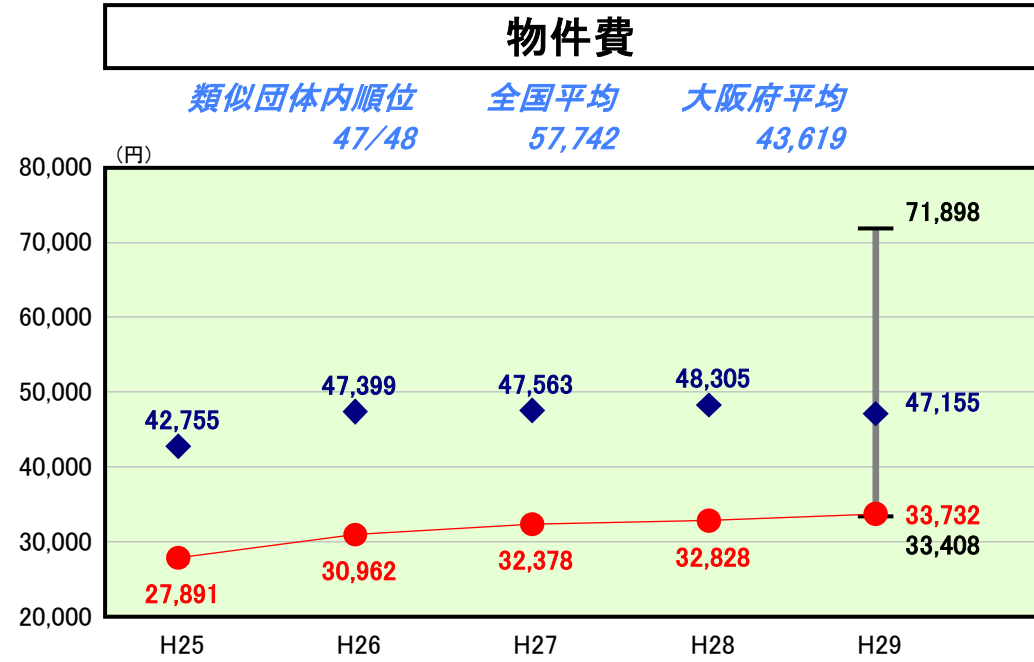
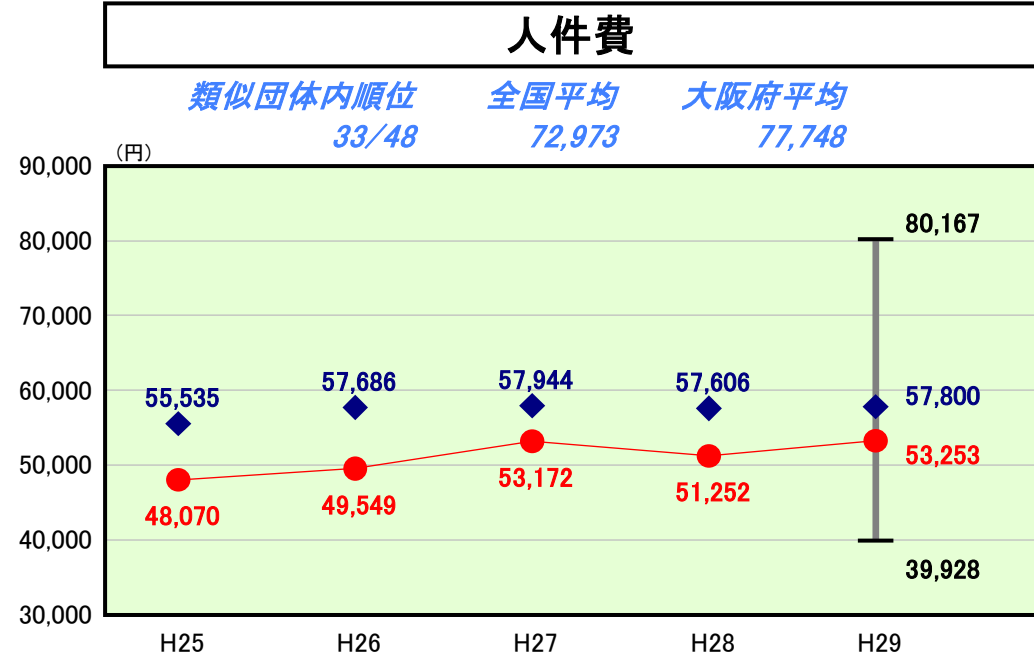
人	403,989人(H30.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
口	399,861人(H30.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面	65.12km ²	実	質	公	債	費	比	率	-0.3%
歳入総額	135,764,009千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	134,001,944千円	市	町	村	類	型		H25	特例市
実質収支	1,737,192千円	(	年	度	毎	)		H28	中核市
標準財政規模	78,172,003千円							H26	中核市
地方債現在高	101,719,958千円							H27	中核市



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

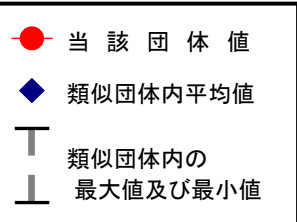
補助費等の住民一人当たりのコストは、類似団体内平均値と比較して10,449円高くなっているが、前年度と比較すると13,158円減となっている。補助費等の大きな割合を占めているのは、水道事業会計・病院事業会計・下水道事業会計への負担金・補助金等であるが、各企業会計に対する負担金等については、基準内も含めた総額の抑制を図っている。前年度と比較して減少している主な要因は、土地取得特別会計基金償還金の減、病院事業会計・下水道事業会計への負担金・補助金の減によるものである。普通建設事業費の住民一人当たりのコストは、前年度と比較して3,019円増加しており、主な要因は、公的介護施設等整備事業経費の増、京阪本線連続立体交差事業費(土地購入)の増等によるものである。普通建設事業費については、毎年概ね70億円程度を基本としながら、今後予定される大規模事業については財政に与える影響を踏まえ実施していく。公債費の住民一人当たりのコストは、類似団体内平均値と比較して8,791円低く、前年度と比較すると2,931円増加している。前年度と比較して増加している主な要因は、市債の繰上償還等によるものである。引き続き、減債基金を活用した市債残高の抑制に努め、公債費の負担軽減を図っていく。扶助費の住民一人当たりのコストは、類似団体内平均値と同様に年々増加傾向にあり、前年度と比較しても3,456円高くなっている。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成29年度

大阪府枚方市

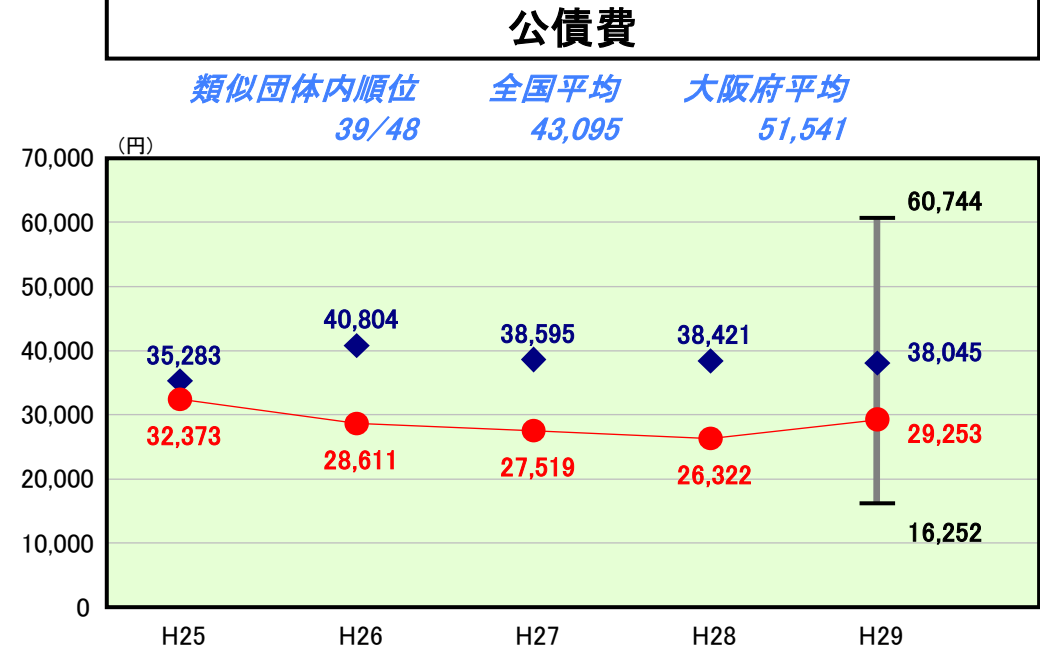
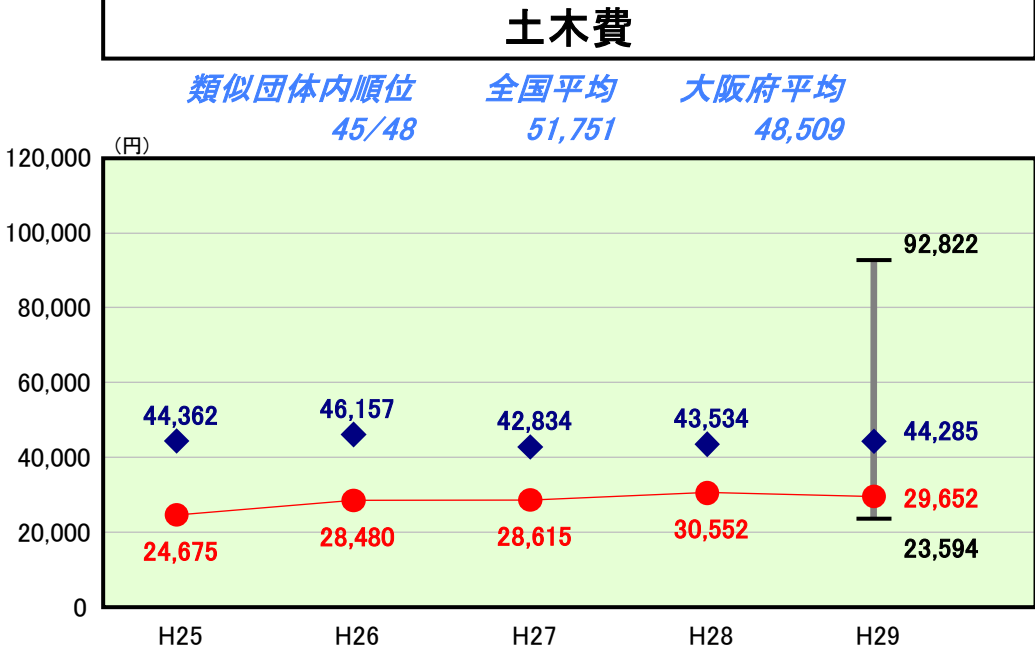
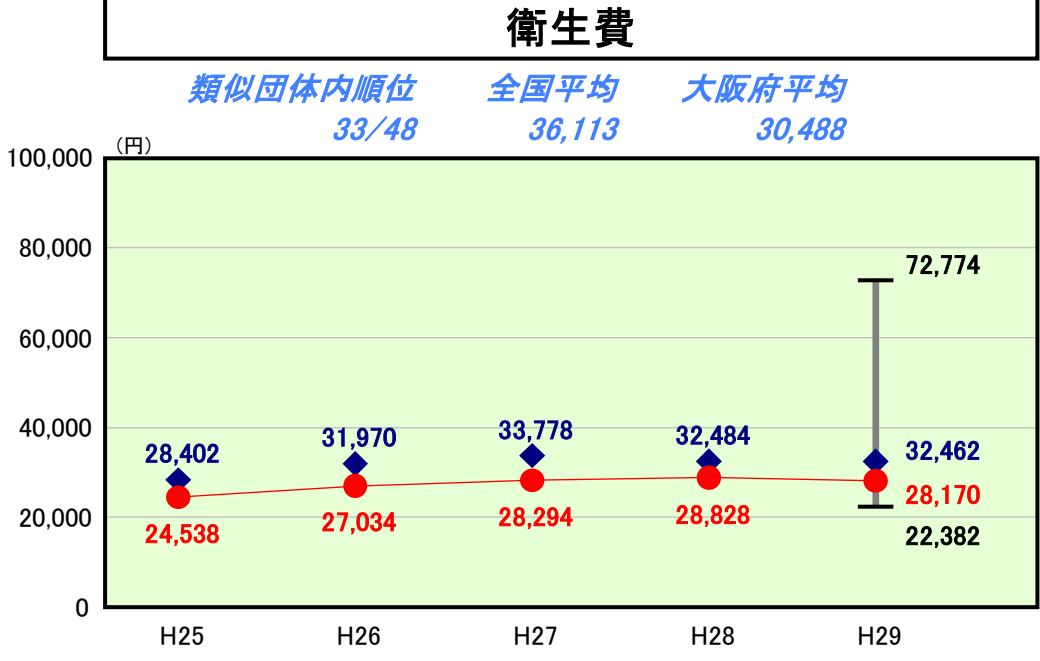
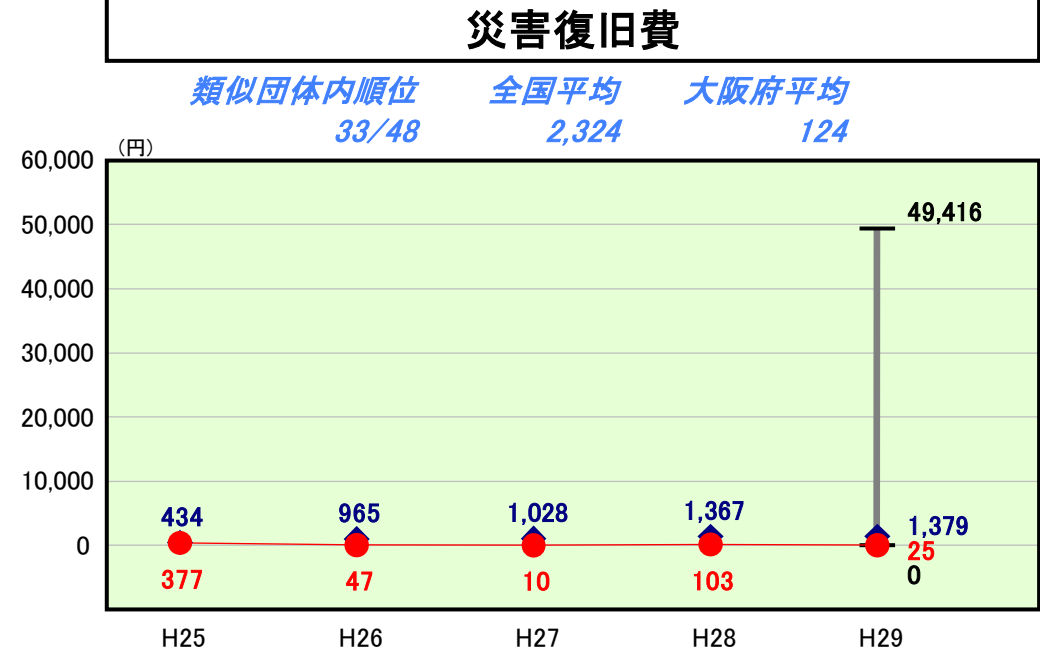
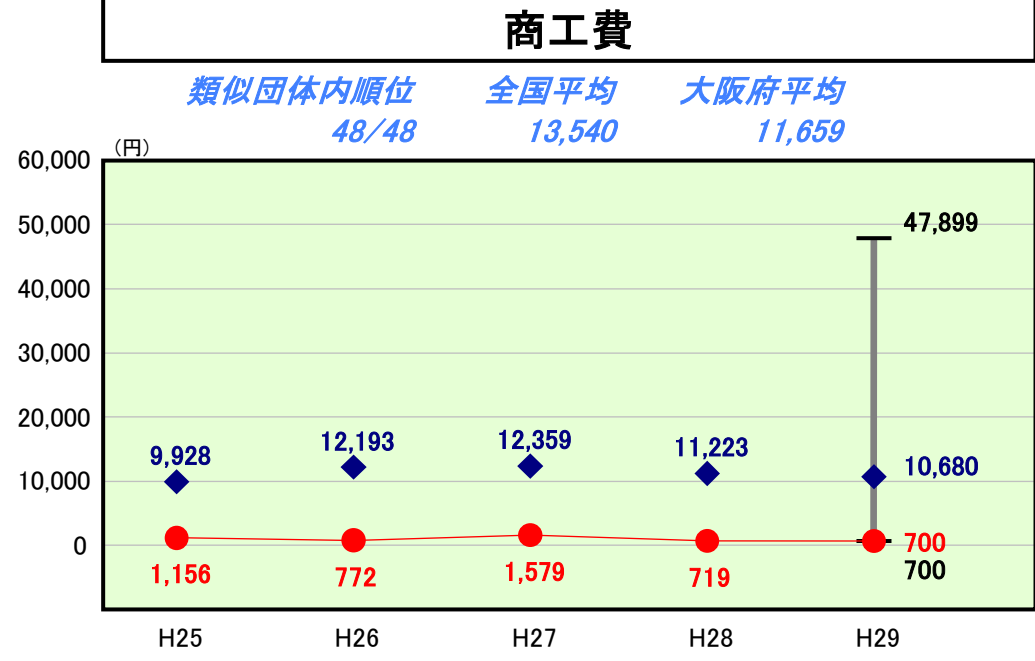
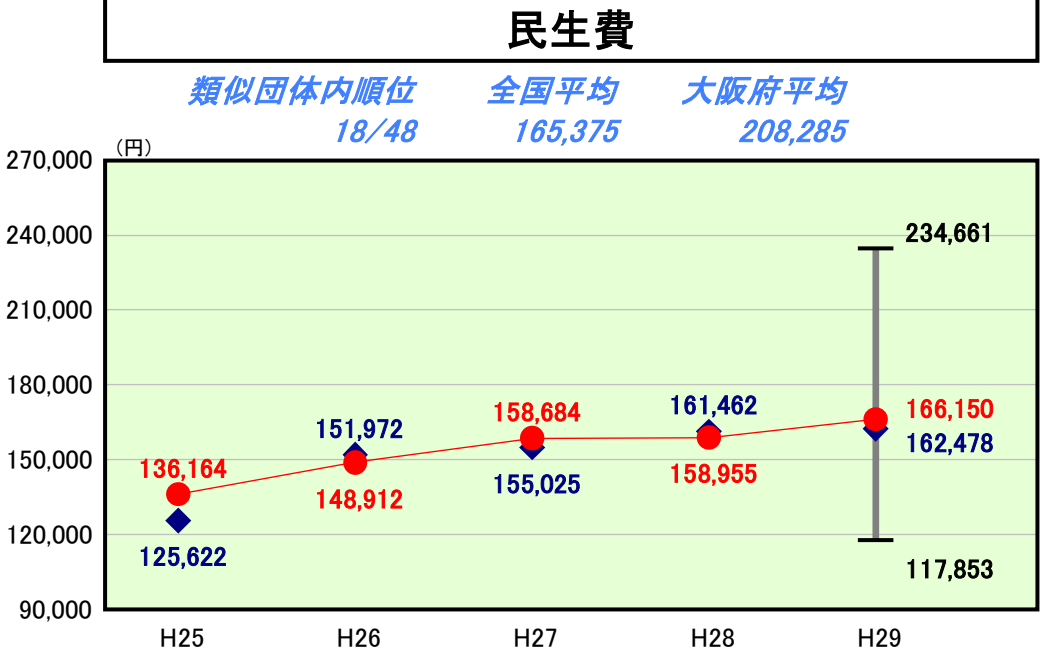
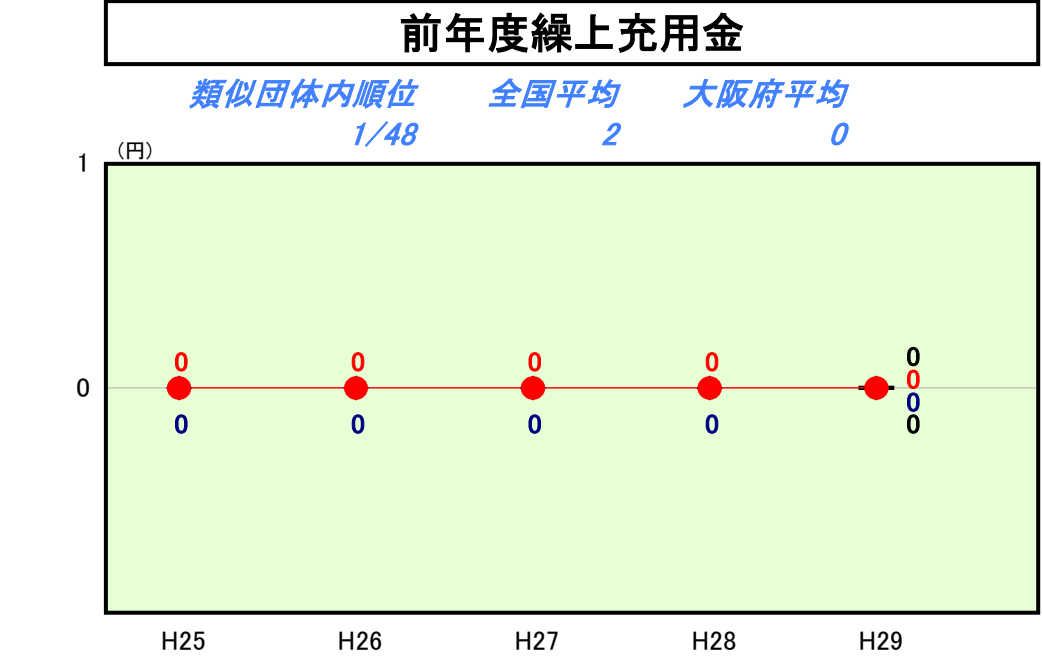
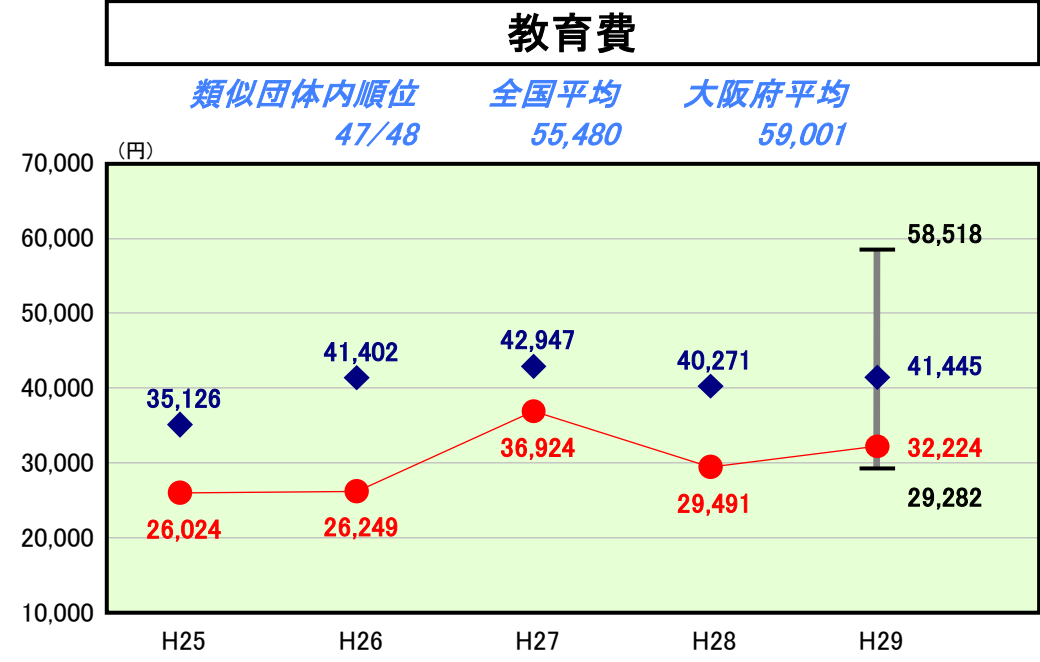
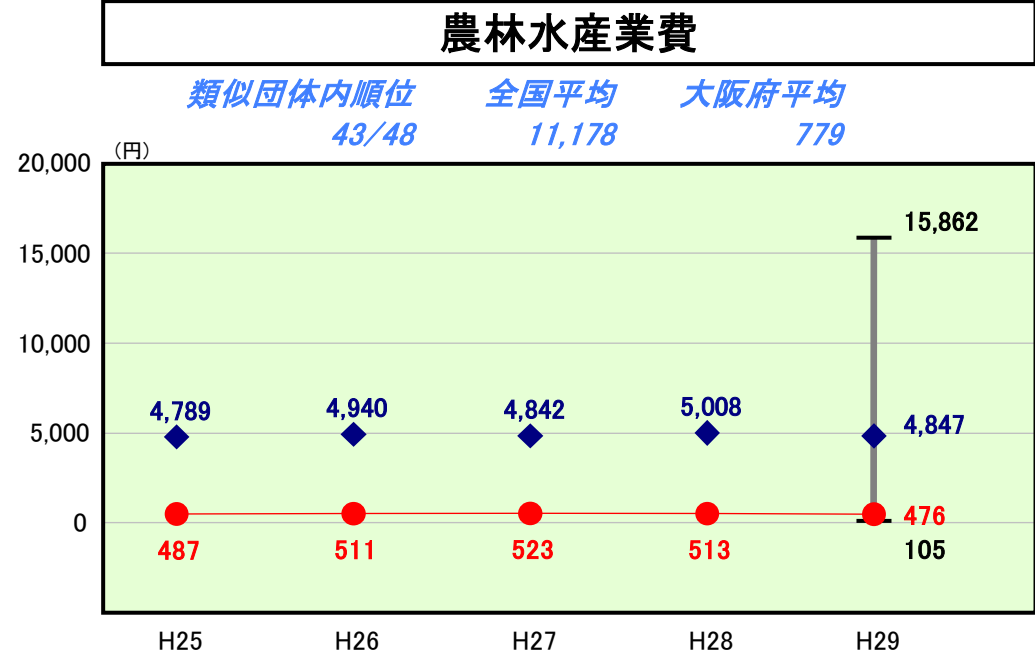
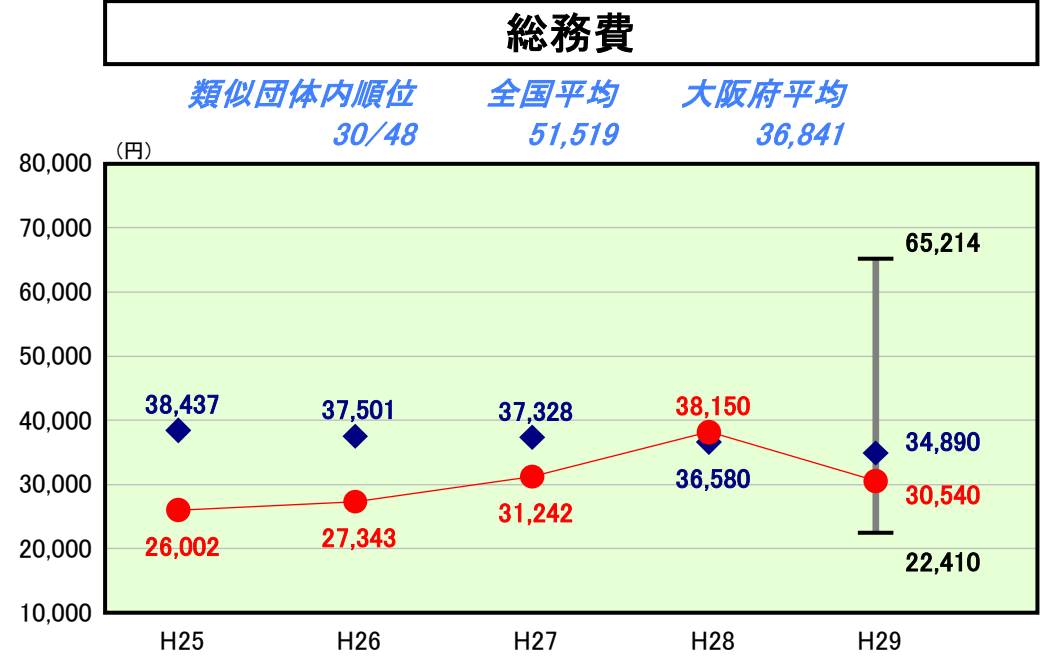
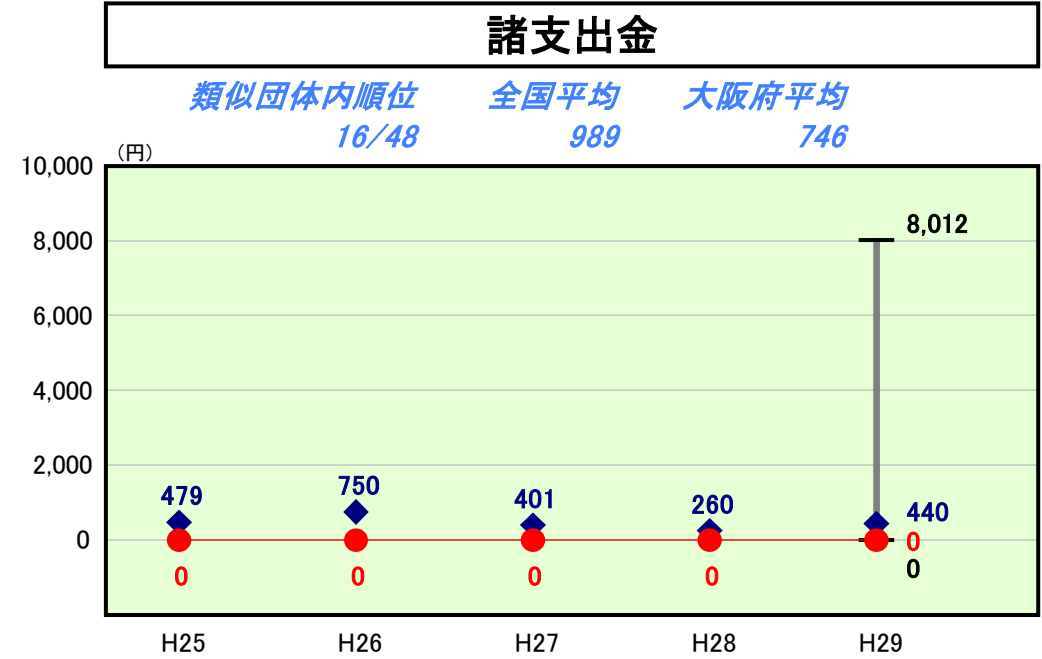
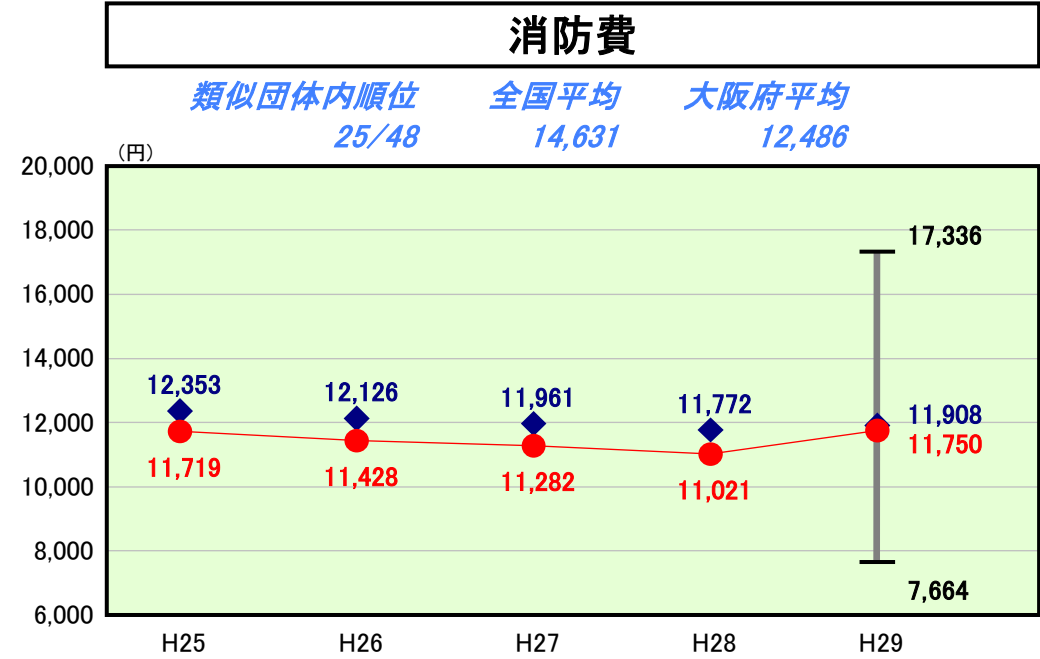
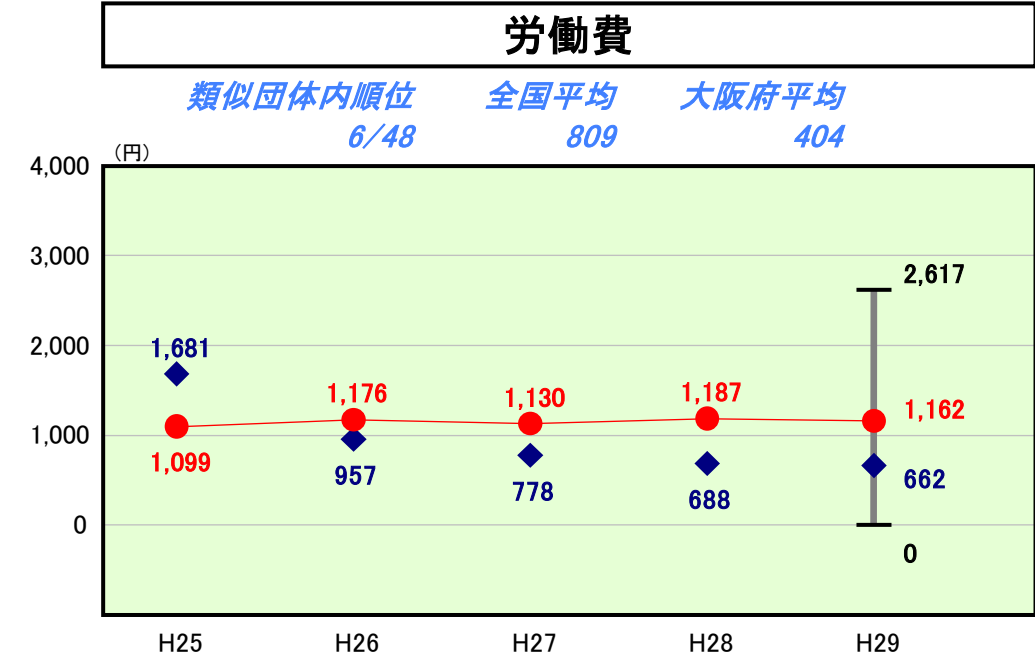
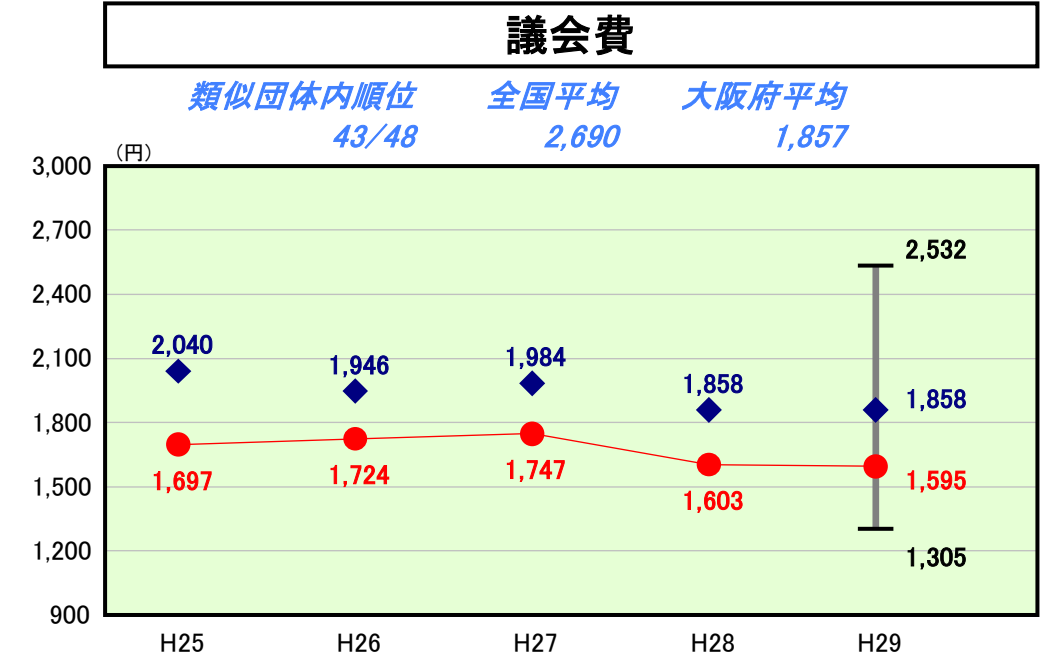
人	403,989人	(H30.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
口	399,861人	(H30.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面	65.12	km ²	実	質	公	債	費	比	率	-0.3%
歳入総額	135,764,009	千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	134,001,944	千円	市	町	村	類	型		H25	特例市
実質収支	1,737,192	千円	(	年	度	毎	)		H28	中核市
標準財政規模	78,172,003	千円							H26	中核市
地方債現在高	101,719,958	千円							H27	中核市



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

総務費の住民一人当たりのコストは、類似団体内平均値と比較して4,350円低くなっており、前年度と比較すると7,610円の減となっている。要因としては、土地取得特別会計基金償還金の減によるものである。

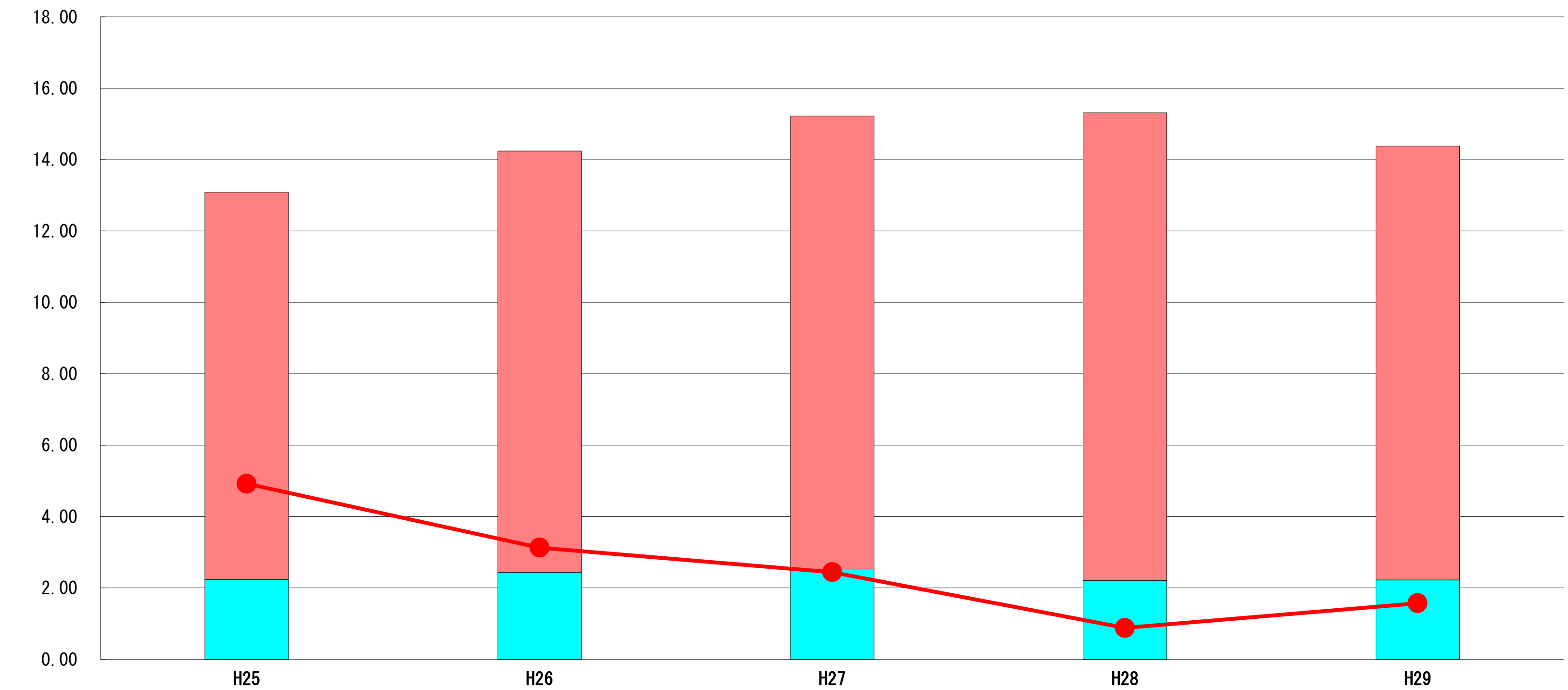
また、民生費の住民一人当たりのコストは、類似団体内平均値と比較して3,672円高くなっており、前年度と比較すると7,195円の増となっている。主な要因としては公的介護施設等整備事業費の増、介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計への繰出金の増、待機児童対策の推進による私立保育所保育委託料の増によるものである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成29年度

大阪府枚方市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
財政調整基金残高		10.85	11.80	12.69	13.10	12.16
実質収支額		2.24	2.44	2.53	2.21	2.22
実質単年度収支		4.92	3.13	2.44	0.88	1.57

分析欄

平成29年度においても実質収支の黒字を維持することができた。改善の要因は、歳入の面で根幹を成す市税収入や、地方交付税や臨時財政対策債など主要な一般財源等が前年度から増となったことによるものである。また、標準財政規模に対する財政調整基金残高の減少の要因は、財政状況を鑑み財政調整基金の取り崩しを行なったことや、特定目的基金への積み替えを行なったことによるものである。標準財政規模に対する実質単年度収支の増加の要因は、平成29年度に繰上償還金が増加したことによる。

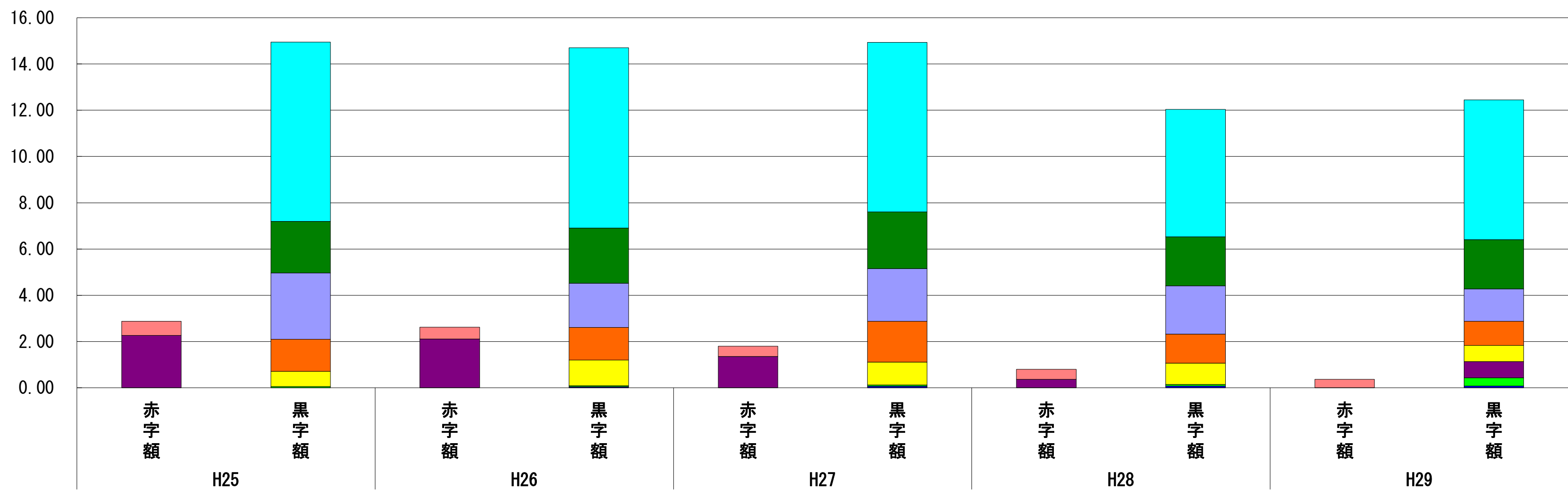
今後においても、経済情勢の急激な悪化による一般財源の落ち込みなど不測の事態に対応できるよう財政調整基金を一定額確保するとともに、限られた財源の中で収支均衡を基本とした健全な財政運営を進めていく。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成29年度

大阪府枚方市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H25	H26	H27	H28	H29
会計						
自動車駐車場特別会計		▲ 0. 62	▲ 0. 51	▲ 0. 45	▲ 0. 43	▲ 0. 37
水道事業会計		7. 76	7. 79	7. 33	5. 51	6. 04
一般会計		2. 23	2. 39	2. 46	2. 12	2. 14
病院事業会計		2. 86	1. 91	2. 27	2. 09	1. 39
下水道事業会計		1. 39	1. 41	1. 77	1. 26	1. 05
介護保険特別会計		0. 66	1. 11	0. 99	0. 92	0. 70
国民健康保険特別会計		▲ 2. 26	▲ 2. 11	▲ 1. 35	▲ 0. 37	0. 70
後期高齢者医療特別会計		0. 05	0. 05	0. 06	0. 06	0. 35
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0. 00	0. 04	0. 06	0. 08	0. 08

分析欄

連結実質赤字比率については、前年度に引き続き黒字のため、なしとなっている。国民健康保険特別会計については、単年度収支は前年度に引き続き黒字となり、平成30年度からの国民健康保険広域化に向けた赤字解消計画に基づく取組みを行なった結果、実質収支についても黒字に転じている。また、自動車駐車場特別会計についても、実質収支は赤字となったものの、単年度収支としては黒字となっている。

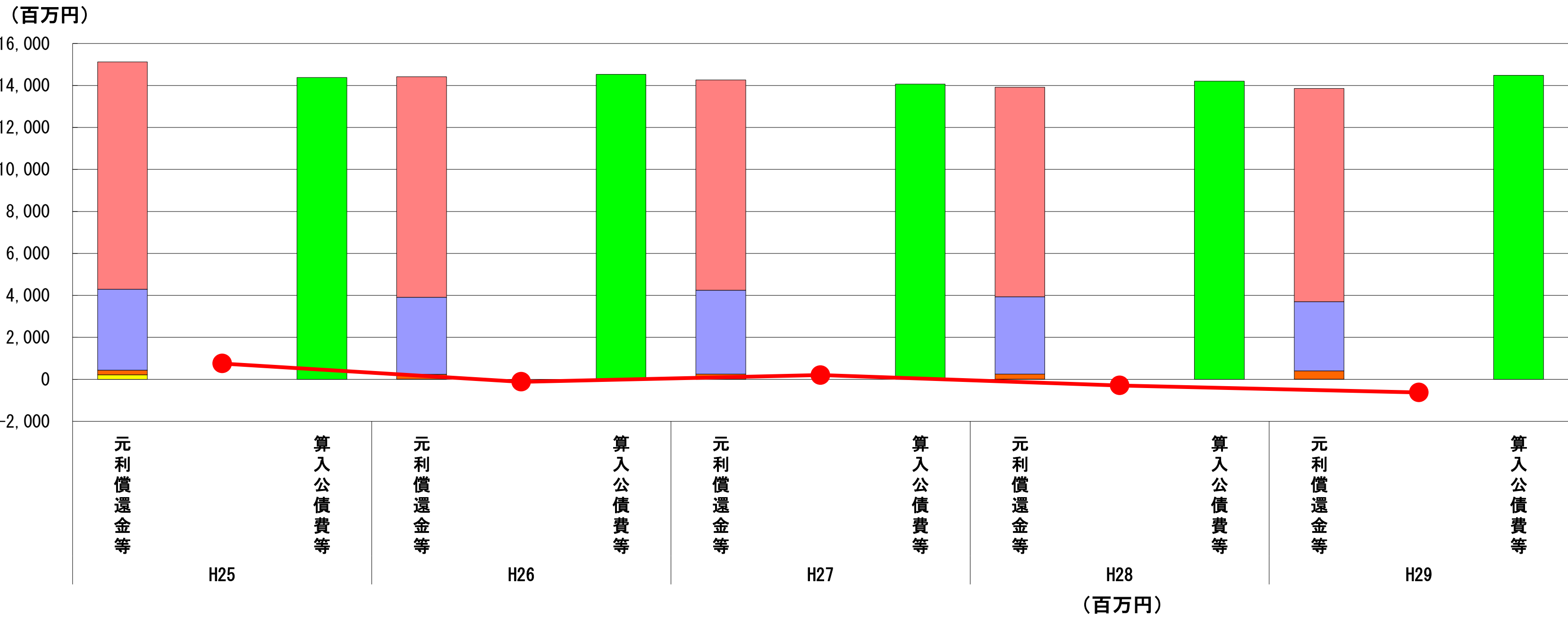
今後は、平成28年度に枚方市駅前で大規模商業施設が開設したこと等を踏まえ、指定管理者と協議しながら、利用者に安全・安心・便利な駐車場環境を整え、利用率及び収益の向上に努めていく。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

大阪府枚方市



分子の構造		年度				
		H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等 (A)	元利償還金	10,832	10,511	10,026	9,987	10,160
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	3,861	3,665	3,990	3,672	3,298
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	214	233	239	245	394
	債務負担行為に基づく支出額	219	11	11	11	11
	一時借入金の利子	-	0	-	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等	14,375	14,536	14,064	14,209	14,489
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	751	▲ 116	202	▲ 294	▲ 626

分析欄

平成29年度の単年度の実質公債費比率の減少は、下水道事業会計において汚水整備に係る企業債の利子償還費の減少等により繰出金の公営企業地方債償還充当分が減となったことなどによるものである。引き続き、地方債残高や元利償還金の動向に注視しながら計画的な市債の発行に努める。

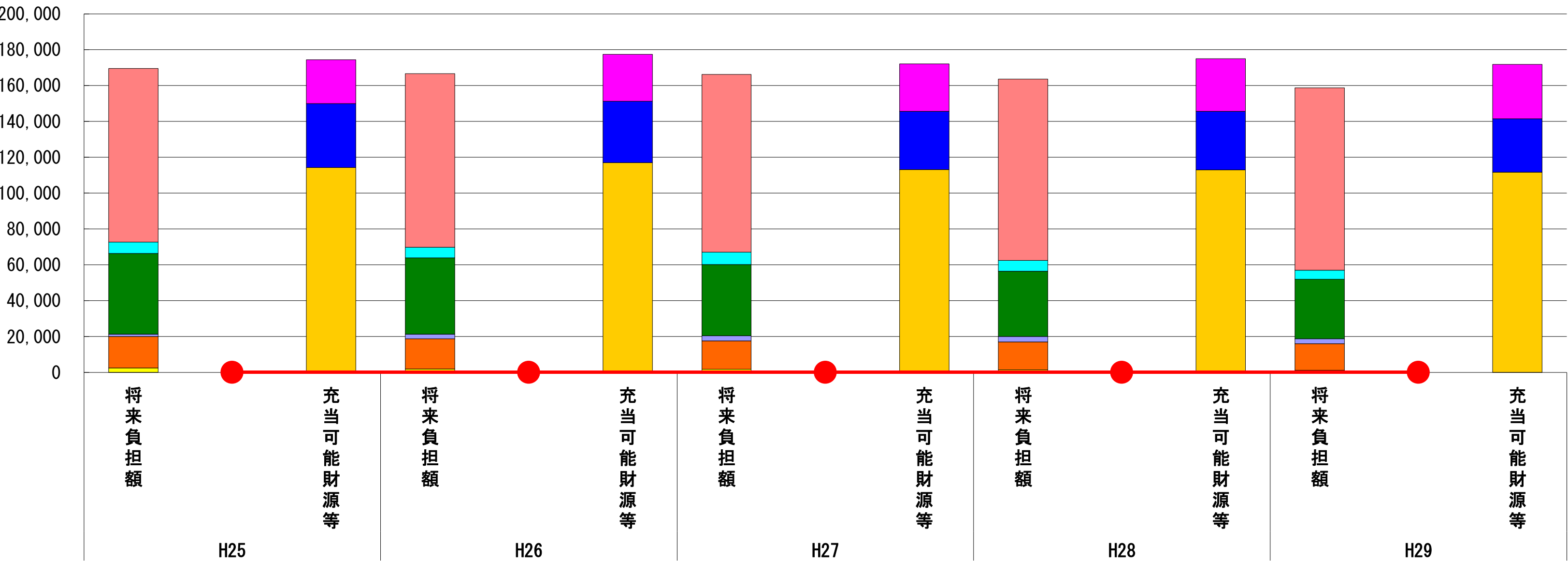
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

大阪府枚方市

(百万円)



(百万円)

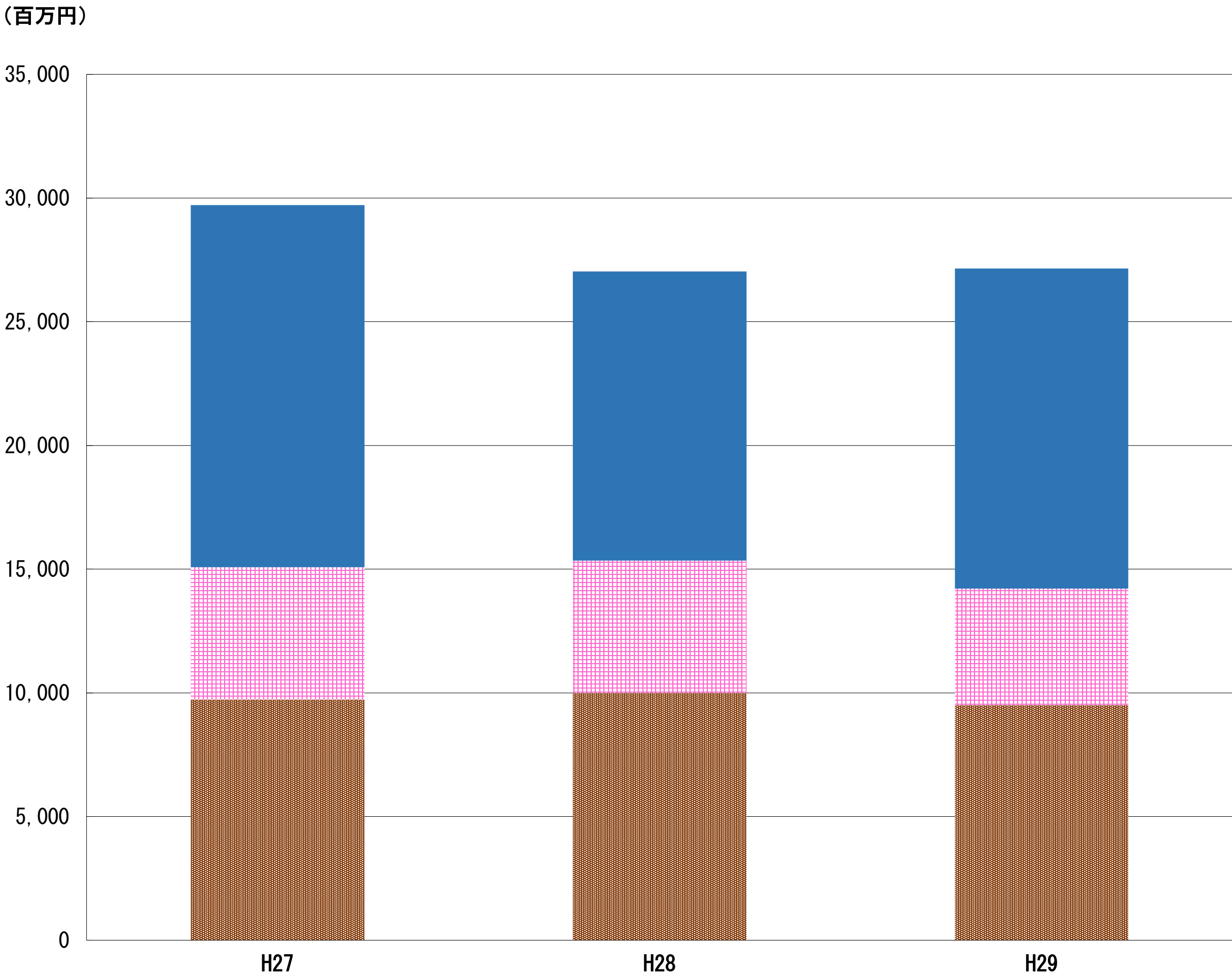
分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		96,848	96,904	99,253	101,233	101,728
	債務負担行為に基づく支出予定額		6,294	5,875	6,844	6,035	5,000
	公営企業債等繰入見込額		44,978	42,569	39,769	36,428	33,340
	組合等負担等見込額		1,407	2,565	2,844	2,912	2,665
	退職手当負担見込額		17,527	16,847	15,793	15,627	14,853
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,486	1,979	1,815	1,473	1,203
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		—	—	—	—	—
	連結実質赤字額		—	—	—	—	—
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		—	—	—	—	—
	充当可能基金		24,569	26,068	26,491	29,396	30,342
	充当可能特定歳入		35,639	34,310	32,475	32,730	29,815
(A)－(B)	基準財政需要額算入見込額		114,305	117,043	113,200	112,943	111,679
	将来負担比率の分子		▲ 4,974	▲ 10,682	▲ 5,849	▲ 11,360	▲ 13,048

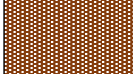
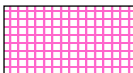
分析欄

平成29年度の将来負担比率の減少は、下水道事業会計に係る公営企業債等繰入見込額が減となり、また、土地開発公社から総合スポーツセンター駐車場拡張用地や仮称北山社会教育施設用地の買戻しを行ったことなどによる債務負担行為に基づく支出予定額の減などにより、将来負担額の総額が減少しているためである。
引き続き、地方債残高をはじめとした将来負担額の抑制などに努めていく。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分		年度		
		H27	H28	H29
	財政調整基金	9,731	9,990	9,504
	減債基金	5,344	5,351	4,704
	その他特定目的基金	14,640	11,691	12,947
	新庁舎及び総合文化施設整備事業基金	7,604	5,003	5,614
	施設保全整備基金	3,716	3,719	4,320
	職員退職手当基金	968	969	969
	こども夢基金	419	423	415
	地域福祉推進基金	423	378	331
基金残高合計		29,714	27,032	27,156

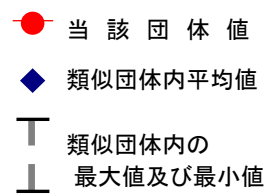
平成29年度	大阪府枚方市
基金全体 (増減理由) 財政需要に対応するため、それぞれの目的にあった基金から取り崩しを行ったが、今後取り組むべき事業の財源確保のため財政調整基金からそれぞれの目的に応じた基金に積み替えを行うとともに、収支状況から積立てを行ったことなどにより、基金残高は全体として増加となった。 (今後の方針) 当該年度の財政状況や、今後の財政状況の推移を踏まえて、効果的・効率的な運用ができるよう基金の適正な管理を行っていく。	
財政調整基金 (増減理由) 今後想定される財政需要に対応するため、新庁舎及び総合文化施設整備事業基金などの特定目的基金への積み替えを行うとともに、当該年度の財政状況を考慮し、繰り入れを行ったことによる減。 (今後の方針) 経済情勢の急激な悪化による地方消費税交付金などの落ち込みや、将来の財政需要に対応するため、実質収支の黒字を維持することにより財政調整基金への積立額を確保していく。また、今後想定される事業の財源確保のため、特定目的基金への積み替えを行い、新たな行政需要への対応について適宜検討する。	
減債基金 (増減理由) 市債残高の抑制を図るため、減債基金を活用し、平成19年度債の一部について繰上償還を行ったことによる減。 (今後の方針) 今後、計画的な投資的事業を実施するにあたり、市債残高が増加傾向となることから、減債基金を活用した繰上償還に取り組むとともに、適宜積立てについても行っていく。	
その他特定目的基金 (基金の使途) ①新庁舎及び総合文化施設整備事業基金・・・新庁舎及び総合文化施設の整備事業費に充てるもの。 ②施設保全整備基金・・・都市基盤施設の整備や公共施設全般にわたる計画的な維持保全経費に充てるもの。 ③職員退職手当基金・・・退職者増員時の退職手当に充てるもの。 ④こども夢基金・・・こどもの夢を育む教育、子育てに係る事業費に充てるもの。 ⑤地域福祉推進基金・・・高齢者及び障害者の在宅福祉事業の充実を図るもの。 上記以外の特定目的基金については、本市の特定の財政需要に備え、基金条例で定めるそれぞれの使途に基づき、執行するものとする。 (増減理由) 子ども夢基金や地域福祉推進基金などで基金の取り崩しを行い、財政需要に対応した事業を推進したことにより減となったが、ふるさと寄附金の増加による増や、今後の財政需要に備えるために積立てを行ったことなどにより全体として増加となった。 (今後の方針) 財政状況を勘案しつつ適宜積立て・取り崩しを行い、市民生活に必要な財源を縮小させることなく事業を実施していく。	

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成29年度

大阪府枚方市

人	口	403,989	人(H30.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
う	ち 日 本 人	399,861	人(H30.1.1現在)	連 結 実 質 赤 字 比 率	-	%
面	積	65.12	km ²	実 質 公 債 費 比 率	-0.3	%
歳	入 総 額	135,764,009	千円	将 来 負 担 比 率	-	%
歳	出 総 額	134,001,944	千円	市 町 村 類 型	H25 特別市	H26 中核市
実	質 収 支	1,737,192	千円	(年 度 毎)	H28 中核市	H29 中核市
標	準 財 政 規 模	78,172,003	千円			
地	方 債 現 在 高	101,719,958	千円			

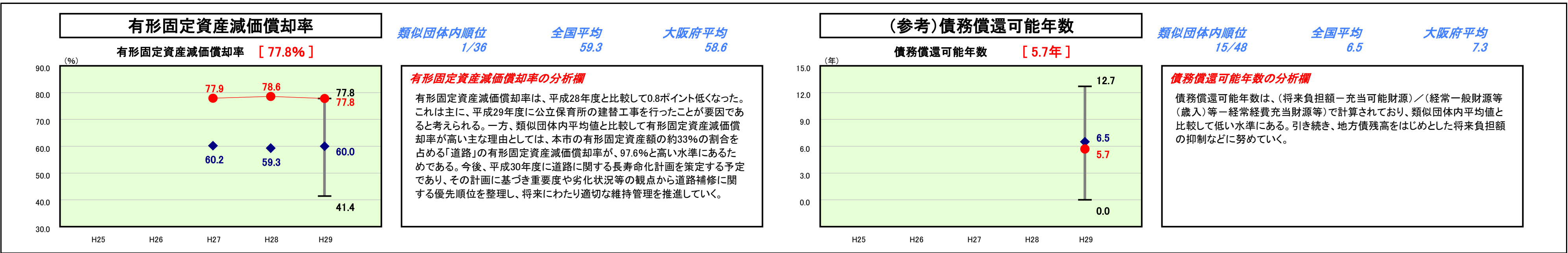


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

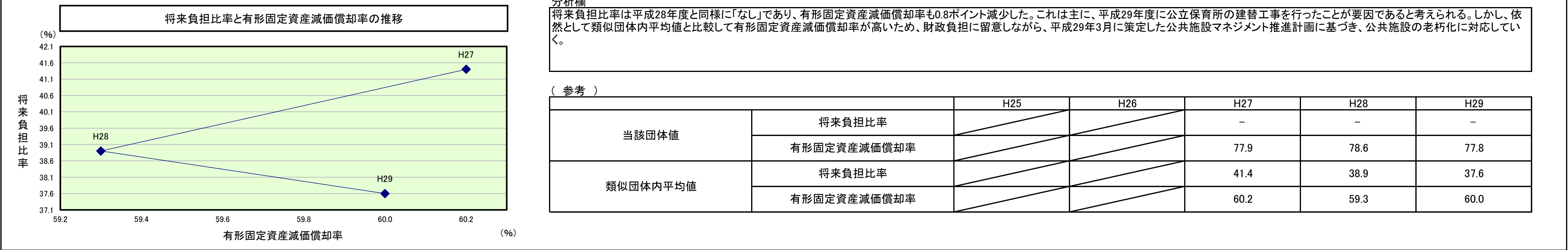
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

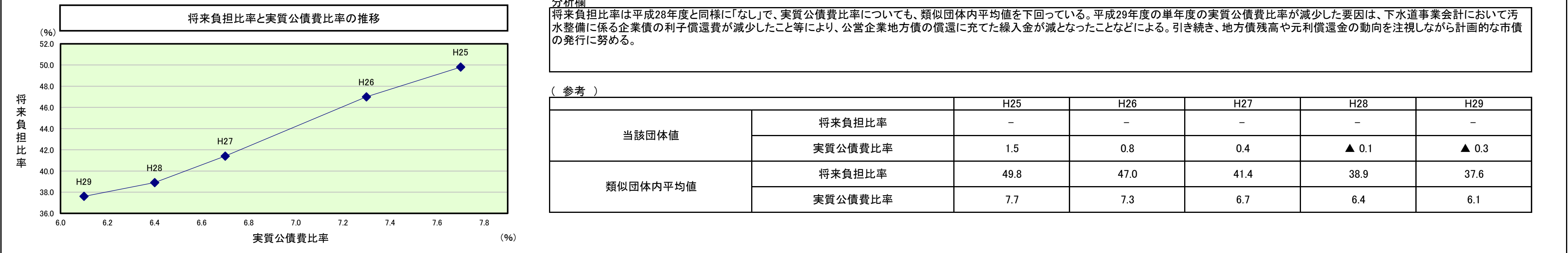
※ 平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還可能年数、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析

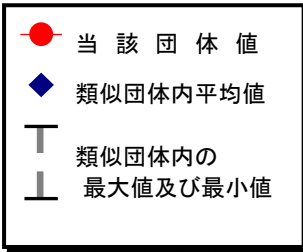


(13)ー1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成29年度

大阪府枚方市

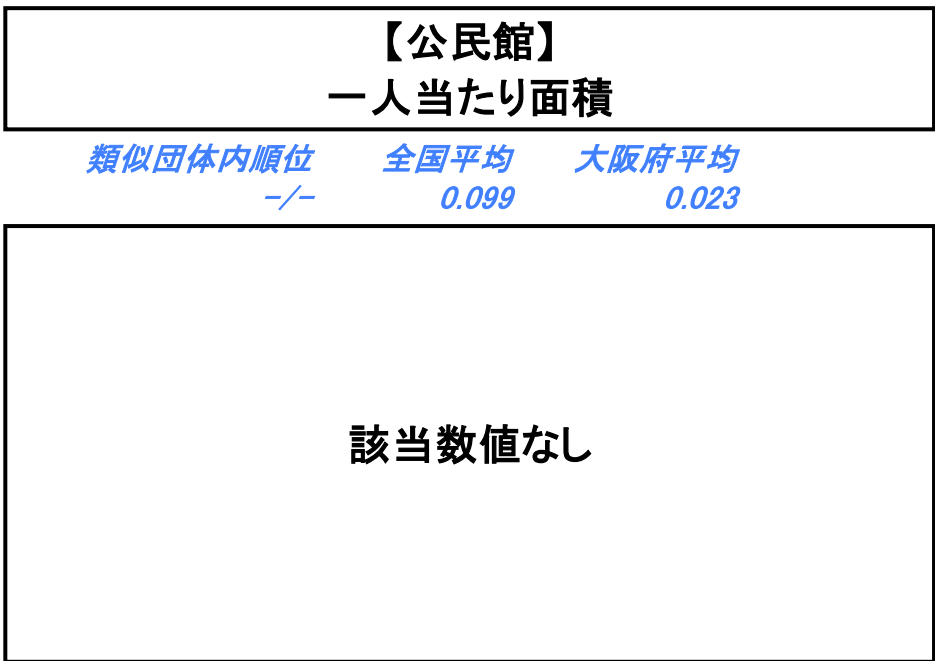
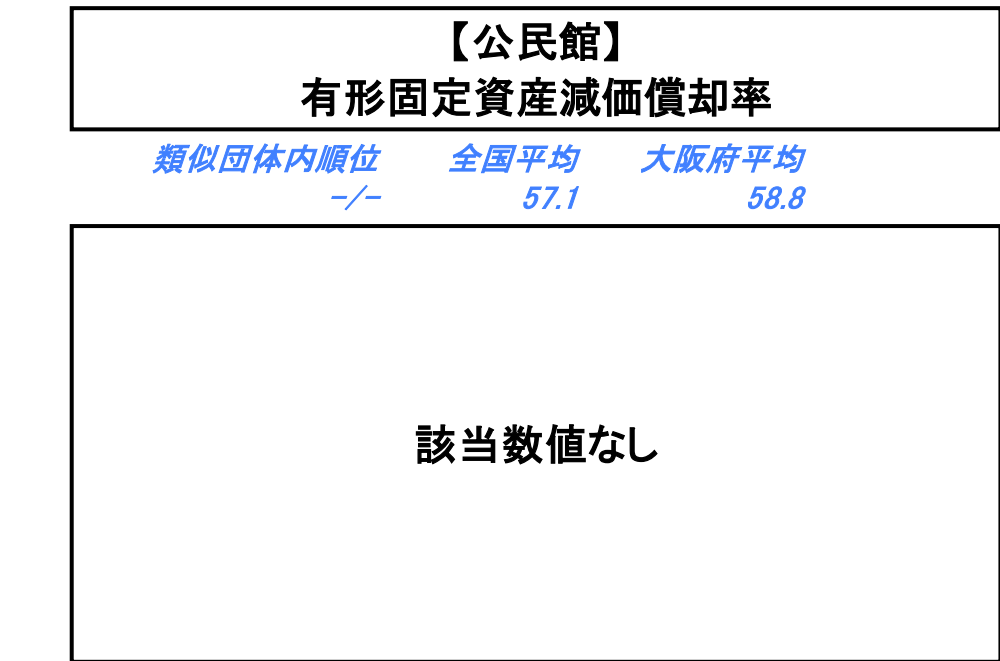
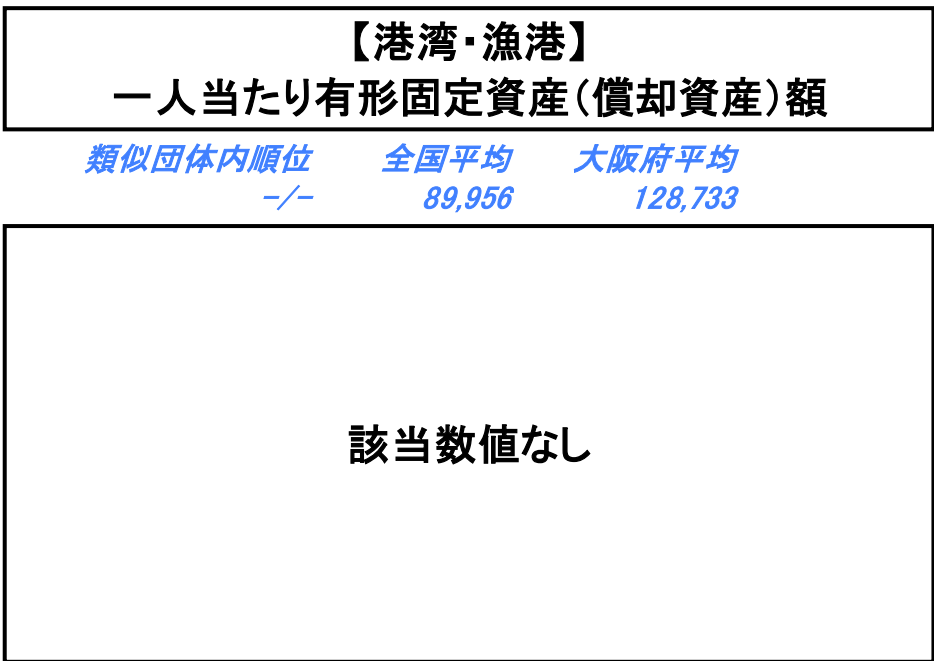
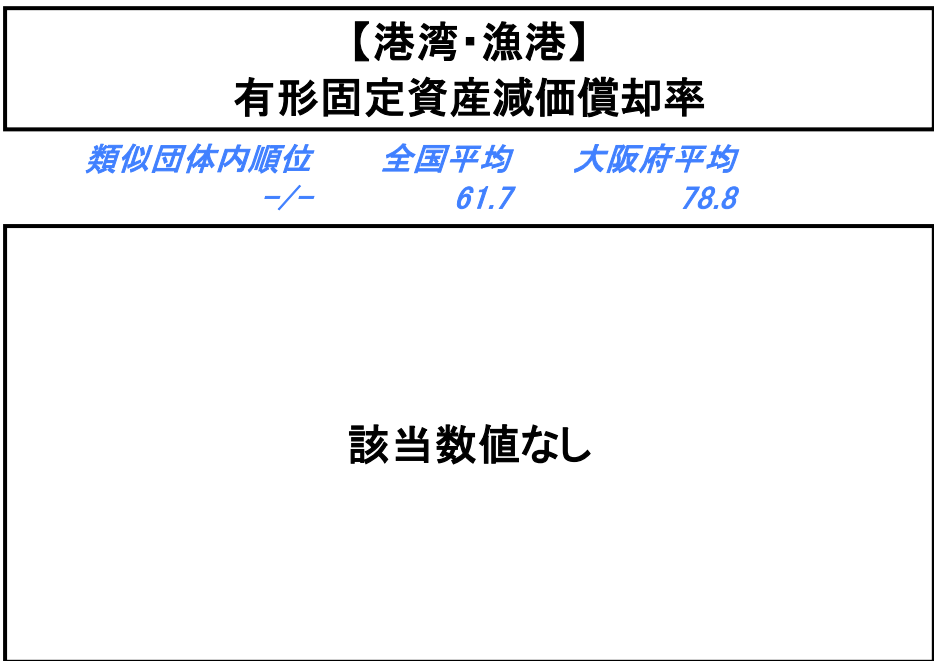
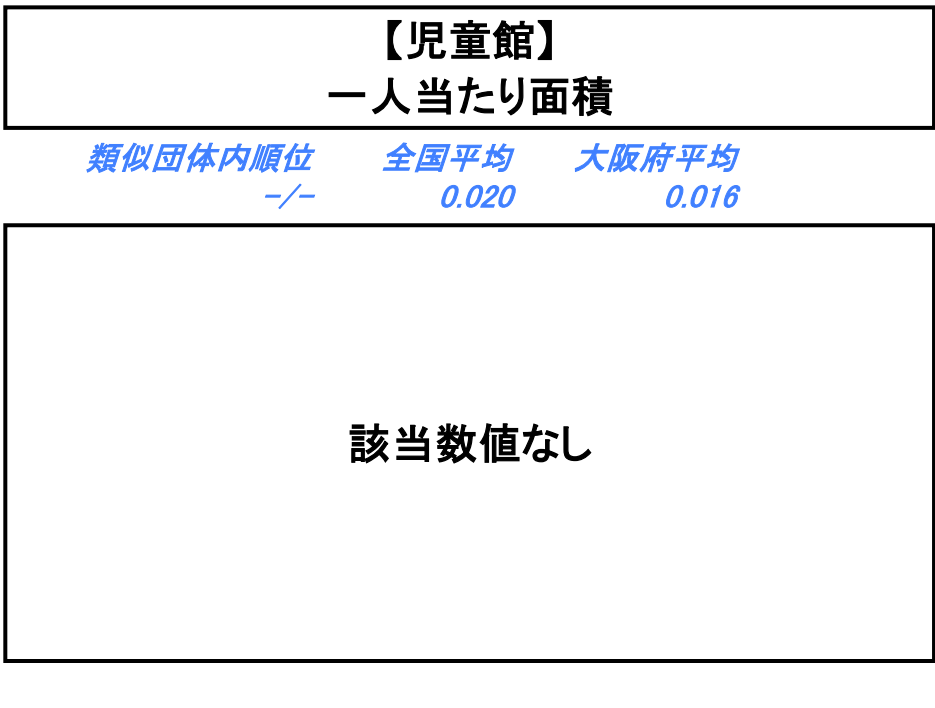
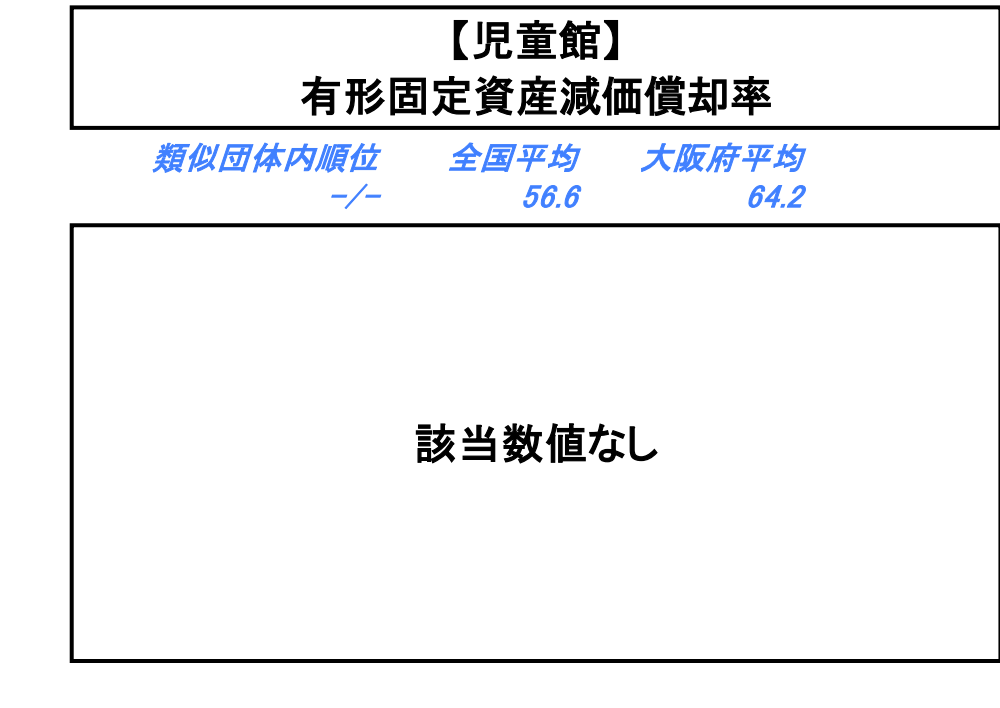
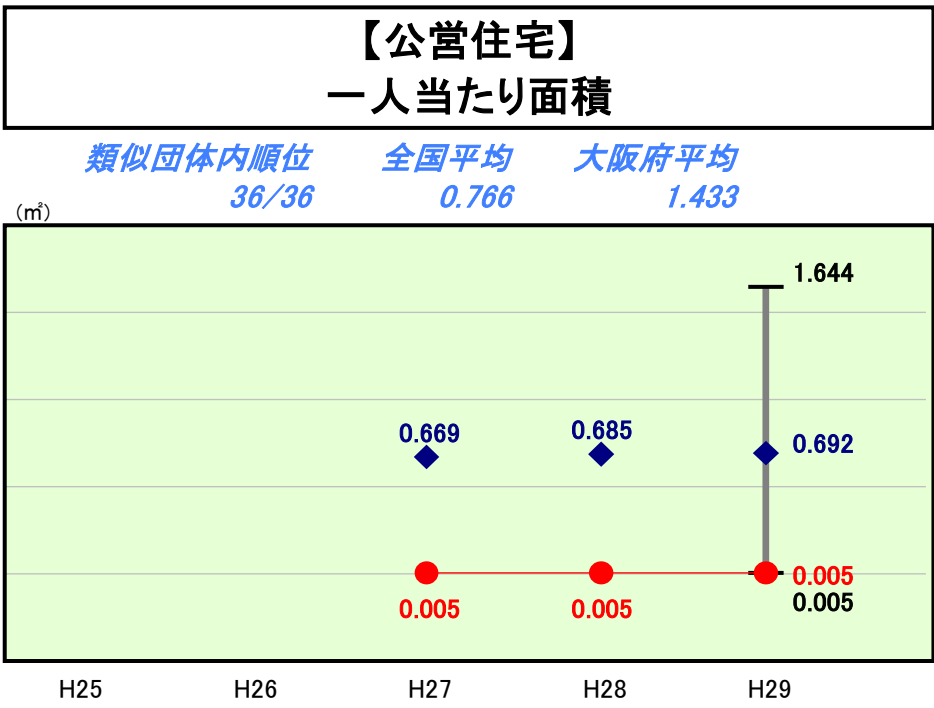
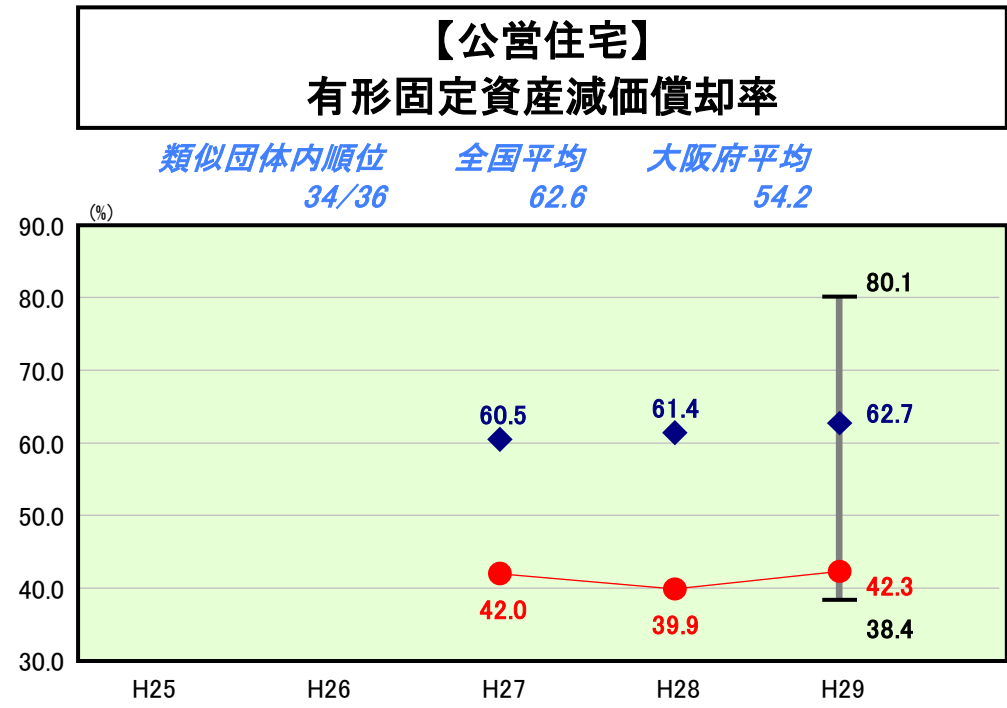
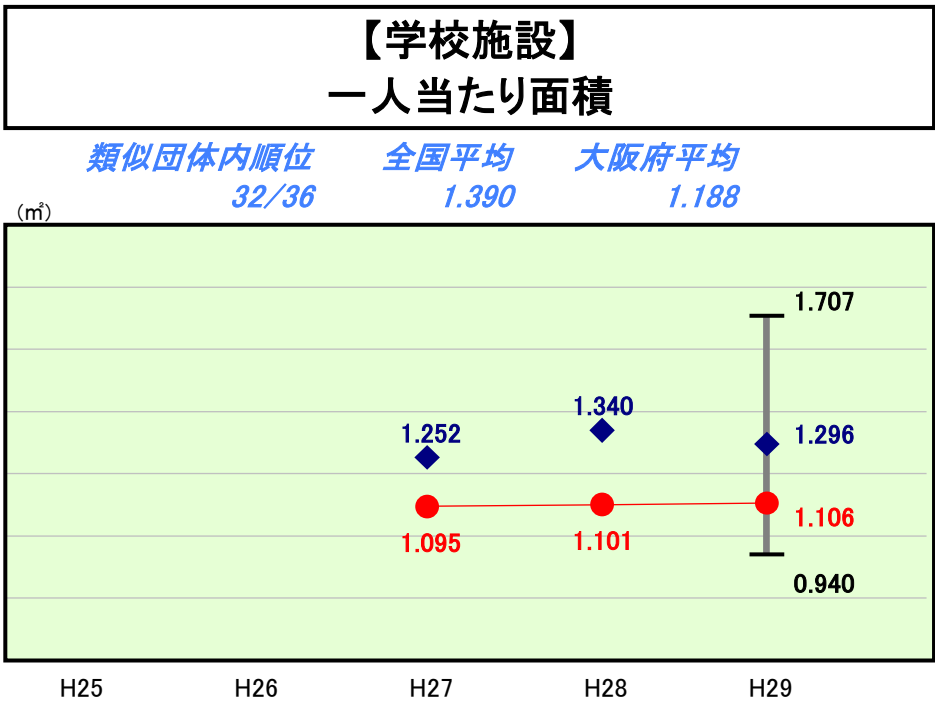
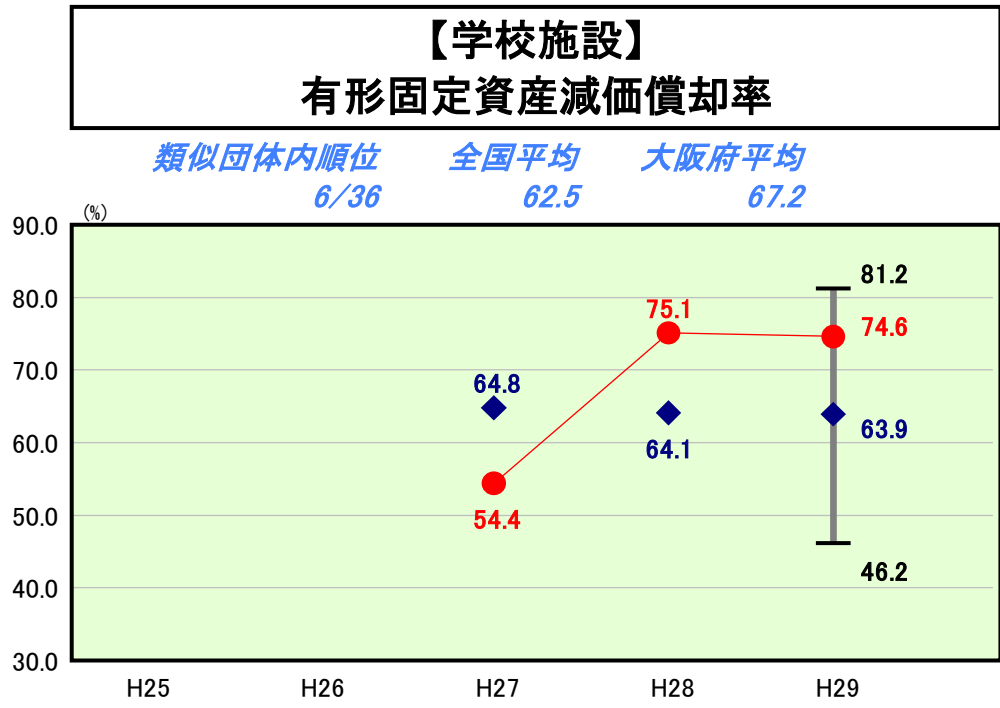
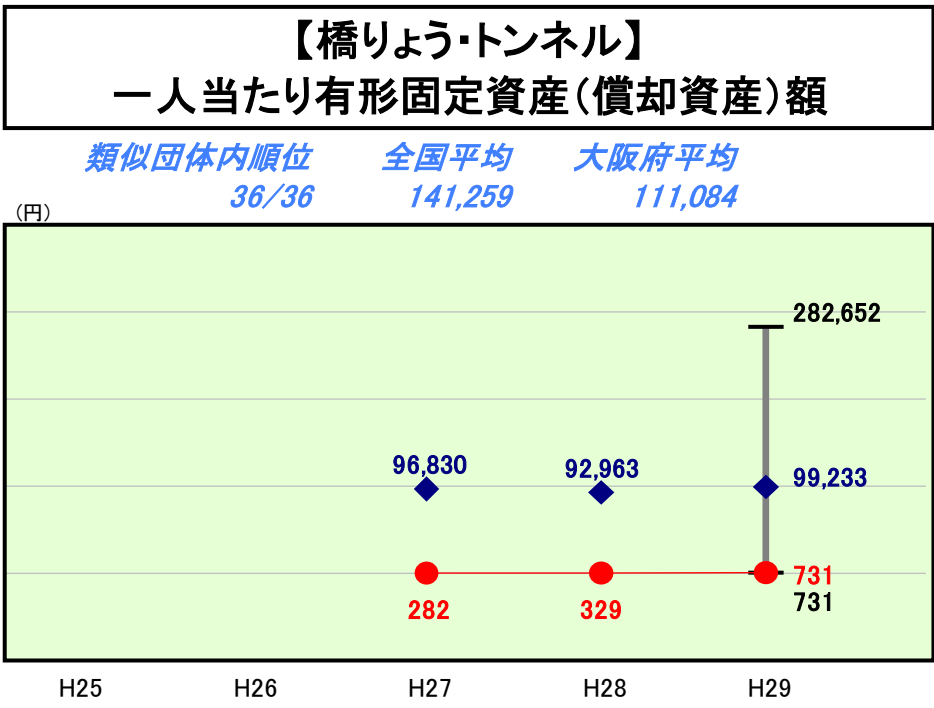
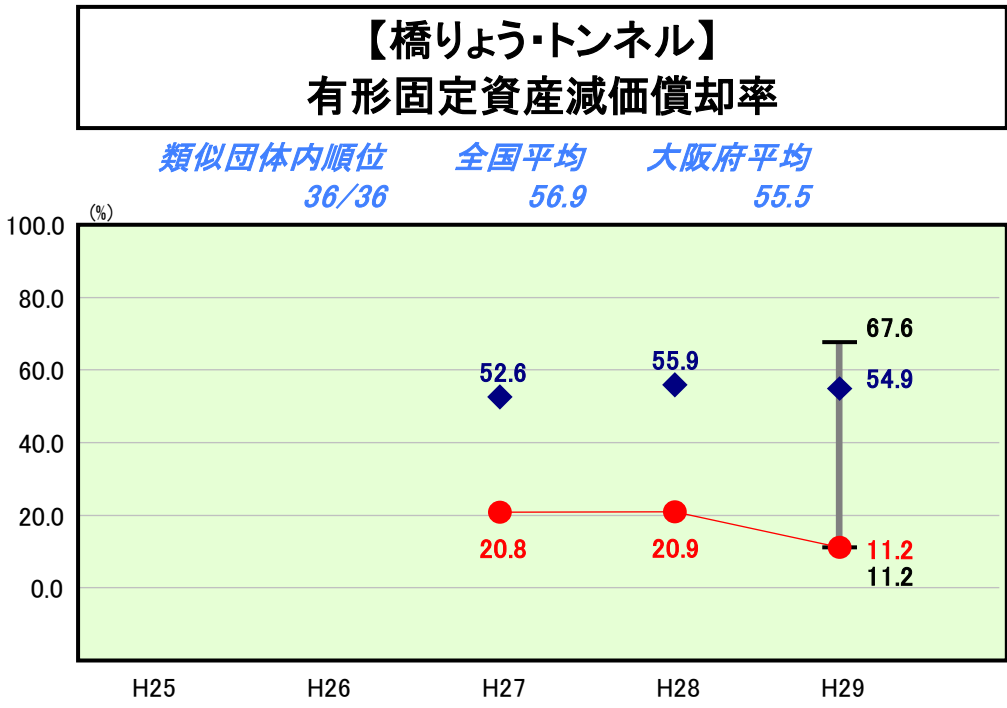
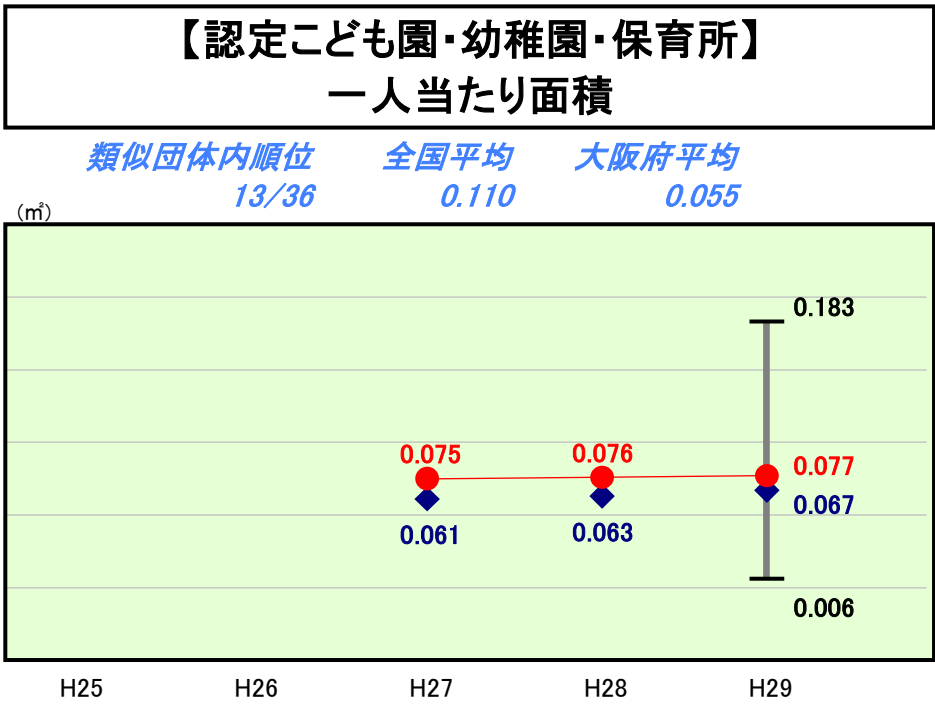
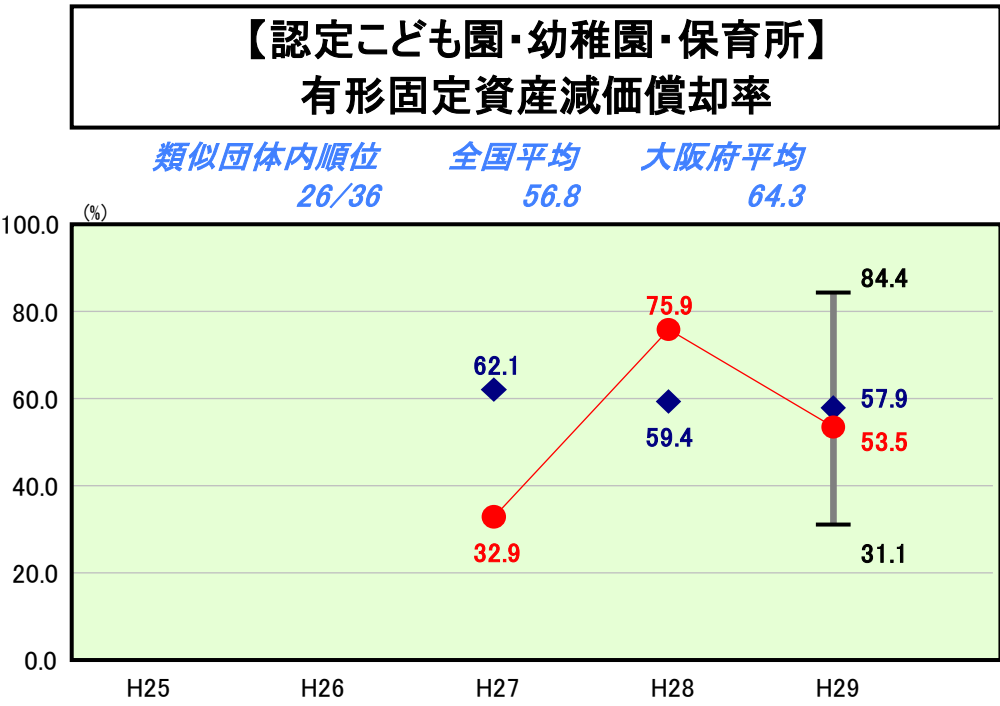
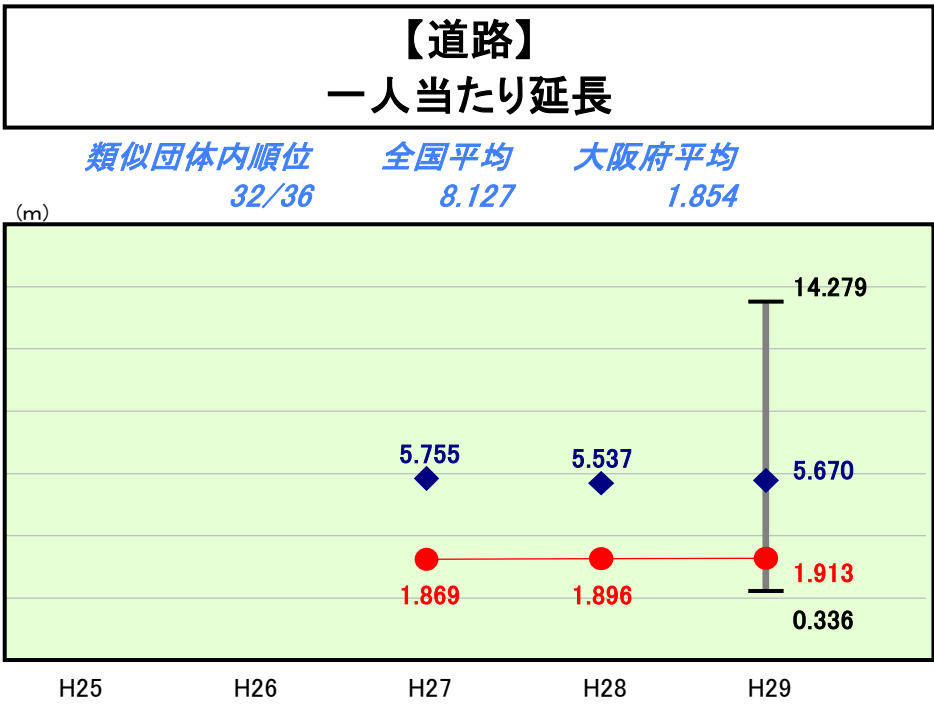
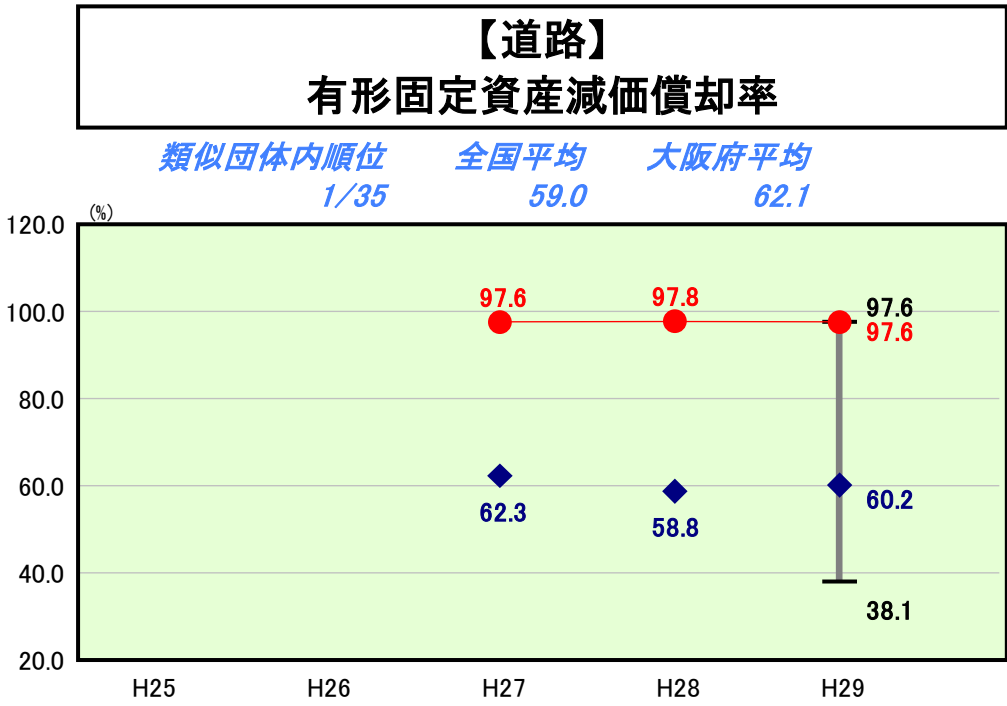
人	403,989	人 (H30. 1. 1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	399,861	人 (H30. 1. 1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面積	65.12	k m ²	実	質	公	債	費	比	率	-0.3
歳入総額	135,764,009	千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	134,001,944	千円	市	町	村	類	型		H25	特例市
実質収支	1,737,192	千円							H26	中核市
標準財政規模	78,172,003	千円							H27	中核市
地方債現在高	101,719,958	千円	(	年	度	毎	)		H28	中核市
									H29	中核市



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

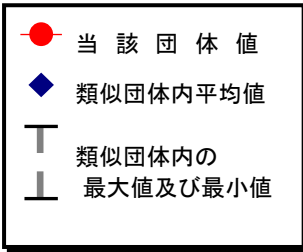


施設情報の分析欄

類似団体内平均値と比較して有形固定資産減価償却率が高い施設は、「道路」、「学校施設」であり、低い施設は、「認定子ども園・幼稚園・保育所」、「橋りょう・トンネル」、「公営住宅」となっている。「道路」は平成18年度以前に建設されたアスファルト製道路の減価償却が終了したことなどにより97.6%と高い水準になっているものの、今後策定予定の長寿命化計画に基づき適切な維持管理を推進していく。また、「道路」の一人当たり延長については、類似団体内平均値と比較して低くなっているが、これは、人口以外に市域面積が広いことなども要因となっていると考える。「橋りょう・トンネル」については、古い施設の取得額を不明で処理しているものが多く、結果として減価償却率が低くなっている。「認定子ども園・幼稚園・保育所」については、平成29年度に枚方保育所の建替を行い、当該施設の減価償却累計額がゼロとなったため有形固定資産減価償却率が減少した。「学校施設」の有形固定資産減価償却率については、建設から50年以上経過したものもあり老朽化が進んでいることから、類似団体内平均値と比較して高くなっているが、「枚方市学校施設整備計画」及び「枚方市市有建築物保全計画」に基づき学校施設や設備の改修を行い、長寿命化に取り組んでいる。「公営住宅」については、経年により老朽化が進んでいる。また一人当たりの面積についても、市営住宅が28戸と少ないため類似団体内平均値を大きく下回っている。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

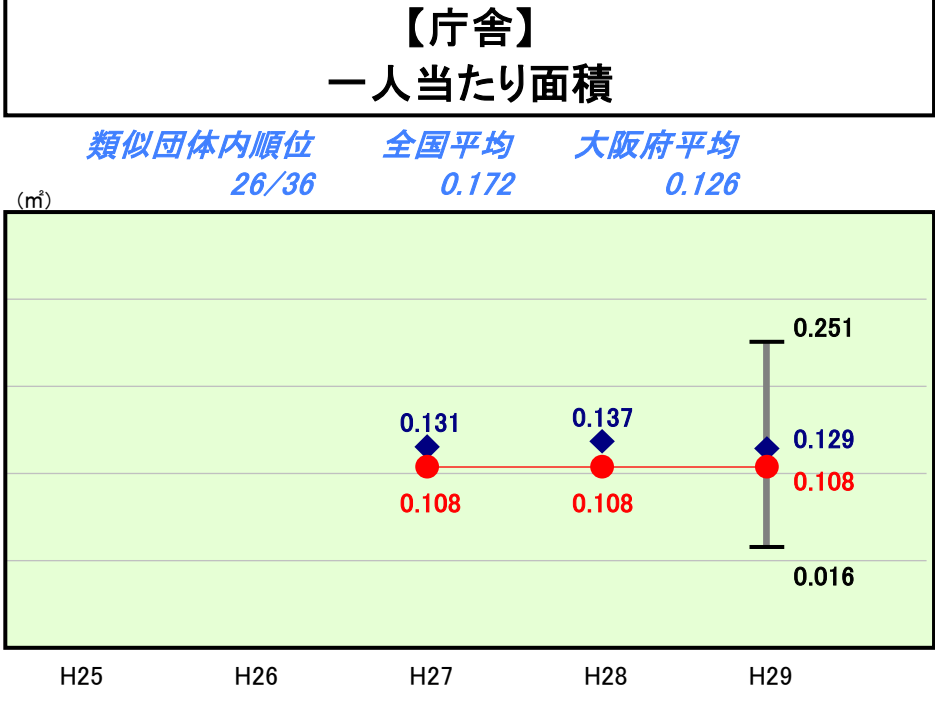
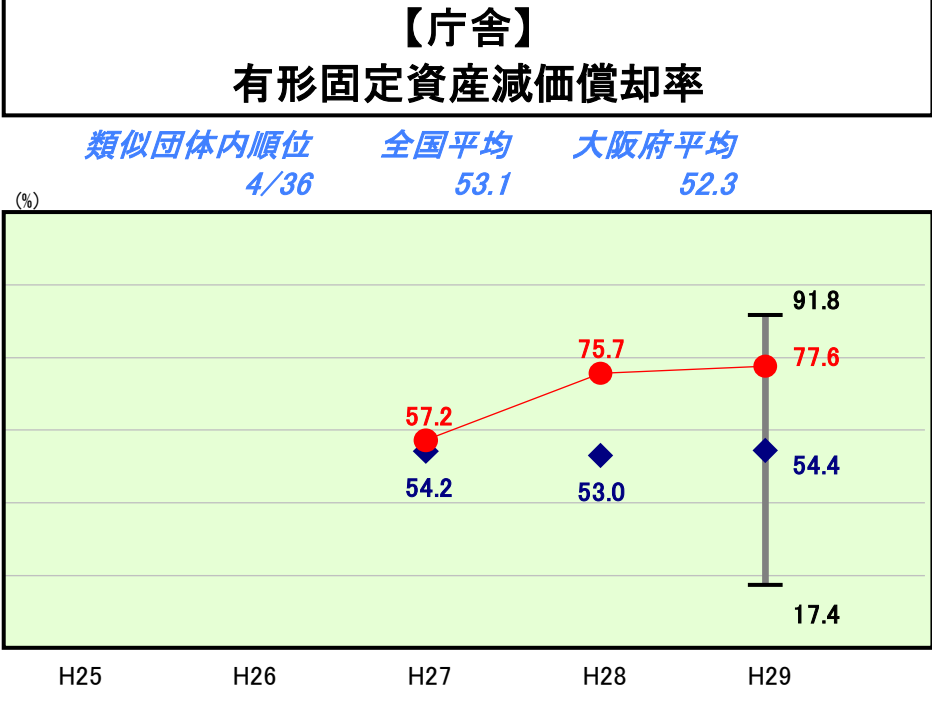
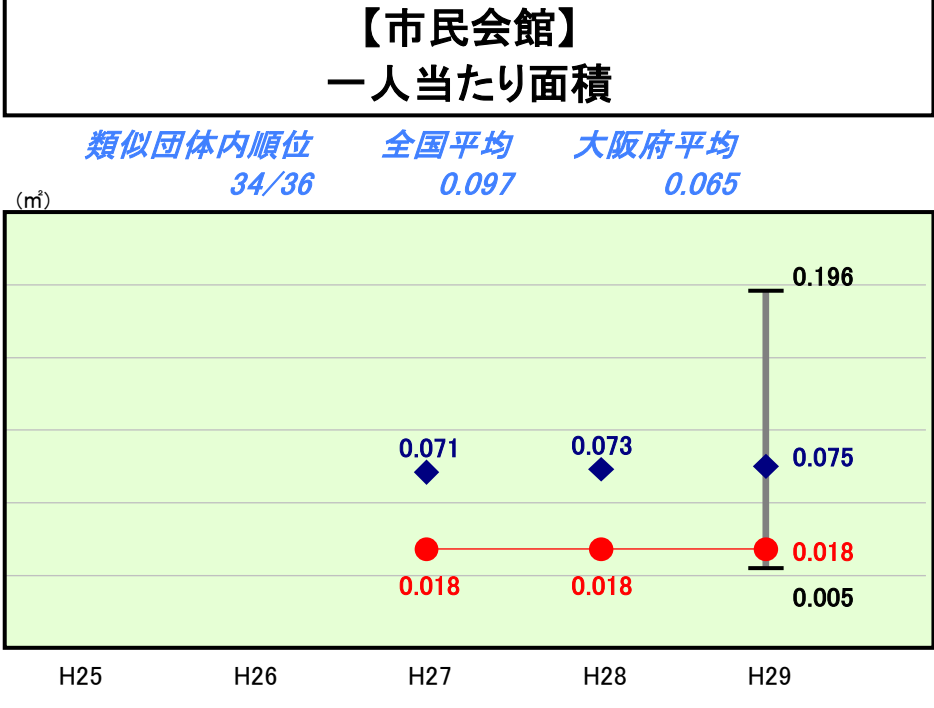
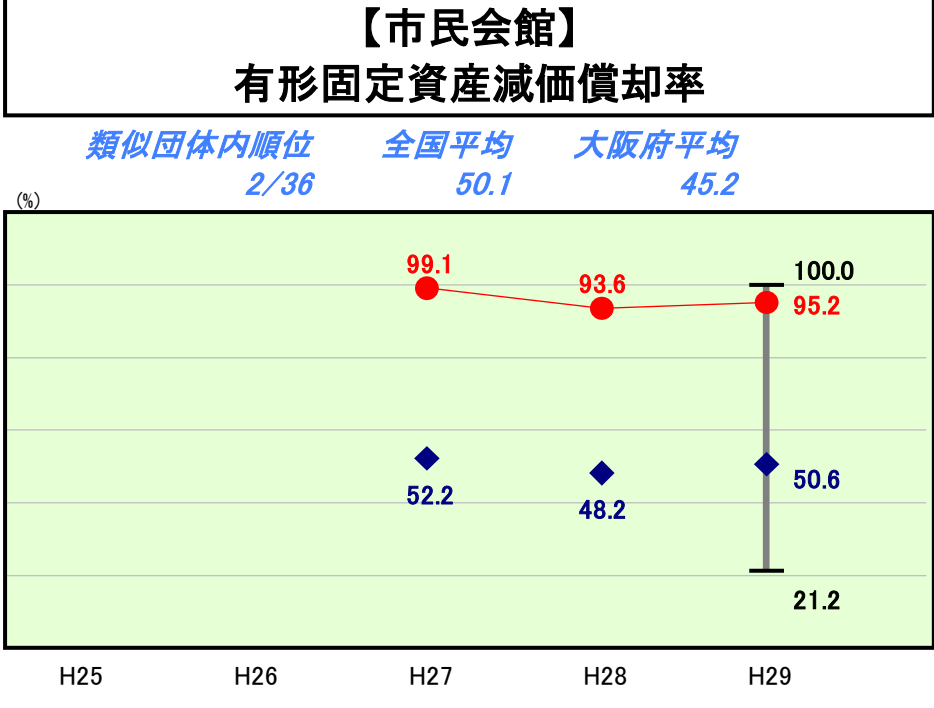
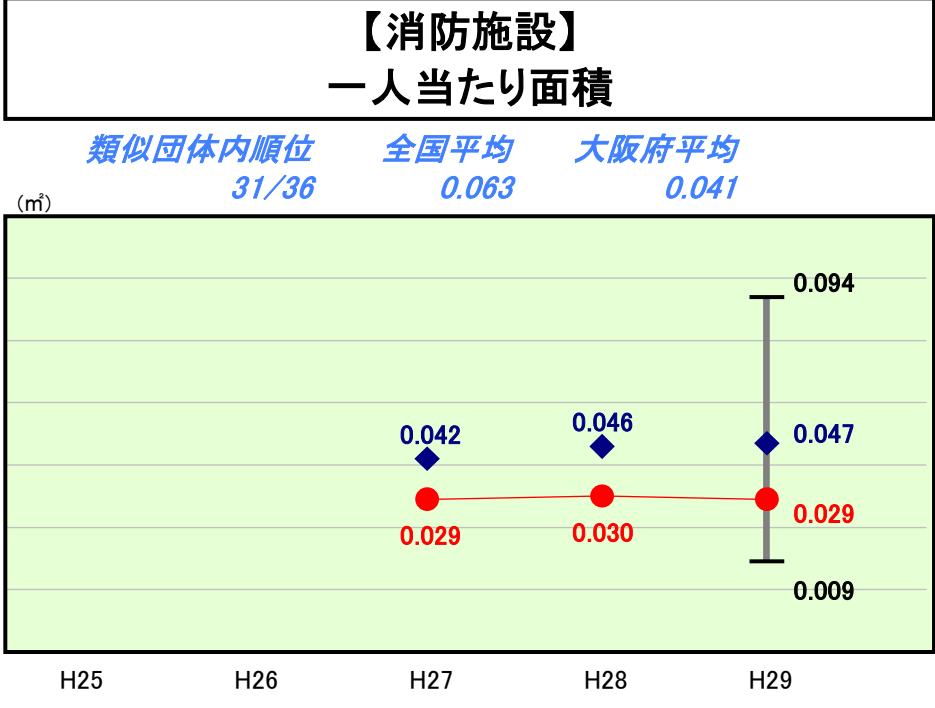
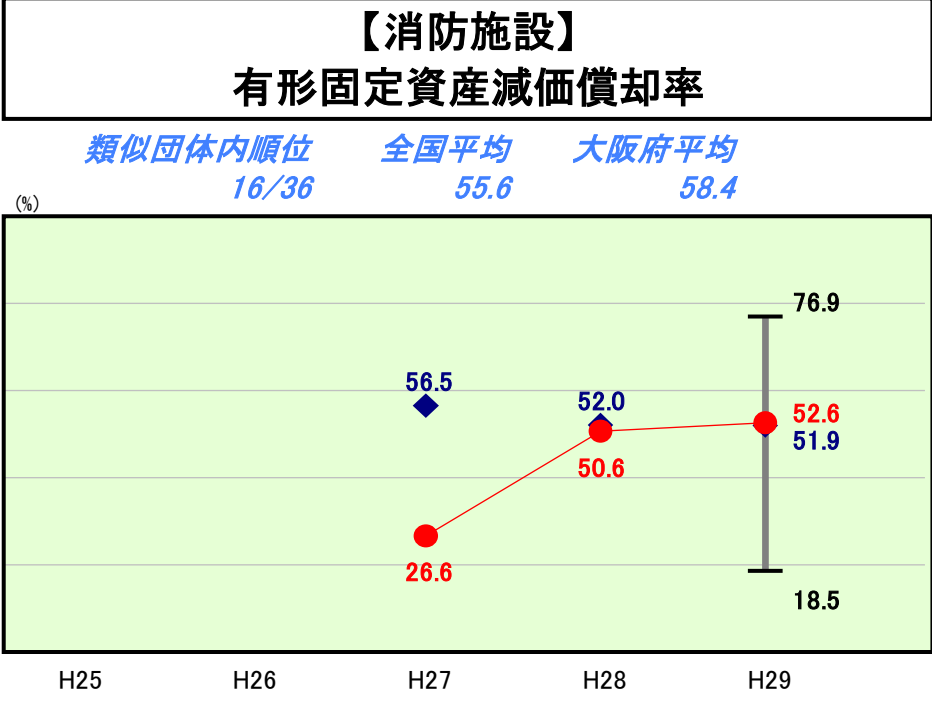
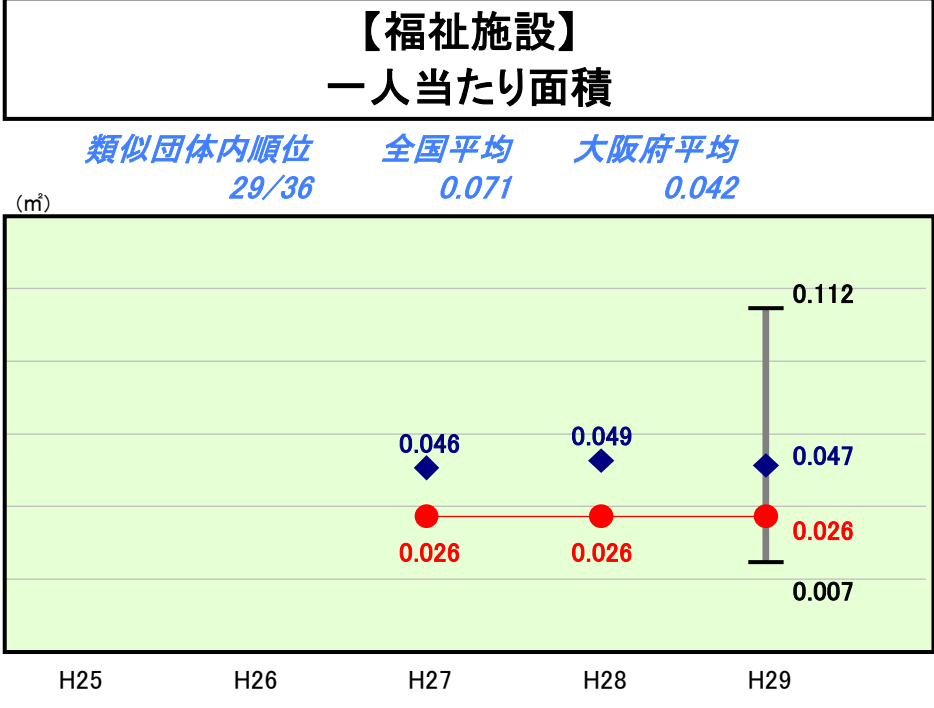
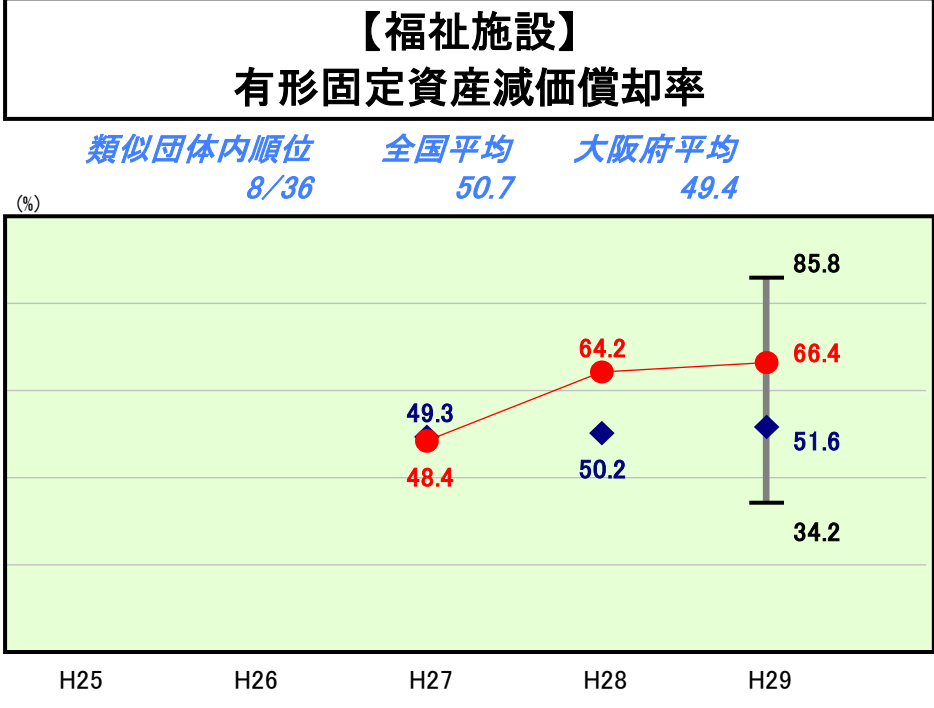
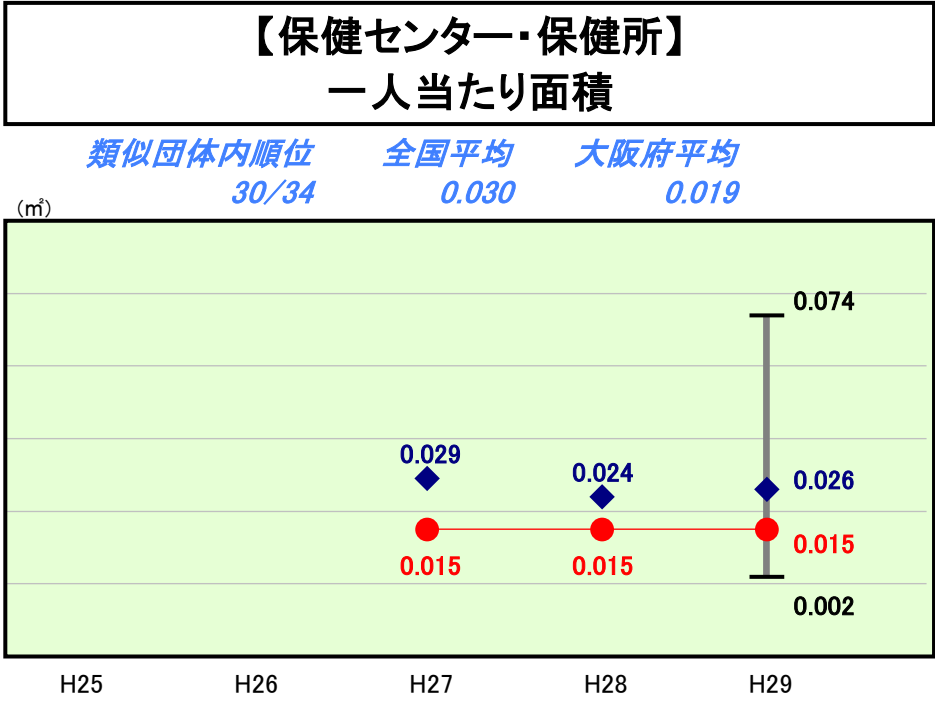
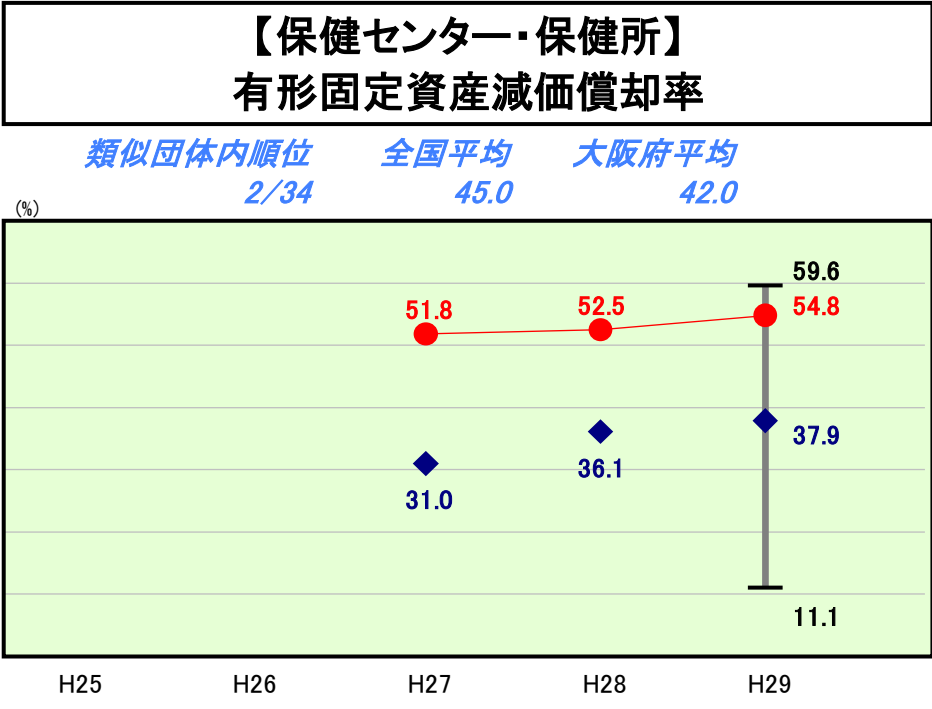
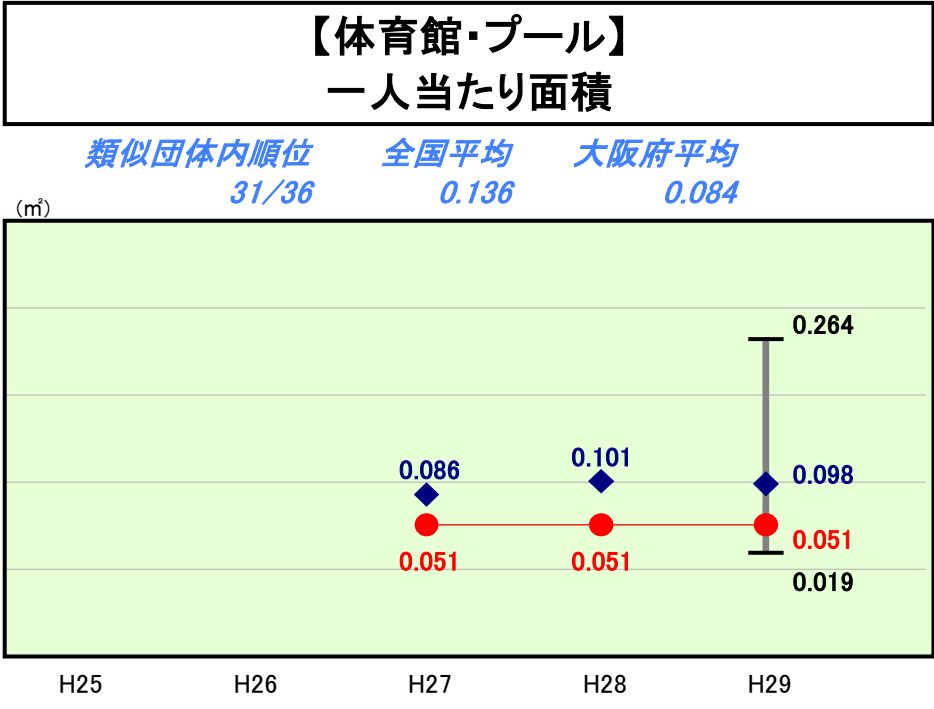
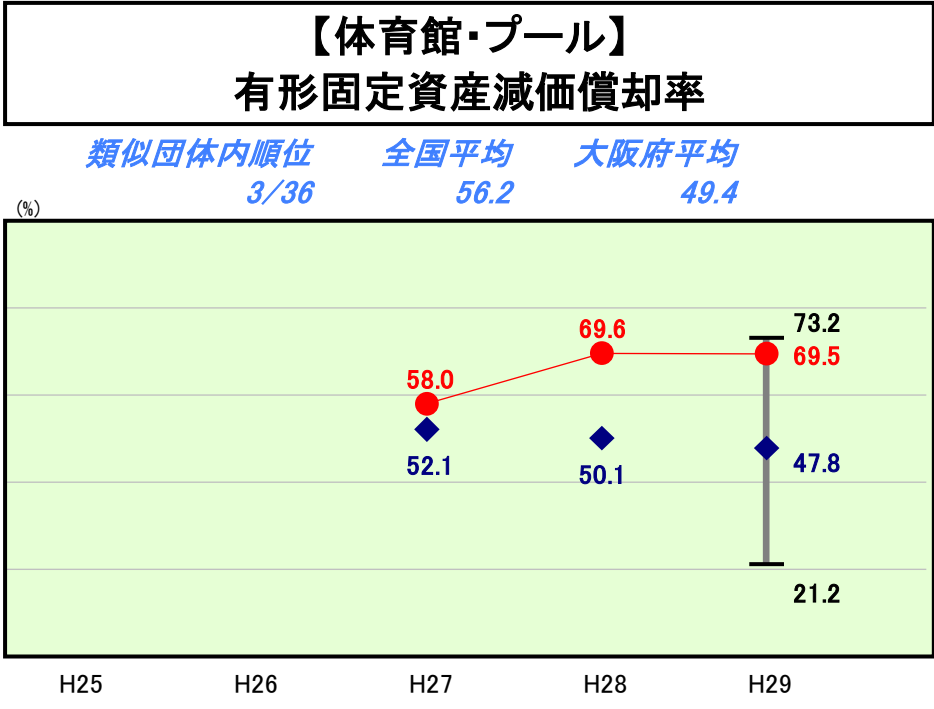
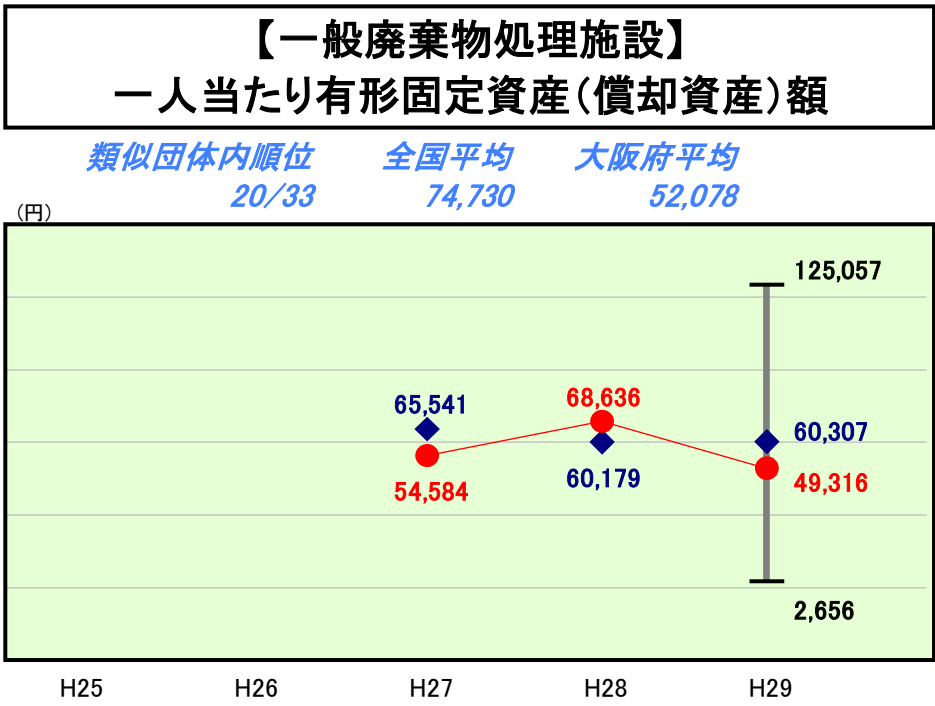
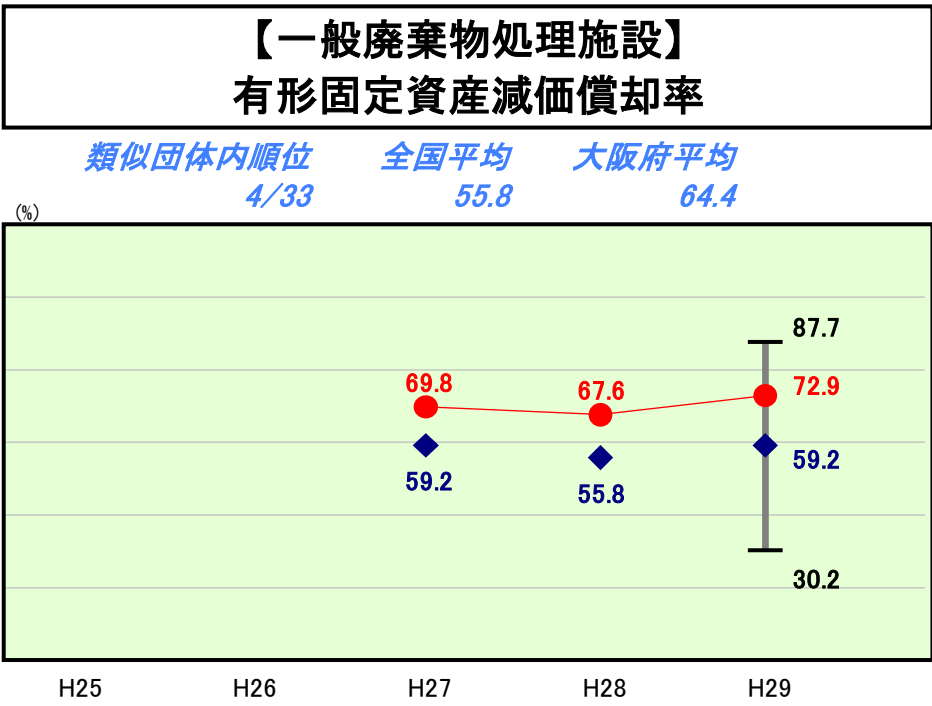
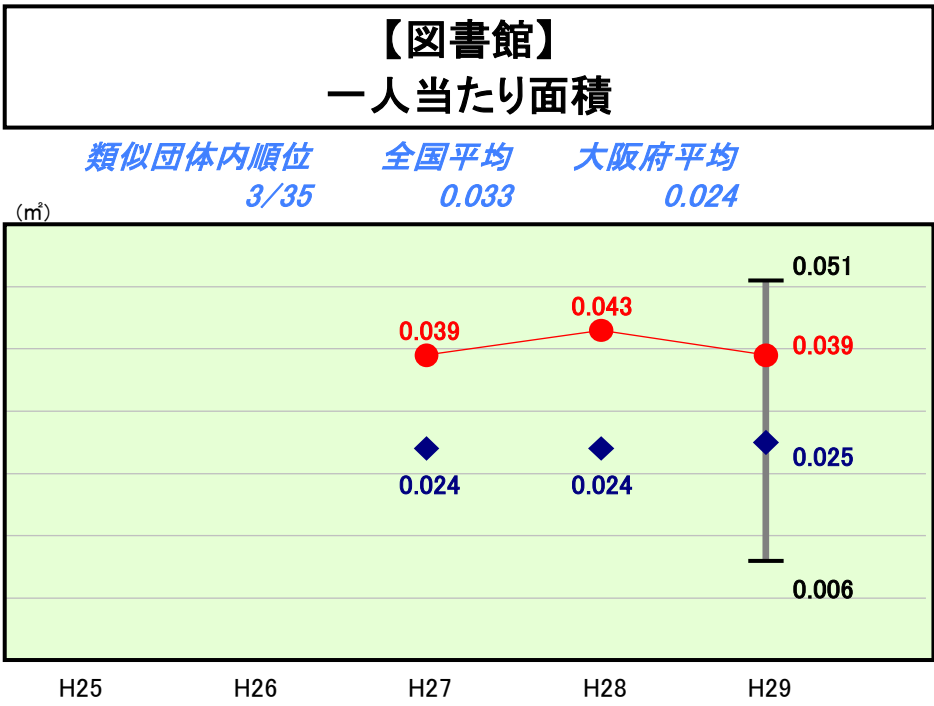
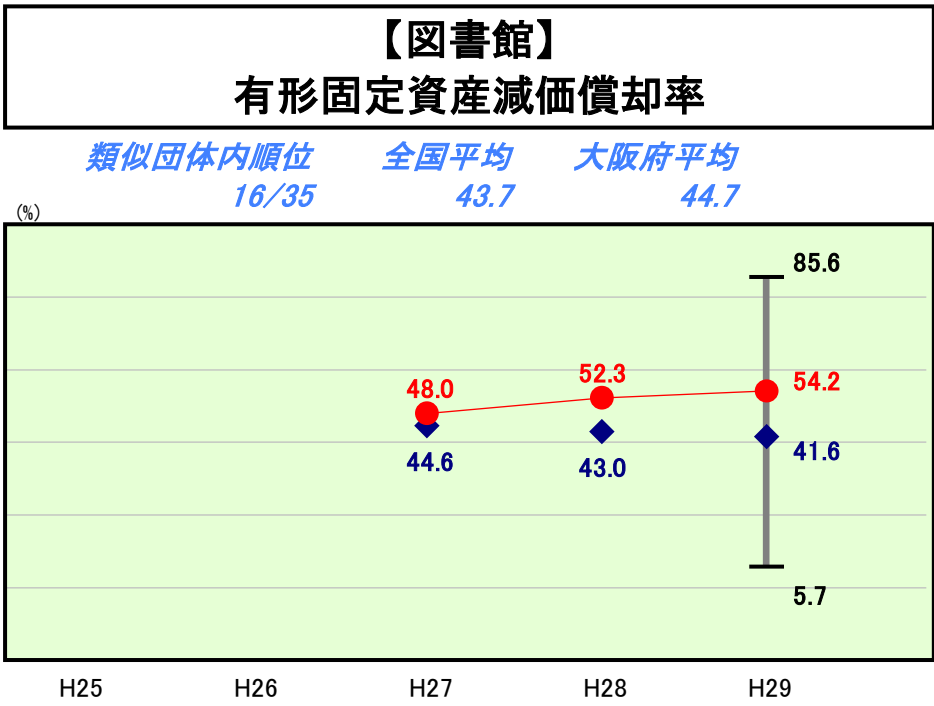
人	403,989	人 (H30. 1. 1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	399,861	人 (H30. 1. 1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面積	65.12	k m ²	実	質	公	債	費	比	率	-0.3
歳入総額	135,764,009	千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	134,001,944	千円	市	町	村	類	型		H25	特例市
実質収支	1,737,192	千円							H26	中核市
標準財政規模	78,172,003	千円	(	年	度	毎	)		H27	中核市
地方債現在高	101,719,958	千円							H28	中核市
									H29	中核市



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

有形固定資産減価償却率は、類似団体内平均値と比較して全ての施設で高くなっている。昭和30～40年代に建設された施設が多く、耐用年数に近づきつつあるためと考えられる。一人当たり面積については、「図書館」が類似団体内平均値を上回っているものの、その他の施設では類似団体内平均値を下回る結果となっている。

今後は、平成29年3月に策定した公共施設マネジメント推進計画に基づき、公共施設の老朽化に対応していく。